

日本・インドネシア国交樹立60周年記念事業
国際交流基金アジアセンター アジア・文化創造協働助成事業

ASEAN 国際野球プログラム2018 報告書

ASEAN INTERNATIONAL BASEBALL PROGRAM 2018



主催：東都大学準硬式野球連盟



ASEAN INTERNATIONAL BASEBALL PROGRAM 2018

 Japan,  Indonesia,  Sri Lanka,  Philippines

THE 1ST ASEAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP BASEBALL TOURNAMENT 2018

2018.11.17-11.30 Indonesia, Jakarta and Bali

第1回 ASEAN 国際野球大会、第3回日本・インドネシア友好親善野球大会は日本・インドネシア国交樹立60周年記念事業として日本政府に認定されました。
また、日本と ASEAN 諸国を中心とするアジアの人々のアイデンティティと多様性を尊重しあい、ともにアジアの新たな文化を創造していくことを目指す
「国際交流基金アジアセンターアジア文化創造協働」に本事業が認定され、国際交流基金アジアセンターから経費の一部が助成されております。

To commemorate the 60th anniversary of official relations between Japan and Indonesia along with the 1st ASEAN International Goodwill Baseball Tournament and the 3rd Indonesia-Japan Friendship Baseball Tournament the Japanese government have recognised the occasion with a certificate. In addition Japan and other ASEAN countries have been central to maintaining respect for the diversity and identities of Asians. Now to aid in making new Asian culture, The Japan Foundation Asia Center, Asian Cultural Cooperation section has gifted money towards the running of this tournament.



目次

- ・ ご挨拶 ————— 03P
- ・ プログラム実施に向けた本連盟の取り組み ————— 07P

① ASEAN 国際親善野球大会 2018

(小中学生等への野球教室と用具寄付等含)

- ・ 大会にあたって ————— 10P
- ・ 大会要項 (日程表含む) ————— 11P
- ・ 参加者名簿 ————— 15P
- ・ 大会結果 ————— 21P
- ・ 大会レポート ————— 61P

② 野球指導者養成プログラム

- ・ 実施要項 (日程表含む) ————— 72P
- ・ 参加者名簿 ————— 75P
- ・ プログラムレポート ————— 76P
- ・ 参加者日誌 ————— 91P
- ・ 継続的指導の取り組み状況 ————— 132P

これまでの取り組み ————— 133P

これまでの成果 ————— 137P

選手報告書 ～インドネシア遠征を終えて～ ————— 141P

編集後記 ————— 157P

ご挨拶



第3回日本・インドネシア友好親善野球大会並びに第1回ASEAN国際親善野球大会をインドネシア国・ジャカルタにおいて開催できましたことは、私ども、東都大学準硬式野球連盟にとって大きな喜びでございます。

本連盟は、この取り組みを通じて、あらためて野球の魅力と素晴らしさを実感しているところです。

本連盟の特長である準硬式球を通じて、インドネシア国を始めとするASEAN諸国に野球を広めていくこの取り組みは、野球だけに留まらない様々な相乗効果を生んでおり、各国の文化交流による国際感覚豊かな人材の育成、そして、参加者個々の人間的成長にも繋がっていると確信しております。

今回は前年までの日本、インドネシアの2カ国による開催から、フィリピン、スリランカの2カ国を加えた4カ国で開催することができました。これも一重に関係の皆様のご理解、ご協力のおかげであると感謝申し上げます。

今後、更にこの取り組みが発展していくよう、本連盟としても最大限努力を重ねていく所存です。

最後になりますが、今回の実施にあたりご理解、ご協力を賜ったインドネシア政府、国家青年スポーツ省、インドネシアアマチュア野球連盟、ジャカルタジャパンクラブをはじめとするインドネシア国の関係の皆様、フィリピン共和国の関係の皆様、スリランカ国の関係の皆様、協賛企業の皆様に感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

東都大学準硬式野球連盟事務局長
東都大学準硬式野球連盟選抜チーム団長

長島 幸雄



駐インドネシア日本国特命全権大使 石井正文様よりレセプションパーティーにおいて御挨拶を賜りました。その概要を以下に掲載いたします。

【挨拶概要】

この第1回ASEAN国際親善野球大会&第3回日本・インドネシア友好親善野球が盛大に開催されたこと、誠にありがとうございます。

また、今年は、日本とインドネシアの国交樹立60周年記念の年であり、その年にインドネシアにおいてこのような大会を開いてくださり、厚く御礼申し上げます。

この大会が開催されるにあたり、ここまでの準備等、非常に大変だったと思いますが、関係各位の御努力に心から敬意を表したいと思います。

日本とASEAN諸国の間で野球交流を進めていくことは非常に時間がかかることを考えておりますが、これまでも長い間尽力をしてくださったフィリピンの板倉さん、今回コーディネーターのインドネシアの野中さん等、ASEAN諸国でご尽力されている方々がいらっしゃったからこそ、このような素晴らしい繋がりができたのだと思います。お二人におかれましては、これまで様々なご苦労もあったかと思いますが、あらためて感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございます。

今回のように、野球というチームスポーツをASEAN諸国に根付かせることは非常に重要なことだと思います。チームスポーツとは1人の人間で違いを出すのは難しく、チーム全体として力を発揮して初めて強いチームができるわけですが、アメリカのヨギ・ベラ氏の有名な言葉、「It isn't over till it's over. (勝負は終わるまで終わらない)」にあるとおり、野球は時間のゲームではありません。つまり、どれだけ点差が離れていようと、頑張って結果を出し続ければ、同点に追いついたり、逆転が生まれたりし、延々と続けることができるスポーツでもあります。これは時間で区切られる他のスポーツと違った野球の魅力と考えています。

今年もASEAN諸国内で野球競技大会が開催され、2年後の東京オリンピックにおいても、野球競技が開催されます。この中の数名でもオリンピックに出場されることを期待しております。

引き続き、今回の取り組みがさらに発展されることを祈念いたします。



この度はご多忙のところ、本国にお越しくださりありがとうございます。

東都大学準硬式野球連盟並びに関係の皆様にインドネシア政府を代表して感謝申し上げます。

さて、日本とインドネシアの国交樹立から60周年を迎え、更なる両国の絆や発展していけるようよろしく願い申し上げます。

インドネシアのスポーツ省としても、2年後に日本で開催される東京オリンピックにあたり、何か協力できることがあればいたしますので、お声がけいただければと思います。

さて、今回のような大会はインドネシアにとっても非常に意義のある大会であり、ASEAN諸国にとってもいいことであると思いますので、是非とも今後とも継続していければと思っております。

今後、インドネシアは国として野球のレベルを上げていきたいと思っております。現在はフィリピンに負けていますが、引き続き日本にもご支援いただき、来年フィリピンで行われる東南アジアオリンピック競技大会では是非とも頑張りたいと思っております。

最後になりますが、インドネシアのために毎年チームを編成して遠征いただき、このような素晴らしい大会を開催してくださった日本の東都大学準硬式野球連盟に改めて御礼申し上げます。

大会中に何か不都合があったのであればお許しください。また、今後も継続的に取り組んでいければと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

インドネシア国家青年スポーツ省副補佐官
ドクター ハムカ ヘンドラ ノエル



日本とインドネシアの国交樹立60周年記念の年に、このような大会が開催されること、また、そこにスリランカ国として参加できることを非常に光栄に思います。

今回の大会本部の皆様、この大会が大きな事故なく開催できたこと、そして、我々にとっても、野球について多くの勉強ができたことについて感謝申し上げます。

スリランカは野球経験の浅い国ですが、今回の3カ国との交流をとおして、今後より一層野球に対しての取り組みを発展させていきたいと思いました。

大会本部の皆様、本当にご苦勞様でした。審判を初め、全てのスタッフの方々に感謝申し上げます。

このきっかけを活かし、またこのような国際交流をできるようにしていきたいです。

駐インドネシア スリランカ国大使
キャプテン・マハワッタ



長野県で少年野球の指導をしていましたが、10年ほど前、ASEANで野球教室を行おうということで、最初はマレーシアに行きました。結果は、1日中雨で野球ができず、風邪だけ引いて帰国したというのが私のASEAN諸国での初めての活動でした。

フィリピンには、2006年に野球教室に行き、その後、度々ナショナルチームの面倒を見ていたところ、そこから縁あってナショナルチームを中心に12年ほど携わっているという形です。

また、長野等における日本の活動では、事あるごとに、ASEAN諸国やスリランカ国等に用具の寄付等を行う支援にも協力してきました。

今回、野中氏からのお話もあり参加させていただきました。来年は、インドネシアだけでなく、フィリピンにもお越しいただき、試合等をしていただければと思っております。

野球を大好きな人間として、今後もこのような取り組みを継続していただければ幸いです。

フィリピン共和国野球ナショナルチームアドバイザー
板倉 国文



日本とインドネシア国交 60 周年の記念事業であるこの大会に我々スリランカが参加できたことを大変光栄に思っております。また、関係者の皆さまに感謝申し上げます。

2012 年の日本スリランカの国交 60 周年の際は、長年の野球交流が実を結び、スリランカにはじめて野球場ができました。国交記念の年に野球というスポーツがきっかけで、子どもたちに新たな夢が生まれた瞬間を目の当たりにしておりますので、今回の事業に関われることを本当に楽しみにしておりました。そして、結果として本当に素晴らしい取り組みだと感じました。素晴らしいと感じた一番の要因は、日本選手やスタッフが何に対しても一生懸命であったことです。試合中のプレーや野球教室での教え方を見ても他国に伝えようとする気持ちが前面に出ていましたが、何より驚いたのは、グラウンド以外、例えば宿舎で会ったときなどの何気ない瞬間のコミュニケーションです。挨拶だけではなく、何か会話をしようと取り組む姿をたくさん見ました。なかなかできることではないと思います。一生懸命と言葉が通じなくても絶対に伝わります。日本選手、スタッフの皆さまの全てに対する一生懸命さに敬意を表します。

また、この事業で特筆してよかったと感じたことを二つ記載させていただきます。

一つ目は日本選手が他国のことを考えた上でさまざまな取り組みを実施してくれたことです。私はこれまでたくさんの野球教室や野球普及活動に立ち会ってきましたが、これほどまで相手のことを考えて柔軟に対応してくれる組織、活動に出会ったことはありません。これまで立ち会ってきたものはタイムスケジュールや内容が事前に決められており、変更されることはありません。今回の事業では、まず我々スリランカに対し、「何か協力できることはありませんか？」と聞いてくれました。そして日本選手、スタッフはその要望に対して事前のスケジュール以外で臨機応変に応えてくれました。日本側が試合前にも関わらずウォーミングアップを一緒にやってくれたこと、夜に交流会、座談会を開いてくれたこと、空き日に日本とスリランカの混合チーム同士で試合をしてくれたこと、全て我々のことを考えて親身に伝えてくれました。また、野球教室の後のスリランカの試合前にはそのときのアドバイスをもう一度レクチャーしてくれましたし、試合中に動画を撮って、それがどうだったか試合後にまた話してくれるなど、チームのスケジュール以外で対応してくれた日本選手もたくさんいました。日本の組織、チームがこうした方法を取ることがいかに難しいことかは私も知っていますが、間違いなく、今回の取り組みは野球発展途上国に野球を伝えるモデルケースであると言えます。

二つ目は国際審判として後継者を育てやすい舞台であったということです。私はこの大会に国際審判員の立場という形でも参加させていただき、スリランカ審判員の教育を目的として、自分の後輩を帯同させました。彼は国際大会の舞台はこの大会がはじめてでした。私は経験上、国際審判として成長するには、まずは恐怖を感じずに前向きにジャッジする環境が大切であると感じていました。まさにこの大会がそうで、日本選手は野球レベルが決して高いと言えない他国の選手や審判をリスペクトしてくれます。当初予定にはありませんでしたが、日本とスリランカの混合チームでの試合に主審で彼が立つことを勧めてくれました。中にはミスジャッジもありましたが、まさに日本選手のリスペクトする姿勢が、最後まで彼の前向きなジャッジを後押しさせてくれました。私がここまで審判の教育にこだわるのは、審判のレベルアップがその国の野球向上に繋がると思っているからです。時間などのゲームコントロール、グラウンド上での振る舞いマナーについてなど審判が野球の根となる部分に携わることが多々あります。また、両チームで抗議などがある場合は必ず審判が間に入ります。人として平等な目線が必要にもなります。国際審判として後継者を育てることは容易ではありません。こうした舞台をつくってくれたことで、彼が国際審判として成長できたことは間違いありません。

結びとなりますが、大会終了後に友好の証として日本の皆さまから JAPAN のユニフォームをいただきました。スリランカチームはいただいたユニフォームにスリランカ国旗を加えて、国内の大会に出ています。日本がユニフォームを贈呈してくれたこと、スリランカが自国の大会でそれを着ていること。それは私たちの繋がりはこの大会で終わりではなく、ここからだよね。というお互いの意思表示だと思っています。

野球を通じてお互いの国の交流をもっともっと盛んにしていきましょう。

スリランカアマチュア野球連盟技術委員長
国際審判
スジューワ・ウィジャヤナーヤカ



野球大会と野球指導の 2 つの視点を主として感想を述べたいと思います。

まず、野球大会についてですが、今大会は表題の通り A S E A N 諸国との国際交流を主旨としていることからインドネシア、フィリピン、スリランカからチームや選手が大会に参加をしています。

アジア圏内にて野球という競技が行われるようになってから半世紀以上が経過しますが、アジア野球連盟や各国の野球連盟が主催する国際大会以外で、今回、我々のような団体が大会を開催する国以外から選手やチームを招聘して、国際大会の開催に至った歴史や経緯はありません。この意味は非常に深く、野球途上国の野球の発展や術向上が急務な時期に突入をしている現在において、本来ならば、名のある組織や団体が行わなければいけないイベントを先がけとして我々が開催したという事を含んでいるのです。

つまり、アジアの野球途上国の底上げの起爆剤と位置される大会であったと言っても過言ではなく、更に 1 つのモデルケースの構築となるものだ判断をしています。

加えて、単なる野球の大会では無いという部分が他に類を見ない程突出しており、この部分が、冒頭に記した野球指導という視点と連動しているのです。

では、野球指導の視点からの感想を述べてみますと、通常の野球大会では単に野球の試合を行い大会順位を競うに過ぎません。しかし、この A S E A N 国際親善大会の本当の狙いは大会に参加してきた選手やチームへ、野球の指導を徹底的に施すことにあります。

この徹底的という表現を使用した意味は、細部にまで入り込んだ指導を行うことであり、普通の野球教室とは大きく異なっているからです。

つまり、野球途上国が欲す「何を教えてもらいたいのか?」「選手個々やチームにとって何が必要なのか?」「指導者としての目付けは何なのか?」といったように、野球先進国からの目線で野球指導の材料を一切提供していないからです。これは東都大学準硬式野球連盟選抜チームの選手全員が、事前に学習理解をしてインドネシアに渡航をし、野球指導にあたっているから出来ることであり、同時に首脳陣の方々の教育が行き届いているからであります。

最後に今大会ではオブションとして審判育成の場を組み込みましたが、まず、他の大会ではこのような場の提供はありません。野球途上国における審判員のスキルアップとしても大変貴重な大会であったと判断をしています。アジア圏の野球途上国を全て引き上げること、この問題は、今、現在を生きる野球に携わる者にとって実行をしなければならない重大な問題です。次世代に野球という競技をより良い形で継承と伝達をすることが我々の使命だと考えています。

今大会のような国際親善大会がもっと沢山、開催されて来ることを切に願います。

インドネシア国家青年スポーツ省野球部門 公認アドバイザー
野中 寿人



プログラム実施に向けた本連盟の取り組み

東都大学準硬式野球連盟（以下本連盟という）は、日本独自に開発されたゴム製の準硬式球を使用した「準硬式野球」を通じて、1948（昭和23）年から国内（主に大学野球）における野球競技の運営を行ってきた実績を有している。

準硬式野球に使用する準硬式球は、戦後、軟式野球とともに開発され、軟式と硬式を繋ぐ目的があったとされている、日本でのみ使用されているものである。特徴は軟式球同様、ゴム製のため、雨天時においても皮の硬式球のように水を吸う事もなく耐久性にも優れているため長期の使用が可能であり、尚且つ、硬式球とほぼ同じ感覚でプレーすることができることが挙げられる（次ページ参照）。準硬式野球は、当初、日本では中学、高校生向けに開発されたが、現在では大学において盛んに行われている競技である。大学での競技者人口について、準硬式野球は例年全国約11、000人程度で推移しており、硬式野球、サッカー、バレーボールについて4位の競技人口を誇っている。高校での甲子園経験者も多数おり、卒業後にプロに進む選手もいるなど、競技レベルも高い水準を維持している。

さらに、本連盟では、学生達に様々な機会を与えるため、国内での準硬式野球の運営のみならず、海外における野球を通じての交流や普及活動も行っている。過去20年間で、毎年グアムや台湾、オーストラリア等に遠征、交流や親睦を図っているため、国際交流においても長年の実績を有している。

そのような中で、5年前にインドネシア代表ナショナルチームの監督である野中氏から打診があった。打診の内容は、インドネシア国は野球強国になることを目指しているが、現状、野球の用具に多額の費用がかかることや慢性的な指導者不足、そして同国が雨季の長い国であるが故、国際球である皮の硬式球は劣化が早い等様々な問題が発生しており、強化策が思うように進行していないため、力を貸して欲しいとのことであった。

以上の経緯を踏まえ、日本独自の文化である準硬式野球の活動実績を有した本連盟がインドネシア国に遠征等を行うことで、インドネシア国における野球人口の増加及び用具の普及等と併せて、本連盟における国際感覚を持った指導者の養成等も可能ではないかという両者の意見が合致し、正式な調印を経て、2016（平成28）年11月22日～28日の期間において、本連盟の選抜チームがインドネシア国に行き、第1回日伊友好親善野球大会及び野球教室等の交流会が実現した。

結果は想定していた以上の大成功となり、準硬式球に初めて触れたインドネシア国の関係者からは、『今後、幼少期の選手達に使用させてみてはどうか』、『このボールであれば長期間の使用が可能である』との意見が多数あり、本連盟としても、準硬式野球の普及を通して、野球先進国として日本が野球を世界に広めていくことが可能であるとの結論に至った。その後、2017（平成29）年度は再びインドネシア国に遠征し、更なる普及に向けた様々な取り組みを実施した。

そして、迎えた今回の2018（平成30）年度はインドネシア国以外の国にも参加を打診し、今回フィリピン及びスリランカから参加いただいたことで4カ国での開催に拡大することとなった。

なお、本事業に関し、2016（平成28）年にインドネシアアマチュア野球連盟と本連盟との野球提携を始めとして、今年度から2020年度までの期間においてインドネシア国家青年スポーツ省と野球提携に関する協定書を締結（2017（平成29）年11月26日締結）。さらに2018年、「国際交流基金アジアセンターアジア・文化創造協働助成」の助成事業として認定されている。

■準硬式球の特徴

準硬式球は、表面・見た目は軟式球のゴムで、中身は硬式球、というボール（下記画像のとおり）。準硬式球の歴史は非常に深く、1949年に完成。

軟式H号ボール、別名トップボールとも呼ばれる。外は軟式、中身は硬式、それが準硬式球である。

- ・硬球がサイズ直径71.9～74.8mm・重さ141.7～148.8g
- ・軟球A号がサイズ直径71.5～72.5mm・重さ134.2～137.8g
- ・準硬式球のサイズ直径は軟式A号と同じ・重さ141.2～144.8g
握った感覚や大きさは軟式のA号と同じで、打った感覚や跳ね方は硬式とほぼ同等（重さも硬式と同程度）。

使用用具については、バットは硬式用で、木製（大学硬式で使用）でも金属製（高校硬式で使用）でも可。その他、グローブ、ミット、両耳ヘルメット、捕手の使用するマスク、プロテクター等その他全ての用具は硬式用のものを使用。

また、適用されているルールについても硬式野球と同じ。

つまり、硬式野球と同じ用具を使用し、ボールの感覚としても、硬式球と同程度の感覚でプレーでき、ボールについては、ゴム製で水を吸収しにくく、皮の硬式球に比べて長期間の使用が可能になる。

これまでは、日本独自の競技として行われてきましたが、雨季の長い国でありながら野球を強化していきたいという国々としては、最適の球となる。

※上記内容はインドネシア国への説明用として作成した資料





ASEAN 国際親善野球大会2018

(小中学生等への野球教室と用具寄付等含)



大会にあたって

6月24日

今回の大会に開催にあたり、6月24日(日)に実施したセレクション(選手、学生コーチ、トレーナー、マネージャー)には14大学74名が参加した。

結果、選手27名、学生コーチ(総務含)2名、トレーナー2名、マネージャー2名が選出され、長島団長、杉山監督、浅野コーチ、飯田氏(委託業者)4名とともにインドネシア遠征への合計37名が決定した。



6月24日(日)セレクションの様子

7月29日

選出されたメンバーは、7月29日(日)15:00から開催の「第一回インドネシア遠征説明会」に出席し、それぞれの自己紹介、メディアカルチェックシートの記入、現地でのスケジュール、今後の注意事項等の説明を受けると共に、ユニホームの採寸等を行った。



7月29日(日)第一回インドネシア遠征説明会の様子

9月25日

9月25日(火)18:30から「第二回インドネシア遠征説明会」を実施し、ユニホームの配布、パンフレット掲載写真の撮影、当日に向けての準備等について説明がなされた。



9月25日(火)第二回インドネシア遠征説明会の様子

当日までに4回の練習を実施し、野球の技術向上だけでなく、野球の教え方や現地でのマナー等を学び、準備を実施した。

この大会にあたりきちんとした成果を出せるよう、本連盟としても万全の準備をした上で、大会に臨んだ。



練習の様子

ASEAN 国際親善野球大会 2018 大会要項（日程含む）

概 要	IBAF（国際野球連盟）に加盟している国と地域は現在 124 である。因みにサッカーは 208、陸上競技は 212、バスケットボールは 214 の国と地域が連盟に加盟しているため、野球は世界的に見て、まだまだ人口が少ない競技である。2020 年東京オリンピック以降も継続種目となるよう野球普及の取り組みは必須である。大学準硬式野球界で何ができるのか。それは、国際交流・野球途上国への野球普及活動と考える。
目 的	①国際交流試合、野球教室及び野球未経験の小中学生への野球キャラバン等を通じて、野球先進国である日本と野球途上国である A S E A N 諸国との新たな交流基盤を構築し、野球普及に努める。 ②近年普及してきた S N S 等を利用したコミュニケーションを通して両国の文化や歴史的な背景を学び、異なった環境下においても野球の競技力向上が図れるような新たな仕組み創りを促進すること。 ③当連盟選手の競技力、指導力向上及び 21 世紀の時代に相応しい国際感覚豊かな人材を育成すること。
参加国及び参加チーム	日本、インドネシア、フィリピン、スリランカ計 8 チーム (インドネシア 5 チーム、 他各 1 チーム)
場 所	インドネシア国 ジャカルタ州 ラワマングン野球場 並びにバリ州
日 程	①1 1 月 1 8 日（日）～1 1 月 2 5 日（日）ラワマングン野球場 ②1 1 月 2 6 日（月）～1 1 月 2 9 日（木）バリ州で野球普及活動並びに野球教室 ※詳細な日程は P13 の表を参照
内 容	①交流試合（インドネシアクラブチーム・フィリピンクラブチーム・スリランカ海軍チーム） ②野球教室（交流試合後の対戦相手の選手・現地日本人会の少年野球選手を対象） ③野球キャラバン（小中学校を訪問し野球を伝える play catch プロジェクト、バリ州の体育教師並びに大学生に野球を伝える） ④レセプションパーティー（インドネシア政府・大会参加関係者・日系企業など）

各国野球史	①インドネシア 人口 2.5 億人の世界第 4 位の国である。元々ソフトボール文化であり、ソフトボールの第一線の選手が引退した先に野球があった。本格的な国際大会参戦は 1990 年後半からでまだ歴史が浅く、現在野球人口は約 2 万人である。2016 年に名球会の山崎裕之氏と山田久志氏による野球教室が開かれた。2018 年にアジア競技大会がインドネシアで開催され、野球場も改修された。 現在、インドネシア野球を支えるのはインドネシア国家青年スポーツ省の公認アドバイザーである野中氏である。 ②フィリピン アジア第二集団（第一集団 日本・韓国・台湾・中国）の最上位クラスであり、野球の歴史は長い。マニラにあるリサール・メモリアルスタジアムは、ベーブルースがプレーした数少ない球場として知られている。歴史的にアメリカの影響が強く、第二次世界大戦前後まで、野球はフィリピンの国技であった。しかし、同じアメリカンスポーツであるバスケットボールが市民権を得ていったことにより、野球は衰退してしまっている。とはいえ、野球の裾野は定着しているため、リトルリーグを中心に競技人口は、2 万人を超えると言われている。2015 年に名球会の北別府学氏と駒田徳広氏による野球教室が開催された。 現在、フィリピン野球を支えている人物は、フィリピンナショナルチームアドバイザーの板倉氏である。 ③スリランカ 2002 年から青年海外協力隊の野球派遣が始まり、現在のスリランカ野球人気を支えている。2012 年に日本とスリランカ国交樹立 60 周年を記念して野球場が建設され、年間を通して世代別等の国内大会を実施している。また、現地野球選手が学校等を廻り、野球のルールや技術を教えて国内の野球普及活動を行っている。さらに、国際審判の資格を持ち日本の甲子園大会で審判を務めたスジーフ氏があり、現在スリランカアマチュア野球連盟技術委員長も兼任している。
備 考	①日本インドネシア国交樹立 60 周年記念事業認定 2018 年に日本、インドネシアの両国は国交樹立 60 周年の節目を迎え、お互いの国の幅広い層において相手国への理解や親近感を深めていくことを目指す「日本インドネシア国交樹立 60 周年記念事業実行委員会」に日本インドネシア国交樹立 60 周年の趣旨にふさわしいとして本事業が認定された。 ②国際交流基金アジアセンター アジア文化創造協働助成認定 日本と ASEAN 諸国を中心とするアジアの人々のアイデンティティと多様性を尊重しあい、ともにアジアの新たな文化を創造していくことを目指す「国際交流基金アジアセンターアジア・文化創造協働助成」に本事業が認定され、国際交流基金アジアセンターから経費の一部が助成される。

日程表

2018 年 11 月 17 日（土）	9：00 羽田空港集合 11：45 羽田発 17：25 ジャカルタ着 19：30 ホテル着
2018 年 11 月 18 日（日）	10：00 開会式
2018 年 11 月 18 日（日） ～ 20 日（火）	A S E A N国際親善野球大会 1 次予選リーグ プールA、B に別れ、次ページ対戦表 1 によって実施 （試合後、日本チームが別グラウンドにて野球教室を実施）
2018 年 11 月 21 日（水） ～ 22 日（木）、24 日（土）	A S E A N国際親善野球大会 2 次予選リーグ 1 次予選リーグ結果に基づき、次ページ対戦表 2 によって実施 （試合後、日本チームが別グラウンドにて野球教室を実施）
2018 年 11 月 23 日（金）	AM：スリランカチームと合同練習を実施 PM：野球キャラバン実施 ここでは、 ①ボールを寄付し、触れてもらう。 ②実際にキャッチボールをしてみる。 ③バットを持たせて振らせてみる。 ④日本選手団によるデモンストレーション。キャッチボールとノックを実施。
2018 年 11 月 25 日（日）	8：30 A S E A N国際親善野球大会順位決定戦 2 次予選リーグ結果に基づき、次ページ対戦表 3 によって実施 11：30 JJC（ジャカルタジャパンクラブ）BASEBALL CLASSES（野球教室）を実施 13：30 日本 VS インドネシア・フィリピン・スリランカ・オールスターチーム エキシ ビジョンマッチ 19:00 レセプション（ジャカルタ市内ホテル） 参加者（4 カ国 8 チーム及び関係者が出席）
2018 年 11 月 26 日（月）	ジャカルタ→バリに移動
2018 年 11 月 27 日（火）	AM：I K I P 大学・バリ州内体育教師向け野球指導 PM：サヌールウィサタ中学の野球教室と公営広場でゲリラ突撃野球キャラバン
2018 年 11 月 28 日（水）	AM：バリ州文科省並びにスポーツ省打ち合わせ PM：タバナン地区高校生の野球教室と公営広場でゲリラ突撃野球キャラバン
2018 年 11 月 29 日（木）	ホテルチェックアウト
2018 年 11 月 30 日（金）	9：00 成田着

対戦表

対戦表1 1次予選リーグ / Rawamangun Stadium ラワマンガンスタジアム				
POOL A				
	Redsox Bali & Philippine	Saburai Lampung	Garuda Jakarta	Japan
バ リ		11/18(Sun) 13:00	11/20(Tue) 8:00	11/19(Mon) 10:30
ランブン	11/18(Sun) 13:00		11/19(Mon) 8:00	11/20(Tue) 10:30
ガルーダ	11/20(Tue) 8:00	11/19(Mon) 8:00		11/18(Sun) 10:30
日 本	11/19(Mon) 10:30	11/20(Tue) 10:30	11/18(Sun) 10:30	
POOL B				
	Navy Sri Lanka	Jakarta Rawamangun	NISP Bandung	Kalimantan Selection Kaltim
スリランカ		11/18(Sun) 15:30	11/20(Tue) 13:00	11/19(Mon) 15:30
ジャカルタ	11/18(Sun) 15:30		11/19(Mon) 13:00	11/20(Tue) 15:30
バンドウン	11/20(Tue) 13:00	11/19(Mon) 13:00		11/18(Sun) 8:00
東カリマンタン	11/19(Mon) 15:30	11/20(Tue) 15:30	11/18(Sun) 8:00	
対戦表2 2次予選リーグ / Rawamangun Stadium ラワマンガンスタジアム				
	Japan	Saburai Lampung	Kalimantan Selection Kaltim	Jakarta Rawamangun
日 本		11/24(Sat) 10:30	11/22(Thu) 10:30	11/21(Wed) 10:30
ランブン	11/24(Sat) 10:30		11/21(Wed) 13:00	11/22(Thu) 13:00
東カリマンタン	11/22(Thu) 10:30	11/21(Wed) 13:00		11/24(Sat) 13:00
ジャカルタ	11/21(Wed) 10:30	11/22(Thu) 13:00	11/24(Sat) 13:00	
対戦表3 決勝戦 / Rawamangun Stadium ラワマンガンスタジアム				
11.25 sun. 8:30 JAPAN vs Saburai Lampung				
11.25 sun. 11:30 JJC（ジャカルタジャパンクラブ）BASEBALL CLASSES（野球教室）				
11.25 sun. 13:30  Japan vs.  Indonesia,  Philippines,  Sri Lanka All-star team				

※すべての試合を 2 時間ゲームとし、前の試合終了後 30 分後に次のゲームを開始する。

ALL JAPAN TEAM

2018年 インドネシア遠征 東都大学準硬式野球連盟選抜チーム

役員・スタッフ Officers and Staff

①生年月日/年齢 Date of birth ②大学名(学年) University ③出身高校 Alma mater (High school) ④抱負

	団長 Chief director 長島 幸雄 SACHIO Nagashima
東都連盟事務局長 Tohto Univ. League Chief of Secretariat	
①1954.4.3 / 64歳	
②専修大学OB Senshu Univ. Graduate	
③市川 Ichikawa	

	30 監督 Head coach 杉山 智広 TOMOHIRO Sugiyama
東都連盟副理事長 Tohto Univ. League Vice Chief Director	
①1983.10.4 / 35歳	
②日本大学OB Nihon Univ. Graduate	
③日本大学第三 The Third of Nihon Univ.	

	29 コーチ Coach 浅野 修平 SHUHEI Asano
東都連盟理事 Tohto Univ. League Director	
①1990.5.14 / 28歳	
②帝京大学OB Teikyo Univ. Graduate	
③県立新屋 Akita Prefectural Araya	

	輸送担当 Transport charge 飯田 将太 MASAHIRO iida
株式会社トリプル Triple Co., Ltd.	
①1985.4.26 / 33歳	

	28 学生コーチ Student coach 奥津 雄太 YUTA Okutsu
①1996.4.29 / 22歳	
②東海大学(4年) Tokai Univ.	
③東海大高輪台 Tokai Univ. Takanawadai	
④学生最後の集大成として、今まで経験してきた野球の素晴らしさを沢山伝えていきたい。	

	総務 Affairs 杉原 滉斗 HIROTO Sugihara
①1997.4.26 / 21歳	
②東洋大学(3年) Toyo Univ.	
③広陵 Koryo	
④少しでも皆さんのサポートをできるように頑張ります。	

	マネージャー General affairs 安達 有理 YURI Adachi
①1996.11.27 / 22歳	
②国士舘大学(4年) Kokushikan Univ.	
③県立ふじみ野 Saitama Prefectural Fujimino	
④サポートをしながら、みんなと仲良く楽しく頑張ります。	

	マネージャー General affairs 松木 蘭 瑞希 MIZUKI Matsukizono
①1997.6.19 / 21歳	
②亜細亜大学(3年) Asia Univ.	
③東海大菅生 Tokai Univ. Sugao	
④気配りを忘れず、自分も成長できるように頑張ります！	

	トレーナー Athletic trainer 奥脇 康旺 YASUOH Okuwaki
①1996.7.11 / 22歳	
②帝京大学(4年) Teikyo Univ.	
③日本大学第二 The Second of Nihon Univ.	
④皆さんがベストな状態でプレーできるように全力でサポートしていきます。	

	トレーナー Athletic trainer 富田 海里 KAIRI Tomita
①1997.1.1 / 21歳	
②帝京大学(4年) Teikyo Univ.	
③向上 Kojo	
④皆さんがベストパフォーマンスを発揮できるように頑張ります。	

選手 Players

①生年月日/年齢 Date of birth ②身長・体重 Height・Weight ③投・打 Throw・Bat ④大学名(学年) University
⑤出身高校 Alma mater (High school) ⑥抱負

CAPTAIN / OUTFIELDER 主将/外野手

	10 天本 隼人 HAYATO Amamoto
①1996.8.21 / 22歳	
②180cm・78kg	
③右投・左打 Right・Left	
④日本大学(4年) Nihon Univ.	
⑤長崎日大 Nagasaki Nihon Univ.	
⑥誰よりも熱い気持ちでチームを引っ張ります！JAPANの誇りを胸に…。	

PITCHER 投手

	11 黒川 勝輝 KAZUKI Kurokawa
①1998.6.10 / 20歳 ②175cm・69kg	
③右投・右打 Right・Right	
④帝京大学(2年) Teikyo Univ.	
⑤浦和学院 Urawa Gakuin	
⑥選抜してもらったことに感謝して、日本の野球をアジアに伝えていきます。	

	15 庄司 健太 KENTA Shoji
①1997.10.2 / 21歳 ②183cm・75kg	
③右投・右打 Right・Right	
④東海大学(3年) Tokai Univ.	
⑤東海大相模 Tokai Univ. Sagami	
⑥日本チームの代表として、全力でプレーします。	

	17 渡邊 直輝 NAOKI Watanabe
①1996.4.5 / 22歳 ②168cm・72kg	
③右投・右打 Right・Right	
④駒澤大学(4年) Komazawa Univ.	
⑤新潟明訓 Niigata Meikun	
⑥日本の野球を教えるだけではなく、野球以外でのマナーも含め、全体でレベルアップします。	

	19 高田 准哉 JUNYA Takada
①1997.9.26 / 21歳 ②174cm・72kg	
③右投・右打 Right・Right	
④国士舘大学(3年) Kokushikan Univ.	
⑤平塚学園 Hiratsuka Gakuen	
⑥JAPANの名に恥じないよう全力でプレーします。熱く、熱く、吠える。	

	14 森兼 望 NOZOMI Morikane
①1997.7.22 / 21歳 ②169cm・67kg	
③左投・左打 Left・Left	
④日本大学(3年) Nihon Univ.	
⑤浦和学院 Urawa Gakuin	
⑥チームの癒しになれるよう、常に笑顔でプレーしていきます。	

	16 岡澤 健太郎 KENTARO Okazawa
①2000.1.10 / 18歳 ②166cm・66kg	
③右投・右打 Right・Right	
④東洋大学(1年) Toyo Univ.	
⑤県立長野吉田 Nagano Prefectural Naganoyoshida	
⑥自分らしく楽しんで、この機会を今後活かせるように頑張ります。	

	18 瀬下 泰世 TAISEI Sejimo
①1998.1.26 / 20歳 ②170cm・67kg	
③右投・左打 Right・Left	
④東洋大学(3年) Toyo Univ.	
⑤県立藤代 Ibaraki Prefectural Fujishiro	
⑥思いっきり楽しめます！	

	21 山崎 章雄 AKIO Yamazaki
①1998.8.17 / 20歳 ②174cm・72kg	
③右投・右打 Right・Right	
④日本大学(2年) Nihon Univ.	
⑤日大鶴ヶ丘 Nihon Univ. Tsurugaoka	
⑥野球を通じて様々な人と交流し、社会貢献をすると共に自分自身も多くのことを学びたい。	

CATCHER 捕手



3 岩崎 文哉 FUMIYA Iwasaki

①1997.4.16 / 21歳 ②177cm・91kg
③右投・右打 Right・Right
④駒澤大学(3年) Komazawa Univ.
⑤市川学園 Ichikawa Gakuin
⑥全試合・全打席、自分らしく全力で頑張ります。



24 多田 龍ノ介 RYUNOSUKE Tada

①1996.8.11 / 22歳 ②175cm・80kg
③右投・左打 Right・Left
④東洋大学(4年) Toyo Univ.
⑤県立高松西 Kagawa Prefectural Takamatsu Nishi
⑥チームの最高学年として後輩の良い手本になるよう、何事も全力でプレーします。



4 松井 裕樹 YUKI Matsui

①1998.2.16 / 20歳 ②168cm・65kg
③右投・右打 Right・Right
④法政大学Ⅱ(3年) Hosei Univ.
⑤県立鶴見 Kanagawa Prefectural Tsurumi
⑥元気に全力プレーで頑張ります。

INFIELDER 内野手



20 稲葉 慶伍 KEIGO Inaba

①1999.12.17 / 18歳 ②174cm・70kg
③右投・左打 Right・Left
④駒澤大学(1年) Komazawa Univ.
⑤常総学院 Joso Gakuin
⑥チームに1つでも多く貢献できるように全力で頑張ります。



25 杉浦 諄 ATSUSHI Sugiura

①1996.7.29 / 22歳 ②166cm・62kg
③右投・左打 Right・Left
④上智大学(3年) Sophia Univ.
⑤東葛飾 Chiba Prefectural Higashi-Katsusika
⑥代表メンバーの一員として、チームやこの遠征に貢献できるように全力を尽くします。



23 増田 郁弥 FUMIYA Masuda

①1996.9.30 / 22歳 ②167cm・71kg
③左投・左打 Left・Left
④東海大学(4年) Tokai Univ.
⑤東海大相模 Tokai Univ. Sagami
⑥学生野球の集大成として、日本で学んできた技術を精一杯発揮していきたいと思います。

INFIELDER 内野手



0 本間 公輔 KOSUKE Homma

①1998.2.24 / 20歳 ②171cm・67kg
③右投・右打 Right・Right
④國學院大学(3年) Kokugakuin Univ.
⑤新潟明訓 Niigata Meikun
⑥日本の名に恥じないような行動を示し、野球でも恥じないように精一杯頑張ります。



2 五十嵐 健 KEN Igarashi

①1997.10.31 / 21歳 ②171cm・75kg
③右投・左打 Right・Left
④専修大学(3年) Senshu Univ.
⑤常総学院 Joso Gakuin
⑥チームのムードメーカーとして勢いづける一打を打てるように頑張ります。スケールでっかく。



6 若井 幸誼 YUKIYOSHI Wakai

①1997.5.3 / 21歳 ②172cm・68kg
③右投・右打 Right・Right
④日本大学(3年) Nihon Univ.
⑤都立広尾 Tokyo Metropolitan Hiroo
⑥今回の遠征で、野球を通して何か1つでも社会貢献ができるように頑張りたいです。



8 石野田 颯馬 SOMA Ishinoda

①1998.5.1 / 20歳 ②176cm・74kg
③右投・右打 Right・Right
④青山学院大学(2年) Aoyama Gakuin Univ.
⑤青山学院 Aoyama Gakuin
⑥日本の野球に誇りを持ち、野球の発展のために全力でプレーします。



00 西坂 佳祐 KEISUKE Nisisaka

①1998.2.24 / 20歳 ②171cm・67kg
③右投・右打 Right・Right
④日本大学(3年) Nihon Univ.
⑤千葉日大一 Chiba Nihon Univ. Daiichi
⑥遠征を通して野球の魅力を伝えと共に、一皮むけた自分になって帰ってくる。



5 大野 恵和 KEITO Ohno

①1996.9.4 / 22歳 ②177cm・80kg
③右投・左打 Right・Left
④専修大学(4年) Senshu Univ.
⑤専大松戸 Senshu Univ. Matsudo
⑥チームのみんなと楽しく高め合って、最高の遠征を創り上げていきたいです。



7 南條 拓海 TAKUMI Nanjo

①1997.1.29 / 21歳 ②169cm・75kg
③右投・右打 Right・Right
④青山学院大学(4年) Aoyama Gakuin Univ.
⑤日大習志野 Nihon Univ. Narashino
⑥レベルの高い仲間と高め合い、世界の野球というスポーツの発展に全力で貢献します。



13 鈴木 啓大 KEITA Suzuki

①1998.2.23 / 20歳 ②163cm・68kg
③右投・右打 Right・Right
④日本体育大学(3年) Nippon Sport Science Univ.
⑤都立江戸川 Tokyo Metropolitan Edogawa
⑥アジアの野球のレベルを肌で感じ、日本の優勝に大きく貢献できるように頑張ります。

OUTFIELDER 外野手



1 長澤 貴裕 TAKAHIRO Nagasawa

①1997.9.23 / 21歳 ②178cm・75kg
③右投・右打 Right・Right
④日本体育大学(3年) Nippon Sport Science Univ.
⑤都立富士森 Tokyo Metropolitan Fujimori
⑥“明るく元気に”をモットーに、JAPANの名に恥じないプレーをしていきたい。



12 水野 貴士 TAKASHI Mizuno

①1997.11.3 / 21歳 ②180cm・85kg
③右投・右打 Right・Right
④亜細亜大学(3年) Asia Univ.
⑤岩倉 Iwakura
⑥日本のチームの良いところ、インドネシアのチームの良いところを吸収して成長する。



9 小野 恭平 KYOHEI Ono

①1996.6.27 / 22歳 ②161cm・57kg
③右投・右打 Right・Right
④国士舘大学(3年) Kokushikan Univ.
⑤鶴岡東 Tsuruoka Higashi
⑥インドネシアで特大ホームランを打てるように頑張ります。



22 長谷川 陽祐 YOSUKE Hasegawa

①1998.1.29 / 20歳 ②173cm・73kg
③左投・左打 Left・Left
④駒澤大学(3年) Komazawa Univ.
⑤県立伊奈学園総合 Saitama Prefectural Inagakuen Sogo
⑥少しでもチームに貢献できるように頑張ります。

TEAM INTRODUCTION

出場チーム紹介



Jakarta Rawamangun

ジャカルタ州選抜ラワマンガン

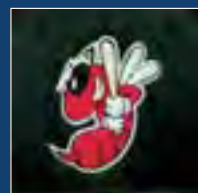
インドネシア国体で野球競技が採り入れられてから今日までの連続チャンピオンチーム。2019年のインドネシア国体予選大会を見据え、ジャカルタ州内の選抜選考を兼ねたチーム構成にて参戦。



Saburai Lampung

サブライ ランプン州選抜

インドネシア国体では2大会連続の準優勝を誇る。次回大会での念願の初優勝を狙うため、国体予選大会を見据えたチーム編成により当大会に参戦。第1回大会決勝ではJAPANチームを中盤まで苦しめる戦いを見せた。



NISP Bandung

NISPクラブ バンドゥン

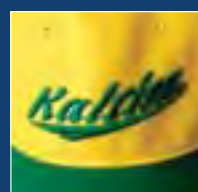
インドネシア最大の銀行であるOCBC NISPが、数十年前に社会人ソフトボールチームの先駆けとして創設した。数年前より野球活動も開始しているインドネシア唯一の企業チームである。



Garuda Jakarta

ガルーダクラブ ジャカルタ

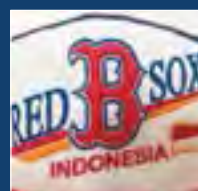
創設25年を数えるインドネシア野球先駆けとなるジャカルタ州内のクラブチーム。クラブ単体でも海外遠征を行うなど積極的に活動し、インドネシア代表ナショナルチームにも多数の選手を排出している。



Kalimantan Selection Kaltim

東カリマンタン州選抜

来年のインドネシア国体予選大会で東カリマンタン州初のメダル獲得に向け、州内でセレクションを実施してチームを編成。州内の野球関係者、首脳陣、選手とも一体感が漲っている注目のチーム。



Redsox Bali & Philippine

バリレッドソックス & フィリピン共和国

2005年にバリ島に創設されたクラブチーム。現在、バリ島内の5県に支部を持ち500名以上のメンバーが在籍している。本大会にはフィリピン共和国選抜選手を加えた合同チームとして参加。



Navy Sri Lanka

スリランカ海軍

2011年創設、スリランカ海軍の軍人で構成された野球クラブで、選手メンバー総数は限定20人。2016年に日本とマレーシアへ、2018年には国際交流野球大会参戦のためアメリカへ、海外遠征を行っている。スリランカ国内リーグでは3年連続のチャンピオンチームで、2018年3月に国内最大の都市コロンボの日本・スリランカフレンドシップ野球場*で行われた全国クラブ選手権大会でも優勝を飾った。

*日本とスリランカの国交樹立60周年を記念して2012年にコロンボに建設された野球場。日本のODAを中心とした協賛各社から建設資金が集められ、スリランカ政府からの土地提供により建設されている。



ASEAN INTERNATIONAL BASEBALL PROGRAM 2018

Japan, Indonesia, Sri Lanka, Philippines



大会結果

JAKARTA RAWAMANGUN FIELD 18-25 DECEMBER 2018

NO	DAY/DATE	TIME	HOME		VS		VISIT
1	SUN, 18/11/2018	08.00 - 10.00	OCBC NISP Bandung	2	VS	4	Kalimantan Timur Selection
2		10.30 - 12.30	Garuda Jakarta	0	VS	22	Tohto Junko Univ Japan
3		13.00 - 15.00	Saburai Lampung	2	VS	1	RedSox Bali
4		15.30 - 17.30	Navy Srilanka	0	VS	2	Jakarta Rawamangun
5	MON, 19/11/2018	08.00 - 10.00	Saburai Lampung	5	VS	2	Garuda Jakarta
6		10.30 - 12.30	RedSox Bali	0	VS	14	Tohto Junko Univ Japan
7		13.00 - 15.00	Jakarta Rawamangun	2	VS	1	OCBC NISP Bandung
8		15.30 - 17.30	Kalimantan Timur Selection	1	VS	3	Navy Srilanka
9	TUE, 20/11/2018	08.00 - 10.00	Garuda Jakarta	4	VS	2	RedSox Bali
10		10.30 - 12.30	Tohto Junko Univ Japan	10	VS	0	Saburai Lampung
11		13.00 - 15.00	OCBC NISP Bandung	2	VS	0	Navy Srilanka
12		15.30 - 17.30	Jakarta Rawamangun	0	VS	4	Kalimantan Timur Selection
13	WED, 21/11/2018	08.00 - 10.00	Garuda Jakarta	6	VS	2	Navy Srilanka
14		10.30 - 12.30	Tohto Junko Univ Japan	10	VS	0	Jakarta Rawamangun
15		13.00 - 15.00	Kalimantan Timur Selection	1	VS	3	Saburai Lampung
16		15.30 - 17.30	RedSox Bali	5	VS	2	OCBC NISP Bandung
17	THU, 22/11/2018	08.00 - 10.00	Navy Srilanka	4	VS	5	RedSox Bali
18		10.30 - 12.30	Tohto Junko Univ Japan	12	VS	0	Kalimantan Timur Selection
19		13.00 - 15.00	Saburai Lampung	3	VS	4	Jakarta Rawamangun
20		15.30 - 17.30	OCBC NISP Bandung	6	VS	5	Garuda Jakarta
	FRI, 23/11/2018	08.00 - 10.00	SPARE GAME				SPARE GAME
		10.30 - 12.30	PRAYING TIME				
		13.00 - 15.00	SPARE GAME				SPARE GAME
		15.30 - 17.30	SPARE GAME				SPARE GAME
21	SAT, 24/11/2018	08.00 - 10.00	RedSox Bali	2	VS	0	Garuda Jakarta
22		10.30 - 12.30	Tohto Junko Univ Japan	10	VS	0	Saburai Lampung
23		13.00 - 15.00	Jakarta Rawamangun	3	VS	4	Kalimantan Timur Selection
24		15.30 - 17.30	Navy Srilanka	4	VS	0	OCBC NISP Bandung
25	SUN, 25/11/2018	08.30 - Finish	GRAND FINAL				
			Saburai Lampung	2	VS	13	Tohto Junko Univ Japan
		After final - 14.00	BASEBALL COACING CLINIC & CLOSING CEREMONY				
26		14.30 - 16.30	Tohto Junko Univ Japan	5	VS	0	All-Star Team (INA-PHI-SRI)

NO	POOL SUPER ROUND
1	Tohto Junko Univ Japan
2	Kalimantan Timur Selection
3	Saburai Lampung
4	Jakarta Rawamangun

NO	POOL CONSOLATION
1	Garuda Jakarta
2	OCBC NISP Bandung
3	RedSox Bali
4	Navy Srilanka

SUN, 18/11/2018

GAME 1 KALIMANTAN TIMUR SELECTION vs OCBC NISP BANDUNG

KALTIM SELECTION at OCBC NISP												
Score By Innings		1	2	3	4	5	6	R	H	E		
KALTIM SELECTION		0	2	1	0	0	1	4	10	1		
OCBC NISP		1	0	1	0	0	0	2	4	2		

KALTIM SELECTION 4, OCBC NISP 2												
KALTIM SELECTION						OCBC NISP						
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi			
ROLLY MAHENDRA 2b-ss	3	1	2	0	YANA GERHANA 2b	4	0	1	1			
FAUZAN ASHARY MOODUTO rf-2b	4	1	1	0	M. HUSAIN MUTHAHHARI cf	2	0	0	0			
ANGGA PRANANDA BAKTI 3b	4	0	1	1	LUTHFI BUDIMAN SHURIANT 3b	3	1	1	0			
CHRISTOPER YONG WE GE ss-p	3	0	2	1	FUAD RASYAD 1b	2	0	1	0			
DEDDY PURNOMO dh	4	1	2	0	TEGAR RAHMATYA dh	2	0	0	0			
(b6) OFIR CHRISTOPER rf	0	0	0	0	M. NAUFAL RACHMAN rf	2	0	0	0			
HAERUL ANWAR lf	3	0	0	0	(b6) AGUS SUPRIATNA rf	1	0	0	0			
DARELLOA DEDY S c	1	1	0	0	ZIDNEY FAHMIDYAN lf	1	0	0	0			
MICHAEL CHRISTIAN D R 1b	2	0	1	0	DIAS DWINANDA TRESNA ss	2	0	0	0			
(b4) GUNAWAN PANDU KALISTA 1b	1	0	0	0	(b6) M. HASAN FAKHRAN ss	0	0	0	0			
RYAN CHANDRA ESA P cf	3	0	1	2	REGIA R RAMADHAN c	2	1	1	0			
HASRUDDIN p	0	0	0	0	NANDA DWI SAPUTRA p	0	0	0	0			
(b3) YUDI SAPUTRA p	0	0	0	0	(t5) R. OTO AJI PUTRA P. p	0	0	0	0			
TEAM TOTALS	28	4	10	4	TEAM TOTALS	21	2	4	1			

E: GUNAWAN PANDU KALISTA, YANA GERHANA, DIAS DWINANDA TRESNA. LOB: OCBC NISP 8, KALTIM SELECTION 10. 2B: RYAN CHANDRA ESA P, YANA GERHANA. SB: ANGGA PRANANDA

BAKTI(2), CHRISTOPER YONG WE GE(2), DEDDY PURNOMO. CS: ZIDNEY FAHMIDYAN. SB: M. HUSAIN MUTHAHHARI.

KALTIM SELECTION	IP	H	R	ER	BB	SO
HASRUDDIN W	2.00	4	2	1	1	1
YUDI SAPUTRA	3.00	0	0	0	2	0
CHRISTOPER YONG WE GE	1.00	0	0	0	1	2
OCBC NISP						
NANDA DWI SAPUTRA L	4.00	7	3	2	1	3
R. OTO AJI PUTRA P.	2.00	3	1	1	3	1

HBP: by YUDI SAPUTRA (TEGAR RAHMATYA). . . , by CHRISTOPER YONG WE GE (ZIDNEY FAHMIDYAN). PB: REGIA R RAMADHAN. T: 2:00. A: 0.

GAME 2 TOHTO JUNKO UNIV JAPAN vs GARUDA JAKARTA

TOHTO JUNKO UNIVERSITY at GARUDA										
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E	
TOHTO JUNKO UNIVERSITY	7	0	3	9	3	0	22	11	0	
GARUDA	0	0	0	0	0	0	0	2	0	

TOHTO JUNKO UNIVERSITY 22, GARUDA 0										
TOHTO JUNKO UNIVERSITY					GARUDA					
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi	
NAGASAWA TAKAHIRO lf	3	3	2	2	RIZKY ABI RACHMADI ss	2	0	0	0	
INABA KEIGO 2b	3	3	3	2	TAUFIK ARIESTA HAKIM cf	2	0	0	0	
SOMA ISHINODA ss	2	2	1	2	AZFARHAN MUNAF rf	2	0	0	0	
(b4) SUGIURA ATSUSHI ss	1	0	0	0	(t5) HARLAN RAFII LAKSANA rf	0	0	0	0	
TAKAHASHI MIZUNO dh	2	3	1	3	AHMAD ABDA'OE dh	1	0	0	0	
RYUNOSUKE TADA c	2	1	0	1	(b4) HANGGADHIKA MIZWARA dh	1	0	0	0	
(b4) YUKI MATSUI c	0	1	0	0	RAYESHA IKRAM HARDONO 3b	0	0	0	0	
KEITO OHNO 1b	1	2	0	2	(b5) THARIQ ABIEZA HAKIM 3b	1	0	0	0	

(t5) FUMIYA MASUDA 1b	1	0	1	1	GIRALDI PJ NATAKOESOEMA 1b	1	0	0	0
(b5) FUMIYA IWASAKI pr-1b	0	0	0	0	(t4) HILMAN ROSYADI 1b	1	0	1	0
YOSUKE HASEGAWA rf	4	3	1	2	RIZKY JODIANSYAH 2b	1	0	1	0
	2	2	1	1	(t5) FADHIL RADITYA ARKANANTA	2b	1	0	0
KEITA SUZUKI 3b	2	2	1	5	ADLI RAYHAN FARIZA c	1	0	0	0
(b4) KOSUKE HOMMA pr-3b	1	0	0	0	AKMAL MIZAN DATAMA B lf	1	0	0	0
KAZUKI KUROKAWA p	0	0	0	0	(t4) RIZKY SYANI ARDHAN lf	1	0	0	0
(b3) KENTARO OKAZAWA p	0	0	0	0	ASHILLA SAFIYA p	0	0	0	0
(b4) JUNYA TAKADA p	0	0	0	0	(t2) EDSON WILLIAM p	0	0	0	0
(b5) KENTA SHOJI p	0	0	0	0	(t4) KRISNA SEDIADI p	0	0	0	0
					(t4) KEVIN ADRIAN WASO DAKO p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	24	22	11	21	TEAM TOTALS	16	0	2	0

LOB: GARUDA 3, TOHTO JUNKO UNIVERSITY 8. 2B: INABA KEIGO, SOMA ISHINODA, YOSUKE HASEGAWA, KEITA SUZUKI. SB: INABA KEIGO(4), YOSUKE HASEGAWA(2), NAGASAWA TAKAHIRO(2), KYOHEI ONO. SF: KEITO OHNO, KEITA SUZUKI, TAKAHASHI MIZUNO.

TOHTO JUNKO UNIVERSITY	IP	H	R	ER	BB	SO
KAZUKI KUROKAWA W	2.00	0	0	0	1	2
KENTARO OKAZAWA	1.00	1	0	0	0	0
JUNYA TAKADA	1.00	0	0	0	0	2
KENTA SHOJI	1.00	1	0	0	1	2
GARUDA						
ASHILLA SAFIYA L	1.00	2	7	6	7	0
EDSON WILLIAM	2.00	1	3	3	3	0
KRISNA SEDIADI	0.67	5	9	9	6	0
KEVIN ADRIAN WASO DAKO	1.33	3	3	3	1	0

HBP: by KEVIN ADRIAN WASO DAKO (KYOHEI ONO). . . WP: EDSON WILLIAM(3), KRISNA SEDIADI. PB: ADLI RAYHAN FARIZA. T: 1:45. A: 0.

GAME 3 REDSOX BALI VS SABURAI LAMPUNG

REDSOX BALI at SABURAI										
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E	
REDSOX BALI	0	0	0	0	0	1	1	4	0	
SABURAI	1	0	0	0	1	0	2	6	0	

SABURAI 2, REDSOX BALI 1										
SABURAI					REDSOX BALI					
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi	
TOMMY DWITAMA 2b	2	2	1	0	JARUS C INOBIO cf	2	0	0	0	
RIZKI RAMADHAN cf	2	0	1	0	DIVA REZA FABIL 3b	3	0	0	0	
RIDZKY ADITYA 1b	3	0	2	2	ALAND GERVES lf	3	0	0	0	
CHINDY P YUDHARANA 3b-p	3	0	0	0	ALFREDOS,OLIVARES Jr c	2	1	0	0	
MUHAROM c	2	0	0	0	CLARENCE LYLE M, C ss-p	3	0	2	0	
AKBAR KURNIAWAN rf	2	0	0	0	JUNMAR R DIARAO p-1b	1	0	0	0	
VENDY KURNIAWAN ss	1	0	1	0	I WAYAN EKA DHARMAWAN 2b	1	0	0	0	
RANJANI lf	2	0	0	0	(t4) ANHAR RACHMAN 2b-ss	2	0	1	0	
(t0) LUKMAN KURNIA RAMDHONI p	0	0	0	0	(t6) I WAYAN HERRY ANDIKA pr	0	0	0	0	
(t4) ANDIKA ARLISTIANTO p-3b	0	0	0	0	JERICO GAFFAR 1b	1	0	0	0	
VERRY KASYOGA dh	2	0	1	0	(t4) YUSEP FIRMANSYAH rf	1	0	1	0	
					(t6) MATTHEW HUWAE pr-rf	0	0	0	0	
					ROEL IMPACIS rf-1b	1	0	0	0	
					(b5) DEDI UTOMO 2b	1	0	0	0	
TEAM TOTALS	19	2	6	2	TEAM TOTALS	21	1	4	0	

DP: SABURAI 1. LOB: SABURAI 5, REDSOX BALI 8. SB: ALFREDOS,OLIVARES Jr, CLARENCE LYLE M, C , ROEL IMPACIS. CS: VENDY KURNIAWAN. SB: RIZKI RAMADHAN.

SABURAI	IP	H	R	ER	BB	SO
LUKMAN KURNIA RAMDHONI W	3.00	1	0	0	1	3
ANDIKA ARLISTIANTO	1.33	2	0	0	1	0
CHINDY P YUDHARANA S	1.67	1	1	1	1	2
REDSOX BALI						
JUNMAR R DIARAO	4.67	6	2	2	2	7
CLARENCE LYLE M, C L	0.33	0	0	0	0	0

HBP: by CHINDY P YUDHARANA (JARUS C INOBIO). , by CHINDY P YUDHARANA (JUNMAR R DIARAO), by CHINDY P YUDHARANA (YUSEP FIRMANSYAH). PB: ALFREDOS,OLIVARES Jr. T: 2:00. A: 0.

GAME 4 JAKARTA RAWAMANGUN VS NAVY SRILANKA

JAKARTA RAWAMANGUN at NAVY SRILANKA										
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	7	R	H	E
JAKARTA RAWAMANGUN	0	1	0	0	0	1	0	2	4	1
NAVY SRILANKA	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0

JAKARTA RAWAMANGUN 2, NAVY SRILANKA 0										
JAKARTA RAWAMANGUN					NAVY SRILANKA					
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi	
DONNY TRISNADI 3b	4	0	0	0	GAMSSB ABEYRATHNA ss	3	0	0	0	
NAZREY LAZUARDI cf	1	1	0	0	YT PUSHPAKUMARA rf	3	0	0	0	
ALBEFIANDI AIKEN SETIAWA 1b	3	0	0	0	KAS MADUSHANKA 3b	3	0	1	0	
FALDY AKHMAD ZULFIKAR c	3	0	1	1	DHANUSHKA SIRIMALWATHH 1b	2	0	0	0	
(b6) ACHMAD NOUVAL AVERDI c	0	0	0	0	IBTM WICRAMASINGHE lf	2	0	0	0	
ADITYA MUFLIH MAHMUD rf-lf	3	1	1	0	GNR KUMARA 2b	3	0	0	0	
NARENDRA KHRISNA TRIWA ss	2	0	0	0	AMITH YAI WEERAPPERUMA cf	3	0	2	0	
ERA PATIGO RIZKY lf	0	0	0	0	RMMP RANATHUNGA dh	1	0	0	0	

(t5) AGUNG 2b -	2	0	0	0	(b7) HUS HEWAPATHIRANA dh	1	0	0	0
LUCKY PRASETYO 2b	2	0	1	1	PH PUSHPASIRI c	2	0	0	0
(t7) FAHRUDIN SIDIQ rf	1	0	0	0	WKAB PATHIRAJA p	0	0	0	0
MARIO BARAPUTRA dh	2	0	0	0	(t3) PHT MADUMAL p	0	0	0	0
(t7) MUHAMMAD ALI AKBAR dh	1	0	1	0					
MUHAMMAD AKBAR p	0	0	0	0					
(b5) NICHOLAS BHAGASINSAN p	0	0	0	0					
(b7) HADI NUR MUHAMMAD p	0	0	0	0					
TEAM TOTALS	24	2	4	2	TEAM TOTALS	23	0	3	0

E: DONNY TRISNADI. DP: JAKARTA RAWAMANGUN 1. LOB: JAKARTA RAWAMANGUN 5, NAVY SRILANKA 6. SB: NAZREY LAZUARDI. SB: ERA PATIGO RIZKY.

JAKARTA RAWAMANGUN	IP	H	R	ER	BB	SO
MUHAMMAD AKBAR	4.00	3	0	0	1	2
NICHOLAS BHAGASINSAN	2.00	0	0	0	2	0
HADI NUR MUHAMMAD S	1.00	0	0	0	0	1
NAVY SRILANKA						
WKAB PATHIRAJA L	2.00	1	1	1	1	1
PHT MADUMAL	5.00	3	1	1	1	2

HBP: by WKAB PATHIRAJA (NARENDRA KHRISNA TRIWA), by MUHAMMAD AKBAR (RMMP RANATHUNGA). PB: FALDY AKHMAD ZULFIKAR. Balk: PHT MADUMAL. T: 2:00. A: 0.

MON, 19/11/2018									
GAME 5 GARUDA JAKARTA VS SABURAI LAMPUNG									
GARUDA at SABURAI									
Score By Innings		1	2	3	4	5	R	H	E
GARUDA		1	1	0	0	0	2	6	0
SABURAI		2	0	2	1	0	5	7	1
SABURAI 5, GARUDA 2									
SABURAI					GARUDA				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
TOMMY DWITAMA 2b- ss	0	1	0	0	RIZKY ABI RACHMADI ss	2	1	2	0
RIZKI RAMADHAN cf	2	1	1	0	RIZKY JODIANSYAH 2b	3	0	1	1
CHINDY P YUDHARANA 3b	3	1	1	0	TAUFIK ARIESTA HAKIM cf	3	0	1	0
VENDY KURNIAWAN ss	1	0	0	0	AHMAD ABDA'OE 3b	3	0	0	0
(t2) RANJANI lf	0	1	0	0	GIRALDI PJ NATAKOESOEMA 1b	2	0	0	0
YUZA IRSANDI dh	2	0	1	2	(t5) HILMAN ROSYADI 1b	1	0	0	0
MUHAROM c	3	0	2	1	ANDHIKA PUTRA dh	2	0	2	0
HAMZAH lf-rf	1	0	0	0	ADLI RAYHAN FARIZA c	2	0	0	0
(t3) AKBAR KURNIAWAN rf	1	1	0	0	KEVIN ADRIAN WASO DAKO rf	1	1	0	0
VIK HANDRA 1b	1	0	1	0	(t4) DIMITRY RATULANGIE I rf	1	0	0	0
(t3) RIDZKY ADITYA 1b	0	0	0	0	RIZKY SYANI ARDHAN lf	1	0	0	0
BACHTIAR SANJAYA rf- 2b	2	0	1	1	ASHILLA SAFIYA p	0	0	0	0
ANDIKA ARLISTIANTO p	0	0	0	0	(b2) EDSON WILLIAM p	0	0	0	0
(t3) LUKMAN KURNIA RAMDHONI p	0	0	0	0	(b4) KRISNA SEDIADI p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	16	5	7	4	TEAM TOTALS	21	2	6	1

E: BACHTIAR SANJAYA. DP: GARUDA 1. LOB: GARUDA 6, SABURAI 8. 2B: YUZA IRSANDI, MUHAROM, VIK HANDRA. SB: RANJANI, AKBAR KURNIAWAN, RIZKY ABI RACHMADI. SB: RANJANI, YUZA IRSANDI.

SABURAI	IP	H	R	ER	BB	SO
ANDIKA ARLISTIANTO W	2.00	5	2	1	0	3
LUKMAN KURNIA RAMDHONI S	3.00	1	0	0	1	4
GARUDA						
ASHILLA SAFIYA	1.33	3	2	2	3	0
EDSON WILLIAM L	2.33	4	3	3	3	1
KRISNA SEDIADI	0.33	0	0	0	0	1

HBP: by ANDIKA ARLISTIANTO (RIZKY SYANI ARDHAN). , by EDSON WILLIAM (RIDZKY ADITYA).
. . . WP: ASHILLA SAFIYA, EDSON WILLIAM. T: 2:00. A: 0.

GAME 6 TOHTO JUNKO UNIV JAPAN VS REDSOX BALI

TOHTO JUNKO UNIVERSITY at REDSOX BALI									
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E
TOHTO JUNKO UNIVERSITY	0	5	1	1	2	5	14	17	2
REDSOX BALI	0	0	0	0	0	0	0	4	1

TOHTO JUNKO UNIVERSITY 14, REDSOX BALI 0									
TOHTO JUNKO UNIVERSITY					REDSOX BALI				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
NAGASAWA TAKAHIRO lf	5	1	3	3	DIVA REZA FABIL 3b	1	0	1	0
FUMIYA MASUDA dh	4	2	2	2	(t5) ALY NURSANTO 3b	1	0	0	0
SOMA ISHINODA ss	3	0	1	1	I WAYAN HERRY ANDIKA 2b	2	0	0	0
(b5) SUGIURA ATSUSHI pr-ss	1	0	1	2	JARUS C INOBIO cf	2	0	0	0
HAYATO AMAMOTO cf	3	0	0	0	(t5) ADAM DYRO cf	1	0	0	0
(t6) KYOHEI ONO pr-cf	0	0	0	0	ALFREDOS,OLIVARES Jr lf	2	0	1	0
TAKAHASHI MIZUNO rf	4	3	2	0	(t5) I NYOMAN TRIYANA lf	1	0	1	0
KEITO OHNO 1b	4	3	4	0	CLARENCE LYLE M, C p-ss	3	0	0	0
FUMIYA IWASAKI c	3	1	2	1	JUNMAR R DIARAO rf-1b	2	0	0	0

	1	0	0	0	(b6) I PUTU EKA ARTIKA S PAND	pr	1	0	0
YUKIYOSHI WAKAI 3b	3	2	2	1	JERICHO GAFFAR 1b	1	0	1	0
(b5) KEITA SUZUKI 3b	0	1	0	0	(t3) BAYU AGUS SUPRIYADI rf	2	0	0	0
KEISUKE NISISAKA 2b	3	0	0	1	WISNU SURANTO c	1	0	0	0
(b5) KOSUKE HOMMA 2b	0	1	0	0	(t4) NAUFAL ASYA c	1	0	0	0
NAOKI WATANABE p	0	0	0	0	I WAYAN EKA DHARMAWAN ss	1	0	0	0
(b4) KENTA SHOJI p	0	0	0	0	(t4) DEDI UTOMO p	0	0	0	0
(b5) JUNYA TAKADA p	0	0	0	0	(t5) MOSSA DERO p	1	0	0	0
					(t6) ANHAR RACHMAN p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	34	14	17	11	TEAM TOTALS	23	0	4	0

E: KEITO OHNO, SUGIURA ATSUSHI, DIVA REZA FABIL. LOB: REDSOX BALI 7, TOHTO JUNKO UNIVERSITY 9. 2B: NAGASAWA TAKAHIRO, TAKAHASHI MIZUNO. 3B: SOMA ISHINODA. SB: NAGASAWA TAKAHIRO(3), SUGIURA ATSUSHI(2), KEITO OHNO, YUKIYOSHI WAKAI, FUMIYA MASUDA, KEITA SUZUKI, ALFREDOS,OLIVARES Jr. SB: I WAYAN HERRY ANDIKA.

TOHTO JUNKO UNIVERSITY	IP	H	R	ER	BB	SO
NAOKI WATANABE W	3.00	2	0	0	0	2
KENTA SHOJI	1.00	1	0	0	0	2
JUNYA TAKADA	2.00	1	0	0	0	5
REDSOX BALI						
CLARENCE LYLE M, C L	3.00	11	6	3	0	2
DEDI UTOMO	1.00	0	1	0	1	1
MOSSA DERO	1.67	4	6	4	5	0
ANHAR RACHMAN	0.33	2	1	1	0	1

HBP: by NAOKI WATANABE (DIVA REZA FABIL). . . , by ANHAR RACHMAN (HAYATO AMAMOTO).
WP: CLARENCE LYLE M, C . PB: FUMIYA IWASAKI, NAUFAL ASYA(2), WISNU SURANTO. T: 2:00. A: 0.

GAME 7 OCBC NISP BANDUNG VS JAKARTA RAWAMANGUN

OCBC NISP at JAKARTA RAWAMANGUN									
Score By Innings	1	2	3	4	5	R	H	E	
OCBC NISP	0	0	1	0	0	1	4	1	
JAKARTA RAWAMANGUN	0	0	1	0	1	2	3	2	

JAKARTA RAWAMANGUN 2, OCBC NISP 1									
JAKARTA RAWAMANGUN					OCBC NISP				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
ALBEFIANDI AIKEN SETIAWA 2b	3	0	1	0	YANA GERHANA 2b	3	1	1	0
NAZREY LAZUARDI cf-3b	3	0	1	2	M. HUSAIN MUTHAHHARI cf	3	0	0	0
ADITYA MUFLIH MAHMUD c	3	0	0	0	FUAD RASYAD 1b	3	0	2	0
FALDY AKHMAD ZULFIKAR rf-cf	1	0	0	0	LUTHFI BUDIMAN SHURIANT 3b	3	0	0	1
NARENDRA KHRISNA TRIWA ss	1	0	0	0	AGUS SUPRIATNA dh	2	0	1	0
ACHMAD NOUVAL AVERDI lf	2	0	0	0	M. HASAN FAKHRAN rf	1	0	0	0
ERU GINANJAR MAHMUD dh	2	0	0	0	(b5) M. NAUFAL RACHMAN rf	0	0	0	0
FAHRUDIN SIDIQ 1b	0	1	0	0	ZIDNEY FAHMIDYAN lf	0	0	0	0
(t5) LUCKY PRASETYO 2b	1	0	0	0	DIAS DWINANDA TRESNA ss	1	0	0	0
RIDHO JULIANUS 3b	0	0	0	0	REGIA R RAMADHAN c	2	0	0	0
(t5) MARCO DANIEL UNIPUTTY rf	1	1	1	0	NANDA DWI SAPUTRA p	0	0	0	0
UGRASENA p	0	0	0	0	(b4) YADI SURADI p	0	0	0	0
(t4) KEN ANBAI p	0	0	0	0					
TEAM TOTALS	17	2	3	2	TEAM TOTALS	18	1	4	1

E: ADITYA MUFLIH MAHMUD, RIDHO JULIANUS, DIAS DWINANDA TRESNA. DP: JAKARTA RAWAMANGUN 2, OCBC NISP 1. LOB: JAKARTA RAWAMANGUN 4, OCBC NISP 7. 2B: MARCO DANIEL UNIPUTTY. SB: ACHMAD NOUVAL AVERDI, NAZREY LAZUARDI. SB: RIDHO JULIANUS.

JAKARTA RAWAMANGUN	IP	H	R	ER	BB	SO
UGRASENA W	3.00	3	1	0	3	1
KEN ANBAI S	2.00	1	0	0	2	1
OCBC NISP						
NANDA DWI SAPUTRA	3.00	1	1	1	2	1
YADI SURADI L	2.00	2	1	1	1	0

PB: REGIA R RAMADHAN. T: 1:50. A: 0.

GAME 8 NAVY SRILANKA VS KALIMANTAN TIMUR SELECTION

NAVY SRILANKA at KALTIM SELECTION									
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E
NAVY SRILANKA	1	0	0	1	1	0	3	6	1
KALTIM SELECTION	0	0	0	0	1	0	1	7	3

NAVY SRILANKA 3, KALTIM SELECTION 1									
NAVY SRILANKA					KALTIM SELECTION				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
GAMSSB ABEYRATHNA ss	3	0	1	0	ROLLY MAHENDRA ss	2	1	1	0
YT PUSHPAKUMARA rf	3	1	1	0	FAUZAN ASHARY MOODUTO 2b	3	0	1	1
KAS MADUSHANKA 3b	1	1	0	1	DEDDY PURNOMO dh	3	0	2	0
DHANUSHKA SIRIMALWATHH 1b	2	0	1	0	CHRISTOPER YONG WE GE c	3	0	1	0
IBTM WICRAMASINGHE lf	1	0	0	0	ANGGA PRANANDA BAKTI 3b	3	0	2	0
GNR KUMARA 2b	2	0	0	0	RYAN CHANDRA ESA P cf	2	0	0	0
AMITH YAI WEERAPPERUMA cf	3	1	1	0	DARELLOA DEDY S rf	1	0	0	0
HUS HEWAPATHIRANA dh	3	0	2	0	PRADITA SATYA ANANDA 1b	2	0	0	0
PH PUSHPASIRI c	2	0	0	0	(t6) SULISTYO ADJI SANTOSO 1b	1	0	0	0
PWE HARSHANA p	0	0	0	0	HAERUL ANWAR lf	2	0	0	0

(b6) PHT MADUMAL p	0	0	0	0	(b6) NUR ADLU ARRASYID lf	1	0	0	0
					MICHAEL CHRISTIAN D R p	0	0	0	0
					(t5) GUNAWAN PANDU KALISTA p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	20	3	6	1	TEAM TOTALS	23	1	7	1

E: GAMSSB ABEYRATHNA , ROLLY MAHENDRA(2), ANGGA PRANANDA BAKTI. DP: NAVY SRILANKA 1. LOB: NAVY SRILANKA 7, KALTIM SELECTION 8. SB: YT PUSHPAKUMARA, KAS MADUSHANKA, DHANUSHKA SIRIMALWATHH, IBTM WICRAMASINGHE, ANGGA PRANANDA BAKTI, DARELLOA DEDY S. CS: IBTM WICRAMASINGHE(2), HUS HEWAPATHIRANA(2), DARELLOA DEDY S. SB: RYAN CHANDRA ESA P.

NAVY SRILANKA	IP	H	R	ER	BB	SO
PWE HARSHANA W	5.00	5	1	1	2	2
PHT MADUMAL S	1.00	2	0	0	0	2

KALTIM SELECTION						
MICHAEL CHRISTIAN D R L	4.00	5	3	1	3	2
GUNAWAN PANDU KALISTA	2.00	1	0	0	1	2

HBP: by MICHAEL CHRISTIAN D R (DHANUSHKA SIRIMALWATHH). , by MICHAEL CHRISTIAN D R (GAMSSB ABEYRATHNA). , by MICHAEL CHRISTIAN D R (GNR KUMARA). . , by GUNAWAN PANDU KALISTA (KAS MADUSHANKA). , by PHT MADUMAL (DARELLOA DEDY S). WP: GUNAWAN PANDU KALISTA. T: 2:00. A: 0.

TUE, 20/11/2018

GAME 9 REDSOX BALI VS GARUDA JAKARTA

REDSOX BALI at GARUDA									
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E
REDSOX BALI	0	1	1	0	0	0	2	8	1
GARUDA	0	1	2	1	0	0	4	6	0

GARUDA 4, REDSOX BALI 2									
GARUDA					REDSOX BALI				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
FADHIL RADITYA ARKANANTA ss	2	1	0	0	DIVA REZA FABIL 3b	3	0	0	0
RIZKY JODIANSYAH 2b	3	1	1	1	ANHAR RACHMAN 2b	3	1	1	0
RAYESHA IKRAM HARDONO 3b	2	1	1	0	(b5) I WAYAN EKA DHARMAWAN 2b	0	0	0	0
AHMAD ABDA'OE 1b	3	0	1	1	JARUS C INOBIO cf	3	0	3	0
AZFARHAN MUNAF c	1	1	0	1	ALFREDOS,OLIVARES Jr c	2	0	1	1
ANDHIKA PUTRA dh	3	0	1	0	CLARENCE LYLE M, C ss	3	0	0	0
THARIQ ABIEZA HAKIM rf	2	0	1	0	I WAYAN HERRY ANDIKA rf-lf	2	1	1	0
(t5) HARLAN RAFII LAKSANA rf	1	0	0	0	(b3) ALAND GERVES lf	1	0	0	0
HANGGADHIKA MIZWARA lf	2	0	0	0	JUNMAR R DIARAO 1b-p	3	0	1	0
(b6) DIMITRY RATULANGIE I lf	1	0	0	0	ROEL IMPACIS lf- rf-1b	2	0	0	0
AKMAL MIZAN DATAMA B cf	3	0	1	0	MASASHI KANEGAE p-1b	2	0	1	0
TAUFIK ARIESTA HAKIM p	0	0	0	0	(b4) YUSEP FIRMANSYAH 1b-rf	0	0	0	0
TEAM TOTALS	23	4	6	3	TEAM TOTALS	24	2	8	1

E: CLARENCE LYLE M, C . LOB: REDSOX BALI 5, GARUDA 7. 2B: RIZKY JODIANSYAH, JARUS C INOBIO. SB: RAYESHA IKRAM HARDONO, AZFARHAN MUNAF, AKMAL MIZAN DATAMA B, ALFREDOS,OLIVARES Jr, I WAYAN HERRY ANDIKA, JUNMAR R DIARAO, MASASHI KANEGAE. CS: THARIQ ABIEZA HAKIM, JUNMAR R DIARAO, JARUS C INOBIO. SF: AZFARHAN MUNAF.

GARUDA	IP	H	R	ER	BB	SO
TAUFIK ARIESTA HAKIM W	6.00	8	2	2	1	3
REDSOX BALI						
MASASHI KANEGAE L	2.67	5	3	2	1	2
JUNMAR R DIARAO	3.33	1	1	1	2	5

HBP: by MASASHI KANEGAE (FADHIL RADITYA ARKANANTA). , by MASASHI KANEGAE (AZFARHAN MUNAF). Balk: MASASHI KANEGAE. T: 2:00. A: 0.

GAME 10 SABURAI VS TOHTO JUNKO UNIV JAPAN

SABURAI at TOHTO JUNKO UNIVERSITY									
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E
SABURAI	0	0	0	0	0	0	0	1	1
TOHTO JUNKO UNIVERSITY	1	2	6	0	0	1	10	10	0

TOHTO JUNKO UNIVERSITY 10, SABURAI 0									
TOHTO JUNKO UNIVERSITY					SABURAI				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
NAGASAWA TAKAHIRO lf	3	0	1	2	BACHTIAR SANJAYA 2b	2	0	0	0
TAKUMI NANJO 2b	3	1	0	0	(t6) IID AHMAD MUNADI 2b	1	0	0	0
HAYATO AMAMOTO cf	4	1	2	0	PANDU ARIA PRAKASA rf	1	0	0	0
TAKAHASHI MIZUNO dh	3	2	1	2	(b3) RIZKI RAMADHAN p-cf	1	0	0	0
SOMA ISHINODA ss	3	0	1	0	RANJANI dh-lf	2	0	0	0
(t6) KOSUKE HOMMA 3b	1	0	0	0	YUZA IRSANDI lf	1	0	0	0
KEITO OHNO 1b	2	1	0	0	(b3) CHINDY P YUDHARANA 3b	1	0	0	0
(b6) YOSUKE HASEGAWA 1b	1	0	0	0	AKBAR KURNIAWAN 3b-rf	2	0	0	0
RYUNOSUKE TADA c	2	2	2	1	VENDY KURNIAWAN ss	1	0	1	0
KYOHEI ONO rf	2	1	1	0	(b4) TOMMY DWITAMA ss	1	0	0	0

INABA KEIGO 3b-ss	2	2	2	2	ANDIKA ARLISTIANTO c	1	0	0	0
AKIO YAMAZAKI p	0	0	0	0	(b3) MUHAROM c	1	0	0	0
(t4) NOZOMI MORIKANE p	0	0	0	0	VIK HANDRA 1b	1	0	0	0
(t6) KENTARO OKAZAWA p	0	0	0	0	(b4) RIDZKY ADITYA 1b	1	0	0	0
					FIDYA SEPTANA cf	1	0	0	0
					(b4) HAMZAH cf	1	0	0	0
					(b6) RULLY N PARNANTO p	0	0	0	0
					URSHANDY ALIF JHONATA p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	26	10	10	7	TEAM TOTALS	19	0	1	0

E: AKBAR KURNIAWAN. LOB: SABURAI 1, TOHTO JUNKO UNIVERSITY 7. 2B: NAGASAWA TAKAHIRO, SOMA ISHINODA, RYUNOSUKE TADA. HR: TAKAHASHI MIZUNO. SB: INABA KEIGO(2), NAGASAWA TAKAHIRO, TAKUMI NANJO. CS: NAGASAWA TAKAHIRO.

TOHTO JUNKO UNIVERSITY	IP	H	R	ER	BB	SO
AKIO YAMAZAKI W	3.00	1	0	0	0	1
NOZOMI MORIKANE	2.00	0	0	0	0	3
KENTARO OKAZAWA	1.00	0	0	0	0	1
SABURAI						
URSHANDY ALIF JHONATA	2.33	8	9	8	6	2
RIZKI RAMADHAN	2.67	1	0	0	3	2
RULLY N PARNANTO L	0.67	1	1	0	0	1

WP: URSHANDY ALIF JHONATA(3). PB: ANDIKA ARLISTIANTO(2), MUHAROM(2). T: 2:00. A: 0.

NAVY SRILANKA at OCBC NISP										
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	7	R	H	E
NAVY SRILANKA	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
OCBC NISP	0	0	0	0	2	0	0	2	4	1

OCBC NISP 2 , NAVY SRILANKA 0									
OCBC NISP					NAVY SRILANKA				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
YANA GERHANA 2b	2	0	0	0	GAMSSB ABEYRATHNA ss	2	0	0	0
M. HUSAIN MUTHAHHARI cf	2	0	0	1	YT PUSHPAKUMARA rf	3	0	1	0
FUAD RASYAD 1b	3	0	0	0	KAS MADUSHANKA 3b	3	0	0	0
LUTHFI BUDIMAN SHURIANT 3b	3	0	0	0	DHANUSHKA SIRIMALWATHH 1b	3	0	1	0
AGUS SUPRIATNA dh	2	0	1	0	IBTM WICRAMASINGHE lf	3	0	0	0
TEGAR RAHMATYA rf	2	0	0	0	GNR KUMARA 2b	3	0	0	0
YADI SURADI ss	1	1	0	0	AMITH YAI WEERAPPERUMA cf	2	0	0	0
ZIDNEY FAHMIDYAN lf	2	1	2	0	HUS HEWAPATHIRANA dh	3	0	0	0
REGIA R RAMADHAN c	1	0	1	1	PH PUSHPASIRI c	2	0	1	0
NANDA DWI SAPUTRA p	0	0	0	0	PHT MADUMAL p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	18	2	4	2	TEAM TOTALS	24	0	3	0

E: YADI SURADI, GNR KUMARA, IBTM WICRAMASINGHE. DP: NAVY SRILANKA 1. LOB: OCBC NISP 4, NAVY SRILANKA 5. SB: YT PUSHPAKUMARA. SB: YANA GERHANA, REGIA R RAMADHAN, TEGAR RAHMATYA. SF: M. HUSAIN MUTHAHHARI.

OCBC NISP	IP	H	R	ER	BB	SO
NANDA DWI SAPUTRA W	7.00	3	0	0	1	0
NAVY SRILANKA						
PHT MADUMAL L	6.00	4	2	1	2	4

HBP: by NANDA DWI SAPUTRA (GAMSSB ABEYRATHNA). . . T: 1:30. A: 0.

KALTIM SELECTION at JAKARTA RAWAMANGUN									
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E
KALTIM SELECTION	0	0	0	0	4	0	4	7	1
JAKARTA RAWAMANGUN	0	0	0	0	0	0	0	4	3

KALTIM SELECTION 4 , JAKARTA RAWAMANGUN 0									
KALTIM SELECTION					JAKARTA RAWAMANGUN				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
ROLLY MAHENDRA 2b	3	1	2	0	NAZREY LAZUARDI cf	3	0	1	0
AHQSAN RIZKY FAUSI rf	2	0	0	0	ALBEFIANDI AIKEN SETIAWA 2b	3	0	0	0
(t5) ABU BAKAR rf	1	1	1	2	ADITYA MUFLIH MAHMUD lf	2	0	1	0
ANGGA PRANANDA BAKTI 3b	3	0	0	0	FALDY AKHMAD ZULFIKAR c	3	0	0	0
CHRISTOPER YONG WE GE ss	3	0	2	0	NARENDRA KHRISNA TRIWA ss	2	0	1	0
DEDDY PURNOMO dh	3	0	1	0	(b6) ERA PATIGO RIZKY pr-ss	0	0	0	0
FAUZAN ASHARY MOODUTO cf	3	1	1	0	DONNY TRISNADI 3b	1	0	0	0
DARELLOA DEDY S c	2	0	0	0	ERU GINANJAR MAHMUD dh	2	0	1	0
(t5) RYAN CHANDRA ESA P pr-c	0	1	0	0	FAHRUDIN SIDIQ rf	1	0	0	0
MICHAEL CHRISTIAN D R 1b	2	0	0	0	(b4) MARIO BARAPUTRA rf-1b	1	0	0	0
HAERUL ANWAR lf	2	0	0	0	MARCO DANIEL UNIPUTTY 1b-rf	2	0	0	0
HASRUDDIN p	0	0	0	0	(t6) ACHMAD NOUVAL AVERDI rf	0	0	0	0
(b6) GUNAWAN PANDU KALISTA p	0	0	0	0	HADI NUR MUHAMMAD p	0	0	0	0
					(t5) LUQMAN L'HAKIM SAVARIN p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	24	4	7	2	TEAM TOTALS	20	0	4	0

E: ANGA PRANANDA BAKTI, NAZREY LAZUARDI(2), FALDY AKHMAD ZULFIKAR. DP: KALTIM SELECTION 1. LOB: KALTIM SELECTION 3, JAKARTA RAWAMANGUN 6. SB: ROLLY MAHENDRA, FAUZAN ASHARY MOODUTO, ERA PATIGO RIZKY. CS: NARENDRA KHRISNA TRIWA. SB: DONNY TRISNADI.

KALTIM SELECTION	IP	H	R	ER	BB	SO
HASRUDDIN W	5.00	4	0	0	1	3
GUNAWAN PANDU KALISTA	1.00	0	0	0	0	1
JAKARTA RAWAMANGUN						
HADI NUR MUHAMMAD	4.67	5	4	1	1	5
LUQMAN L'HAKIM SAVARIN L	1.33	2	0	0	0	0

HBP: by HASRUDDIN (NARENDRA KHRISNA TRIWA), by HASRUDDIN (DONNY TRISNADI). T: 2:00. A: 0.

WED, 21/11/2018

GAME 13 CONSOLATION NAVY SRILANKA VS GARUDA JAKARTA

NAVY SRILANKA at GARUDA										
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E	
NAVY SRILANKA	1	1	0	0	0	0	2	2	0	
GARUDA	0	0	3	3	0	0	6	14	1	

GARUDA 6, NAVY SRILANKA 2										
GARUDA					NAVY SRILANKA					
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi	
FADHIL RADITYA ARKANANTA ss	3	2	1	0	GAMSSB ABEYRATHNA 2b	2	1	0	0	
RIZKY JODIANSYAH 2b	4	1	2	0	YT PUSHPAKUMARA rf	3	0	0	0	
AZFARHAN MUNAF c	4	2	4	1	KAS MADUSHANKA 3b	3	0	2	1	
AHMAD ABDA'OE 3b	4	0	2	2	DHANUSHKA SIRIMALWATHH dh	3	0	0	0	
AKMAL MIZAN DATAMA B cf	2	1	2	1	IBTM WICRAMASINGHE lf	2	1	0	0	
(t6) ADLI RAYHAN FARIZA rf	1	0	0	0	RMMP RANATHUNGA ss	3	0	0	0	
GIRALDI PJ NATAKOESEOMA lb	3	0	1	0	AMITH YAI WEERAPPERUMA cf	1	0	0	0	
KEVIN ADRIAN WASO DAKO rf-cf	4	0	1	0	HBPM BANDARA lb	2	0	0	1	

HILMAN ROSYADI dh	3	0	1	1	PH PUSHPASIRI c	0	0	0	0
DIMITRY RATULANGIE I lf	3	0	0	0	GNR KUMARA p	0	0	0	0
(t5) HANGGADHIKA MIZWARA lf	0	0	0	0	(b4) PWE HARSHANA p	0	0	0	0
ASHILLA SAFIYA p	0	0	0	0	(b4) PHT MADUMAL p	0	0	0	0
(t4) EDSON WILLIAM p	0	0	0	0					
TEAM TOTALS	31	6	14	5	TEAM TOTALS	19	2	2	2

E: GIRALDI PJ NATAKOESEOMA. DP: GARUDA 1. LOB: NAVY SRILANKA 4, GARUDA 10. 2B: AZFARHAN MUNAF, FADHIL RADITYA ARKANANTA. SB: AZFARHAN MUNAF(2), AHMAD ABDA'OE, GAMSSB ABEYRATHNA , PH PUSHPASIRI, IBTM WICRAMASINGHE, AMITH YAI WEERAPPERUMA. CS: AHMAD ABDA'OE, KAS MADUSHANKA.

GARUDA	IP	H	R	ER	BB	SO
ASHILLA SAFIYA	3.00	2	2	1	1	1
EDSON WILLIAM W	3.00	0	0	0	2	0
NAVY SRILANKA						
GNR KUMARA	3.00	7	3	3	1	2
PHT MADUMAL	2.67	2	0	0	0	4
PWE HARSHANA L	0.33	5	3	3	1	0

HBP: by ASHILLA SAFIYA (AMITH YAI WEERAPPERUMA), by ASHILLA SAFIYA (PH PUSHPASIRI). , by GNR KUMARA (GIRALDI PJ NATAKOESEOMA). . . . WP: ASHILLA SAFIYA. T: 2:00. A: 0.

GAME 14 SUPER ROUND JAKARTA RAWAMANGUN VS TOHTO JUNKO UNIV JAPAN

JAKARTA RAWAMANGUN at TOHTO JUNKO UNIVERSITY										
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E	
JAKARTA RAWAMANGUN	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
TOHTO JUNKO UNIVERSITY	3	2	0	5	0	0	10	10	1	

TOHTO JUNKO UNIVERSITY 10, JAKARTA RAWAMANGUN 0										
TOHTO JUNKO UNIVERSITY					JAKARTA RAWAMANGUN					
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi	
HAYATO AMAMOTO cf	4	2	2	2	KOGI PUTRATAMA 2b	2	0	0	0	
FUMIYA MASUDA dh	4	1	2	1	OTTO WAHYUMINARTO ss-3b	2	0	1	0	

TAKUMI NANJO 2b	3	1	1	1	ADITYA MUFLIH MAHMUD c	1	0	0	0
(t5) KEISUKE NISISAKA 2b	1	0	0	0	FALDY AKHMAD ZULFIKAR cf- rf	2	0	0	0
TAKAHASHI MIZUNO lf	2	2	1	0	FAHRUDIN SIDIQ 1b	2	0	0	0
FUMIYA IWASAKI 1b	3	2	2	5	RIDHO JULIANUS 3b	1	0	0	0
YOSUKE HASEGAWA rf	3	0	2	0	(b4) NARENDRA KHRISNA TRIWA ss	1	0	1	0
KEITA SUZUKI 3b	3	0	0	0	ERU GINANJAR MAHMUD dh-c	3	0	0	0
YUKI MATSUI c	3	0	0	0	BOB HARIS MANDELA lf	1	0	0	0
SUGIURA ATSUSHI ss	0	2	0	0	LAKSIANA BAYU WICAKSONO rf	1	0	0	0
(t5) YUKIYOSHI WAKAI ss	0	0	0	0	(b4) NAZREY LAZUARDI cf	0	0	0	0
TAISEI SEJIMO p	0	0	0	0	LUQMAN L'HAKIM SAVARIN p	0	0	0	0
(t4) KAZUKI KUROKAWA p	0	0	0	0	(b2) NICHOLAS BHAGASINSAN p	0	0	0	0
					(b4) HALOMOAN YEHEZKIEL WILLI	p			
					(b4) DONNY TRISNADI p	0	0	0	0
					(b5) KEN ANBAI p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	26	10	10	9	TEAM TOTALS	16	0	2	0

E: FUMIYA IWASAKI, KOGI PUTRATAMA, LAKSIANA BAYU WICAKSONO. DP: TOHTO JUNKO UNIVERSITY 1. LOB: JAKARTA RAWAMANGUN 1, TOHTO JUNKO UNIVERSITY 5. 2B: HAYATO AMAMOTO(2), FUMIYA MASUDA. HR: FUMIYA IWASAKI(2). SB: TAKUMI NANJO, TAKAHASHI MIZUNO, YOSUKE HASEGAWA, KEITA SUZUKI. CS: TAKUMI NANJO, FAHRUDIN SIDIQ.

TOHTO JUNKO UNIVERSITY	IP	H	R	ER	BB	SO
TAISEI SEJIMO W	3.00	0	0	0	0	3
KAZUKI KUROKAWA S	2.00	2	0	0	0	2
JAKARTA RAWAMANGUN						
LUQMAN L'HAKIM SAVARIN	1.67	2	5	4	2	0
NICHOLAS BHAGASINSAN L	1.33	3	2	2	1	1
DONNY TRISNADI	0.00	0	0	0	0	0
HALOMOAN YEHEZKIEL WILLI	0.67	1	2	2	0	0
KEN ANBAI	1.00	0	0	0	1	0

WP: NICHOLAS BHAGASINSAN, KEN ANBAI. T: 2:00. A: 0.

GAME 15 SUPER ROUND SABURAI LAMPUNG VS KALIMANTAN TIMUR SELECTION

SABURAI at KALTIM SELECTION												
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	7	R	H	E		
SABURAI	0	0	2	0	0	1	0	3	6	1		
KALTIM SELECTION	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1		

SABURAI 3, KALTIM SELECTION 1												
SABURAI					KALTIM SELECTION							
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi			
TOMMY DWITAMA 2b	4	1	1	0	ROLLY MAHENDRA 3b	2	0	0	0			
RIZKI RAMADHAN cf	3	1	0	0	ABU BAKAR rf	1	0	0	0			
RANJANI lf	3	0	0	0	(t5) OFIR CHRISTOPER rf	0	1	0	0			
RIDZKY ADITYA 1b	3	0	2	2	MICHAEL CHRISTIAN D R 1b	2	0	1	0			
CHINDY P YUDHARANA 3b	2	0	0	0	CHRISTOPER YONG WE GE ss	2	0	0	1			
MUHAROM c	2	1	1	0	DEDDY PURNOMO dh	2	0	0	0			
YUZA IRSANDI dh	2	0	0	0	FAUZAN ASHARY MOODUTO 2b	3	0	0	0			
(t6) AKBAR KURNIAWAN dh	0	0	0	0	RYAN CHANDRA ESA P cf	3	0	0	0			
VENDY KURNIAWAN ss	3	0	2	1	DARELLOA DEDY S c	2	0	0	0			
BACHTIAR SANJAYA rf	3	0	0	0	HAERUL ANWAR lf	2	0	0	0			
LUKMAN KURNIA RAMDHONI p	0	0	0	0	(b7) HELMY KURNIAWANSYAH lf	1	0	0	0			
					YUDI SAPUTRA p	0	0	0	0			
					(t4) GUNAWAN PANDU KALISTA p	0	0	0	0			
TEAM TOTALS	25	3	6	3	TEAM TOTALS	20	1	1	1			

E: CHINDY P YUDHARANA, MICHAEL CHRISTIAN D R. DP: SABURAI 1, KALTIM SELECTION 1. LOB: KALTIM SELECTION 5, SABURAI 5. 2B: RIDZKY ADITYA. SB: RIDZKY ADITYA, MICHAEL CHRISTIAN D R. SB: MUHAROM, ROLLY MAHENDRA.

SABURAI	IP	H	R	ER	BB	SO
LUKMAN KURNIA RAMDHONI W	7.00	1	1	1	5	6
KALTIM SELECTION						
YUDI SAPUTRA L	3.00	3	2	2	1	0
GUNAWAN PANDU KALISTA	4.00	3	1	1	0	1

HBP: by YUDI SAPUTRA (RIZKI RAMADHAN). . . . , by GUNAWAN PANDU KALISTA (AKBAR KURNIAWAN), by LUKMAN KURNIA RAMDHONI (DEDDY PURNOMO). . T: 2:00. A: 0.

GAME 16 CONSOLATION OCBC NISP BANDUNG VS REDSOX BALI

OCBC NISP at REDSOX BALI											
Score By Innings		1	2	3	4	5	6	R	H	E	
OCBC NISP		1	0	0	0	0	1	2	6	2	
REDSOX BALI		0	2	0	0	0	3	5	7	1	

REDSOX BALI 5, OCBC NISP 2											
REDSOX BALI						OCBC NISP					
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi		
JARUS C INOBIO cf	3	0	0	0	LUTHFI BUDIMAN SHURIANT 3b	3	0	1	0		
I WAYAN HERRY ANDIKA 2b	2	0	0	0	YANA GERHANA 2b	3	1	2	0		
(t4) DEDI UTOMO 2b	0	0	0	0	FUAD RASYAD 1b	3	0	0	0		
(b6) ALY NURSANTO 2b	1	0	0	0	M. HUSAIN MUTHAHHARI cf	2	1	0	1		
CLARENCE LYLE M, C p-3b	2	1	0	0	AGUS SUPRIATNA dh	3	0	2	0		
ALFREDOS,OLIVARES Jr c	3	0	0	0	(t6) M. HASAN FAKHRAN pr-dh	0	0	0	0		
ANHAR RACHMAN ss	3	1	3	0	ZIDNEY FAHMIDYAN lf	2	0	0	0		
(b6) ALAND GERVES pr-ss	0	1	0	0	REGIA R RAMADHAN c	3	0	0	0		
YUSEP FIRMANSYAH rf	2	1	0	0	DIAS DWINANDA TRESNA ss	2	0	0	0		
JUNMAR R DIARAO 1b-3b-p	3	1	2	3	(b4) YADI SURADI ss	1	0	0	0		

MATTHEW HUWAE lf	2	0	2	0	SANDI SANJAYA rf	1	0	0	0
I NYOMAN TRIYANA 3b	1	0	0	0	(b2) M. NAUFAL RACHMAN rf	1	0	1	0
(t4) JERICHO GAFFAR 1b	1	0	0	0	R. OTO AJI PUTRA P. p	0	0	0	0
					(b2) RAWAFI YAPUTRA p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	23	5	7	3	TEAM TOTALS	24	2	6	1

E: JERICHO GAFFAR, FUAD RASYAD, REGIA R RAMADHAN. LOB: REDSOX BALI 3, OCBC NISP 6. 2B: JUNMAR R DIARAO(2). SB: JUNMAR R DIARAO, ANHAR RACHMAN, MATTHEW HUWAE, M. HUSAIN MUTHAHHARI, M. NAUFAL RACHMAN. CS: MATTHEW HUWAE.

REDSOX BALI	IP	H	R	ER	BB	SO
CLARENCE LYLE M, C W	5.00	6	2	0	2	3
JUNMAR R DIARAO S	1.00	0	0	0	0	1
OCBC NISP						
R. OTO AJI PUTRA P.	1.67	3	2	0	0	0
RAWAFI YAPUTRA L	4.00	4	3	3	2	2

WP: CLARENCE LYLE M, C . T: 2:00. A: 0.

GAME 17 CONSOLATION REDSOX BALI VS NAVY SRILANKA

REDSOX BALI at NAVY SRILANKA												
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	7	8	R	H	E	
REDSOX BALI	2	0	0	2	0	0	0	1	5	7	2	
NAVY SRILANKA	1	0	0	0	2	0	1	0	4	13	2	

REDSOX BALI 5, NAVY SRILANKA 4									
REDSOX BALI					NAVY SRILANKA				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
JARUS C INOBIO cf	3	0	3	1	GAMSSB ABEYRATHNA ss	5	1	1	0
JERICO GAFFAR 3b-1b	2	1	0	0	YT PUSHPAKUMARA rf	4	3	3	0
CLARENCE LYLE M, C ss	4	1	1	0	KAS MADUSHANKA 3b	2	0	1	1
ALFREDOS,OLIVARES Jr lf-c	4	1	1	0	DHANUSHKA SIRIMALWATHH 1b	4	0	1	1
ANHAR RACHMAN 2b	3	1	1	0	IBTM WICRAMASINGHE lf	3	0	2	0
JUNMAR R DIARAO 1b-p	2	0	0	0	GNR KUMARA 2b	4	0	1	1
WISNU SURANTO c	2	0	1	2	AMITH YAI WEERAPPERUMA cf	4	0	0	0
(b5) MATTHEW HUWAE lf	1	0	0	0	HUS HEWAPATHIRANA dh	5	0	3	0
BAYU AGUS SUPRIYADI rf	2	0	0	0	PH PUSHPASIRI c	4	0	1	0
(b5) YUSEP FIRMANSYAH rf	1	1	0	0	WKAB PATHIRAJA p	0	0	0	0
DEDI UTOMO p	2	0	0	0	(t5) PHT MADUMAL p	0	0	0	0
(b5) ALY NURSANTO 3b	1	0	0	0					
(t7) MOSSA DERO 3b	1	0	0	0					
TEAM TOTALS	28	5	7	3	TEAM TOTALS	35	4	13	3

E: WISNU SURANTO, ALY NURSANTO, DHANUSHKA SIRIMALWATHH(2). DP: NAVY SRILANKA 1. LOB: REDSOX BALI 4, NAVY SRILANKA 12. 2B: JARUS C INOBIO, KAS MADUSHANKA. 3B: JARUS C INOBIO. SB: ANHAR RACHMAN, JERICO GAFFAR, YT PUSHPAKUMARA(3), KAS MADUSHANKA(2), HUS HEWAPATHIRANA. CS: ANHAR RACHMAN, JUNMAR R DIARAO, HUS HEWAPATHIRANA. SB: JERICO GAFFAR. SF: KAS MADUSHANKA.

REDSOX BALI	IP	H	R	ER	BB	SO
DEDI UTOMO S	4.00	5	1	0	1	5
JUNMAR R DIARAO W	3.67	8	3	2	1	2
NAVY SRILANKA						
WKAB PATHIRAJA	4.00	4	4	2	3	3
PHT MADUMAL L	4.00	3	1	1	0	3

Balk: JUNMAR R DIARAO. T: 2:00. A: 0.

GAME 18 SUPER ROUND KALIMANTAN TIMUR SELECTION VS TOHTO JUNKO UNIV JAPAN

KALTIM SELECTION at TOHTO JUNKO UNIVERSITY												
Score By Innings	1	2	3	4	5	R	H	E				
KALTIM SELECTION	0	0	0	0	0	0	0	2				
TOHTO JUNKO UNIVERSITY	0	4	3	5	0	12	14	0				

TOHTO JUNKO UNIVERSITY 12, KALTIM SELECTION 0									
TOHTO JUNKO UNIVERSITY					KALTIM SELECTION				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
NAGASAWA TAKAHIRO lf	4	1	3	1	AHQSAN RIZKY FAUSI 3b	2	0	0	0
TAKUMI NANJO 2b	3	0	1	1	HELMY KURNIAWANSYAH lf	2	0	0	0
HAYATO AMAMOTO cf	3	0	2	1	YONATAN HIBAU 1b	2	0	0	0
TAKAHASHI MIZUNO dh	3	1	0	0	NUR ADLU ARRASYID dh	2	0	0	0
SOMA ISHINODA ss	3	1	1	0	SULISTYO ADJI SANTOSO rf	2	0	0	0
KEITO OHNO 1b	2	3	2	1	RYAN CHANDRA ESA P 2b	2	0	0	0
FUMIYA IWASAKI c	2	2	2	4	OFIR CHRISTOPER ss	1	0	0	0
KYOHEI ONO rf	2	2	1	0	AGUNG PRIAMBARA cf	1	0	0	0
INABA KEIGO 3b	2	2	2	0	HAERUL ANWAR c	1	0	0	0
NAOKI WATANABE p	0	0	0	0	PRADITA SATYA ANANDA p	0	0	0	0

(t3) KENTA SHOJI p	0	0	0	0	(b4) FUGUH SANTOSO p	0	0	0	0
(t5) JUNYA TAKADA p	0	0	0	0	(b4) FANI FATUROHMAN p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	24	12	14	8	TEAM TOTALS	15	0	0	0

E: HAERUL ANWAR, RYAN CHANDRA ESA P. LOB: KALTIM SELECTION 0, TOHTO JUNKO UNIVERSITY 7. 2B: TAKUMI NANJO, FUMIYA IWASAKI, KEITO OHNO. 3B: KEITO OHNO. HR: FUMIYA IWASAKI. SB: KYOHEI ONO(2), SOMA ISHINODA, FUMIYA IWASAKI, INABA KEIGO. SB: TAKUMI NANJO. SF: FUMIYA IWASAKI.

TOHTO JUNKO UNIVERSITY	IP	H	R	ER	BB	SO
NAOKI WATANABE	2.00	0	0	0	0	5
KENTA SHOJI	2.00	0	0	0	0	4
JUNYA TAKADA W	1.00	0	0	0	0	1
KALTIM SELECTION						
PRADITA SATYA ANANDA	3.00	11	7	6	1	1
FUGUH SANTOSO	0.67	3	5	2	4	0
FANI FATUROHMAN L	0.33	0	0	0	0	0

PB: HAERUL ANWAR(2). Balk: FUGUH SANTOSO. T: 2:00. A: 0.

GAME 19 SUPER ROUND JAKARTA RAWAMANGUN VS SABURAI LAMPUNG

JAKARTA RAWAMANGUN at SABURAI									
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	R	H	E
JAKARTA RAWAMANGUN	1	0	0	3	0	0	4	7	3
SABURAI	0	0	0	2	1	0	3	8	0

JAKARTA RAWAMANGUN 4, SABURAI 3									
JAKARTA RAWAMANGUN	SABURAI								
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
OTTO WAHYUMINARTO 3b	1	1	1	1	TOMMY DWITAMA 2b	3	0	1	0
NARENDRA KHRISNA TRIWA 2b-ss	2	0	0	0	RIZKI RAMADHAN 3b-cf	2	1	2	1
ALBEFIANDI AIKEN SETIAWA 1b	2	0	1	1	RIDZKY ADITYA 1b	3	0	1	1
(t5) KOGI PUTRATAMA 1b	0	0	0	0	RANJANI cf-lf	3	1	1	0

(b5) MARIO BARAPUTRA 1b	0	0	0	0	VENDY KURNIAWAN ss	2	0	0	0
FALDY AKHMAD ZULFIKAR c	1	1	0	0	(b6) VERRY KASYOGA ss	1	0	0	0
(b4) LUCKY PRASETYO 2b	1	0	0	0	MUHAROM c	3	0	2	0
ADITYA MUFLIH MAHMUD cf-c	2	1	1	0	YUZA IRSANDI dh	1	0	0	0
NAZREY LAZUARDI lf-cf	2	0	1	0	AKBAR KURNIAWAN lf-rf	1	0	0	0
ACHMAD NOUVAL AVERDI rf-lf	3	1	1	0	(b5) BACHTIAR SANJAYA rf	1	1	1	0
DONNY TRISNADI ss-c	2	0	1	1	URSHANDY ALIF JHONATA rf	1	0	0	0
(b5) FAHRUDIN SIDIQ rf	1	0	0	0	(t4) ANDIKA ARLISTIANTO p	1	0	0	0
ERU GINANJAR MAHMUD dh	1	0	1	1	CHINDY P YUDHARANA p-dh-3b	2	0	0	0
HADI NUR MUHAMMAD p	0	0	0	0	(t4) HAKEEM YATIM b	0	0	0	0
(b5) MUHAMMAD AKBAR p	0	0	0	0	FIDYA SEPTANA b	0	0	0	0
TEAM TOTALS	18	4	7	4	TEAM TOTALS	24	3	8	2

E: FALDY AKHMAD ZULFIKAR(2), ADITYA MUFLIH MAHMUD. DP: JAKARTA RAWAMANGUN 1, SABURAI 1. LOB: SABURAI 4, JAKARTA RAWAMANGUN 4. SB: NAZREY LAZUARDI, RIZKI RAMADHAN(2), RANJANI(2), BACHTIAR SANJAYA. CS: NAZREY LAZUARDI. SB: NAZREY LAZUARDI, OTTO WAHYUMINARTO, ERU GINANJAR MAHMUD.

JAKARTA RAWAMANGUN	IP	H	R	ER	BB	SO
HADI NUR MUHAMMAD W	4.00	5	2	0	1	5
MUHAMMAD AKBAR S	2.00	3	1	1	0	2
SABURAI						
CHINDY P YUDHARANA	3.00	3	3	3	2	0
ANDIKA ARLISTIANTO L	3.00	4	1	1	1	1

HBP: by CHINDY P YUDHARANA (NARENDRA KHRISNA TRIWA). . . , by ANDIKA ARLISTIANTO (ADITYA MUFLIH MAHMUD). . . T: 2:00. A: 0.

GAME 20 CONSOLATION GARUDA JAKARTA VS OCBC NISP BANDUNG

GARUDA at OCBC NISP									
Score By Innings	1	2	3	4	5	R	H	E	
GARUDA	0	1	2	2	0	5	8	2	
OCBC NISP	1	1	1	3	0	6	5	2	

OCBC NISP 6, GARUDA 5									
OCBC NISP					GARUDA				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
REGIA R RAMADHAN 3b-c	3	0	2	1	FADHIL RADITYA ARKANANTA 3b	4	1	1	0
YANA GERHANA 2b	2	2	1	0	RIZKY ABI RACHMADI ss	1	2	1	0
FUAD RASYAD dh	1	0	0	0	RIZKY JODIANSYAH 2b	1	1	0	1
(b3) NANDA DWI SAPUTRA dh	1	0	0	0	AHMAD ABDA'OE 1b	3	0	0	0
M. HUSAIN MUTHAHHARI cf-3b	0	0	0	1	AKMAL MIZAN DATAMA B cf	3	1	3	1
AGUS SUPRIATNA rf	2	0	0	0	GIRALDI PJ NATAKOESOEMA dh	2	0	2	1
ZIDNEY FAHMIDYAN c-cf	1	2	1	0	TAUFIK ARIESTA HAKIM rf	1	0	0	1
M. NAUFAL RACHMAN 1b	2	1	1	0	ADLI RAYHAN FARIZA c	3	0	0	0
YADI SURADI ss	1	1	0	1	HANGGADHIKA MIZWARA lf	1	0	0	0
M. HASAN FAKHRAN lf	1	0	0	0	(t4) DIMITRY RATULANGIE I lf	1	0	0	0
RAWAFI YAPUTRA p	0	0	0	0	(t5) RIZKY SYANI ARDHAN lf	1	0	1	0
(t3) FEGGIE F FERDIANSYAH p	0	0	0	0	ASHILLA SAFIYA p	0	0	0	0
(t4) R. OTO AJI PUTRA P. p	0	0	0	0	(b3) EDSON WILLIAM p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	14	6	5	3	TEAM TOTALS	21	5	8	4

E: REGIA R RAMADHAN, YADI SURADI, RIZKY JODIANSYAH, ADLI RAYHAN FARIZA. DP: OCBC NISP 1. LOB: OCBC NISP 3, GARUDA 8. 2B: REGIA R RAMADHAN, AKMAL MIZAN DATAMA B. SB: YANA

GERHANA(2), M. HUSAIN MUTHAHHARI, ZIDNEY FAHMIDYAN, M. NAUFAL RACHMAN, NANDA DWI SAPUTRA, RIZKY ABI RACHMADI(2), FADHIL RADITYA ARKANANTA, AKMAL MIZAN DATAMA B. SB: M. HASAN FAKHRAN. SF: M. HUSAIN MUTHAHHARI, RIZKY JODIANSYAH, TAUFIK ARIESTA HAKIM.

OCBC NISP	IP	H	R	ER	BB	SO
RAWAFI YAPUTRA	2.33	4	3	3	4	5
FEGGIE F FERDIANSYAH	1.33	2	2	1	1	0
R. OTO AJI PUTRA P. S	1.33	2	0	0	0	1
GARUDA						
ASHILLA SAFIYA	2.00	2	2	1	2	1
EDSON WILLIAM L	2.00	3	4	2	3	1

HBP: by FEGGIE F FERDIANSYAH (GIRALDI PJ NATAKOESOEMA). . . WP: FEGGIE F FERDIANSYAH, EDSON WILLIAM(3), ASHILLA SAFIYA. PB: ADLI RAYHAN FARIZA. T: 2:00. A: 0.

SAT, 24/11/2018

GAME 21 CONSOLATION GARUDA JAKARTA VS REDSOX BALI

GARUDA at REDSOX BALI										
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	7	R	H	E
GARUDA	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
REDSOX BALI	0	2	0	0	0	0	0	2	6	1

REDSOX BALI 2, GARUDA 0									
REDSOX BALI					GARUDA				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
JARUS C INOBIO cf	2	0	0	0	RIZKY ABI RACHMADI ss	3	0	1	0
DIVA REZA FABIL 2b-3b	3	0	1	0	RIZKY JODIANSYAH 2b	3	0	0	0
CLARENCE LYLE M, C ss	3	0	1	0	RAYESHA IKRAM HARDONO dh	3	0	1	0
ALFREDOS,OLIVARES Jr c-lf	3	0	0	0	(t7) EDSON WILLIAM pr-dh	0	0	0	0
(t6) ALY NURSANTO lf	0	0	0	0	AHMAD ABDA'OE 1b	3	0	0	0
YUSEP FIRMANSYAH rf	3	0	0	0	AZFARHAN MUNAF c	2	0	0	0
ALAND GERVES lf	2	0	1	0	AKMAL MIZAN DATAMA B cf	3	0	0	0
(t4) NAUFAL ASYA c	1	0	0	0	FADHIL RADITYA ARKANANTA 3b	3	0	0	0
JUNMAR R DIARAO p	2	1	1	0	KEVIN ADRIAN WASO DAKO rf	1	0	0	0

I KETUT CATUR D SUKRESNA 1b	2	1	1	0	(t5) ANDHIKA PUTRA rf	1	0	0	0
(t5) JERICO GAFFAR 1b	1	0	0	0	(b5) ADLI RAYHAN FARIZA rf	0	0	0	0
I WAYAN EKA DHARMAWAN 3b	2	0	1	0	RIZKY SYANI ARDHAN lf	1	0	0	0
(t5) ANHAR RACHMAN 2b	0	0	0	0	(t6) GIRALDI PJ NATAKOESOEMA l	f			
					(b6) HARLAN RAFII LAKSANA lf	0	0	0	0
					ASHILLA SAFIYA p	0	0	0	0
					(b2) TAUFIK ARIESTA HAKIM p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	24	2	6	0	TEAM TOTALS	24	0	2	0

E: DIVA REZA FABIL, RIZKY SYANI ARDHAN. LOB: GARUDA 4, REDSOX BALI 6. 2B: JUNMAR R DIARAO. SB: CLARENCE LYLE M, C (2), I KETUT CATUR D SUKRESNA, RIZKY ABI RACHMADI. CS: ALAND GERVES.

REDSOX BALI	IP	H	R	ER	BB	SO
JUNMAR R DIARAO W	7.00	2	0	0	2	5
GARUDA						
ASHILLA SAFIYA L	1.67	4	2	0	1	2
TAUFIK ARIESTA HAKIM	4.33	2	0	0	1	2

PB: AZFARHAN MUNAF(2). T: 2:00. A: 0.

GAME 22 SUPER ROUND SABURAI LAMPUNG VS TOHTO JUNKO UNIV JAPAN

SABURAI at TOHTO JUNKO UNIVERSITY										
Score By Innings		1	2	3	4	5	6	R	H	E
SABURAI		0	0	0	0	0	0	0	2	1
TOHTO JUNKO UNIVERSITY		5	0	0	3	0	2	10	10	0

TOHTO JUNKO UNIVERSITY 10, SABURAI 0										
TOHTO JUNKO UNIVERSITY					SABURAI					
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi	
NAGASAWA TAKAHIRO lf	3	2	2	1	RIZKI RAMADHAN cf-3b	3	0	1	0	

(t6) KOSUKE HOMMA lf	1	1	1	0	BACHTIAR SANJAYA rf	0	0	0	0
INABA KEIGO 3b	2	2	1	1	(b5) HAMZAH rf	1	0	0	0
(t6) KEISUKE NISISAKA 3b	0	0	0	1	TOMMY DWITAMA 2b	3	0	0	0
HAYATO AMAMOTO cf	2	1	1	0	RANJANI lf	2	0	0	0
(t4) KYOHEI ONO cf	2	0	1	1	(b6) PANDU ARIA PRAKASA lf	0	0	0	0
TAKAHASHI MIZUNO rf	2	1	0	1	VENDY KURNIAWAN ss	2	0	0	0
(t6) YOSUKE HASEGAWA rf	1	0	1	0	MUHAROM c	2	0	0	0
SOMA ISHINODA ss	2	0	0	1	CHINDY P YUDHARANA 3b	2	0	0	0
(t6) SUGIURA ATSUSHI ss	1	0	0	0	(b5) FIDYA SEPTANA cf	0	0	0	0
FUMIYA IWASAKI dh	2	1	1	1	AKBAR KURNIAWAN dh	2	0	0	0
(b5) FUMIYA MASUDA dh	1	0	0	0	VIK HANDRA 1b	2	0	1	0
KEITO OHNO 1b	3	0	0	0	(b6) VERRY KASYOGA 1b	0	0	0	0
(t6) KEITA SUZUKI 1b	0	0	0	0	ANDIKA ARLISTIANTO p	0	0	0	0
RYUNOSUKE TADA c	3	1	2	2	(b2) LUKMAN KURNIA RAMDHONI p	0	0	0	0
(t6) YUKI MATSUI c	0	0	0	0	(b6) URSHANDY ALIF JHONATA p	0	0	0	0
TAKUMI NANJO 2b	2	0	0	0					
(t5) YUKIYOSHI WAKAI 2b	0	1	0	0					
KAZUKI KUROKAWA p	0	0	0	0					
(t3) AKIO YAMAZAKI p	0	0	0	0					
(t5) KENTA SHOJI p	0	0	0	0					
TEAM TOTALS	27	10	10	9	TEAM TOTALS	19	0	2	0

E: LUKMAN KURNIA RAMDHONI. LOB: SABURAI 3, TOHTO JUNKO UNIVERSITY 4. 2B: NAGASAWA TAKAHIRO. 3B: INABA KEIGO. SB: NAGASAWA TAKAHIRO, FUMIYA IWASAKI, YUKIYOSHI WAKAI, KOSUKE HOMMA, YOSUKE HASEGAWA, VIK HANDRA. SB: BACHTIAR SANJAYA. SF: KEISUKE NISISAKA, SOMA ISHINODA.

TOHTO JUNKO UNIVERSITY	IP	H	R	ER	BB	SO
KAZUKI KUROKAWA W	2.00	0	0	0	1	1
AKIO YAMAZAKI	2.00	2	0	0	0	1
KENTA SHOJI	2.00	0	0	0	0	3
SABURAI						
ANDIKA ARLISTIANTO L	1.00	4	5	5	2	0
LUKMAN KURNIA RAMDHONI	4.00	4	3	3	0	3
URSHANDY ALIF JHONATA	1.00	2	2	0	1	0

WP: LUKMAN KURNIA RAMDHONI. PB: MUHAROM. T: 2:00. A: 0.

GAME 23 SUPER ROUND KALIMANTAN TIMUR SELECTION VS JAKARTA RAWAMANGUN

KALTIM SELECTION at JAKARTA RAWAMANGUN												
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	7	8	R	H	E	
KALTIM SELECTION	2	0	0	0	2	0	0	0	4	7	1	
JAKARTA RAWAMANGUN	0	0	0	1	2	0	0	0	3	4	3	

KALTIM SELECTION 4, JAKARTA RAWAMANGUN 3									
KALTIM SELECTION					JAKARTA RAWAMANGUN				
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi
ROLLY MAHENDRA 2b	4	2	2	0	MUHAMMAD ALI AKBAR 3b-1f	1	1	0	0
RYAN CHANDRA ESA P rf	3	1	2	0	(b7) MARCO DANIEL UNIPUTTY 1f	1	0	0	0
ANGGA PRANANDA BAKTI 3b	3	1	1	1	NAZREY LAZUARDI cf	2	0	1	0
CHRISTOPER YONG WE GE ss-p	3	0	0	1	ADITYA MUFLIH MAHMUD c	3	0	0	0
DEDDY PURNOMO cf	3	0	0	0	ALBEFIANDI AIKEN SETIAWA 1b	3	0	0	0
DARELLOA DEDY S c	3	0	1	0	NARENDRA KHRISNA TRIWA ss	2	1	1	0
MICHAEL CHRISTIAN D R 1b-p	3	0	0	0	LUCKY PRASETYO 2b	2	1	0	0

FAUZAN ASHARY MOODUTO 1f-ss	3	0	1	0	(b7) AGUNG MUWARDI 2b	1	0	0	0
HAERUL ANWAR dh	2	0	0	0	ERU GINANJAR MAHMUD dh	2	0	1	2
(b5) GUNAWAN PANDU KALISTA p	1	0	0	0	FAHRUDIN SIDIQ rf	1	0	0	0
HASRUDDIN p	0	0	0	0	(b5) FALDY AKHMAD ZULFIKAR rf	2	0	1	0
					ACHMAD NOUVAL AVERDI 1f	0	0	0	0
					(b3) OTTO WAHYUMINARTO 1f-3b	2	0	0	0
					MUHAMMAD AKBAR p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	28	4	7	2	TEAM TOTALS	22	3	4	2

E: ANGGA PRANANDA BAKTI, ADITYA MUFLIH MAHMUD, ALBEFIANDI AIKEN SETIAWA, NARENDRA KHRISNA TRIWA. DP: KALTIM SELECTION 1, JAKARTA RAWAMANGUN 1. LOB: JAKARTA RAWAMANGUN 4, KALTIM SELECTION 4. 2B: ROLLY MAHENDRA(2). SB: RYAN CHANDRA ESA P(2), LUCKY PRASETYO, NAZREY LAZUARDI. CS: NARENDRA KHRISNA TRIWA, MUHAMMAD ALI AKBAR. SB: RYAN CHANDRA ESA P, NAZREY LAZUARDI.

KALTIM SELECTION	IP	H	R	ER	BB	SO
HASRUDDIN W	4.00	0	2	1	2	4
GUNAWAN PANDU KALISTA	2.67	4	1	0	2	0
MICHAEL CHRISTIAN D R	0.00	0	0	0	0	0
CHRISTOPER YONG WE GE S	0.33	0	0	0	0	1
JAKARTA RAWAMANGUN						
MUHAMMAD AKBAR L	7.00	7	4	2	0	7

HBP: by CHRISTOPER YONG WE GE (OTTO WAHYUMINARTO). . WP: HASRUDDIN. T: 2:00. A: 0.

OCBC NISP at NAVY SRILANKA												
Score By Innings		1	2	3	4	5	6	7	R	H	E	
OCBC NISP		0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	
NAVY SRILANKA		0	0	1	2	0	1	0	4	8	1	

NAVY SRILANKA 4, OCBC NISP 0												
NAVY SRILANKA					OCBC NISP							
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi			
YT PUSHPAKUMARA rf	4	0	1	1	LUTHFI BUDIMAN SHURIANT 3b	2	0	1	0			
GAMSSB ABEYRATHNA ss	4	0	2	1	(t3) M. HASAN FAKHRAN pr- 3b	0	0	0	0			
KAS MADUSHANKA 3b	3	0	0	0	(b4) FEGGIE F FERDIANSYAH ss	2	0	0	0			
IBTM WICRAMASINGHE lf	3	1	1	0	YANA GERHANA 2b	3	0	1	0			
DHANUSHKA SIRIMALWATHH 1b	3	1	1	0	FUAD RASYAD 1b	1	0	0	0			
HUS HEWAPATHIRANA dh	3	0	1	0	M. HUSAIN MUTHAHHARI cf-3b	2	0	0	0			
AMITH YAI WEERAPPERUMA cf	3	1	2	2	AGUS SUPRIATNA dh	2	0	0	0			
PH PUSHPASIRI c	3	0	0	0	(t6) DONDI APRILLIANDI dh	1	0	0	0			
GNR KUMARA 2b	3	1	0	0	ZIDNEY FAHMIDYAN lf-cf	3	0	1	0			
PWE HARSHANA p	0	0	0	0	REGIA R RAMADHAN c	3	0	0	0			
					M. NAUFAL RACHMAN rf- lf-3b	3	0	1	0			
					YADI SURADI ss-rf	3	0	0	0			
					NANDA DWI SAPUTRA p	0	0	0	0			
					(b4) RAWAFI YAPUTRA p	0	0	0	0			
TEAM TOTALS	29	4	8	4	TEAM TOTALS	25	0	4	0			

E: DHANUSHKA SIRIMALWATHH, FUAD RASYAD, YADI SURADI, M. HUSAIN MUTHAHHARI, M. NAUFAL RACHMAN. LOB: NAVY SRILANKA 7, OCBC NISP 7. 2B: GAMSSB ABEYRATHNA , AMITH YAI WEERAPPERUMA, YANA GERHANA. SB: GNR KUMARA(2), IBTM WICRAMASINGHE. SB: M. HUSAIN MUTHAHHARI.

NAVY SRILANKA	IP	H	R	ER	BB	SO
PWE HARSHANA W	7.00	4	0	0	2	1
OCBC NISP						
NANDA DWI SAPUTRA L	3.00	6	3	2	0	0
RAWAFI YAPUTRA	3.00	2	1	1	0	0

Balk: RAWAFI YAPUTRA. T: 1:40. A: 0.

SUN, 25/11/2018

TOHTO JUNKO UNIVERSITY at SABURAI												
Score By Innings		1	2	3	4	5	6	7	R	H	E	
TOHTO JUNKO UNIVERSITY		0	2	2	3	0	0	6	13	16	2	
SABURAI		0	1	0	0	0	1	0	2	4	3	

TOHTO JUNKO UNIVERSITY 13, SABURAI 2												
TOHTO JUNKO UNIVERSITY					SABURAI							
	ab	r	h	bi		ab	r	h	bi			
SUGIURA ATSUSHI ss	4	2	4	3	TOMMY DWITAMA 2b- ss	3	1	1	0			
KYOHEI ONO cf	4	2	3	0	BACHTIAR SANJAYA rf- 2b	3	0	1	0			
FUMIYA MASUDA dh	5	2	2	3	RIDZKY ADITYA 1b	2	0	0	1			
YOSUKE HASEGAWA rf	3	1	1	1	RANJANI lf	2	1	1	0			
KEITA SUZUKI 1b	5	2	1	0	VENDY KURNIAWAN ss	1	0	0	0			
YUKIYOSHI WAKAI 3b	4	0	1	1	(t4) AKBAR KURNIAWAN rf	2	0	0	0			
KOSUKE HOMMA lf	3	1	1	0	MUHAROM c	3	0	1	1			
YUKI MATSUI c	4	2	3	1	CHINDY P YUDHARANA 3b	3	0	0	0			
KEISUKE NISISAKA 2b	2	1	0	0	RIZKI RAMADHAN cf	2	0	0	0			
NAOKI WATANABE p	0	0	0	0	LUKMAN KURNIA RAMDHONI p	0	0	0	0			

(b4) KENTA SHOJI p	0	0	0	0	(t4) URSHANDY ALIF JHONATA p	0	0	0	0
(b6) KENTARO OKAZAWA p	0	0	0	0	(t7) ANDIKA ARLISTIANTO p	0	0	0	0
(b7) JUNYA TAKADA p	0	0	0	0	FIDYA SEPTANA dh	2	0	0	0
					VIK HANDRA dh	1	0	0	0
TEAM TOTALS	34	13	16	9	TEAM TOTALS	24	2	4	2

E: KEITA SUZUKI, YUKIYOSHI WAKAI, TOMMY DWITAMA, RIDZKY ADITYA, LUKMAN KURNIA RAMDHONI. LOB: SABURAI 3, TOHTO JUNKO UNIVERSITY 9. 2B: YUKIYOSHI WAKAI, SUGIURA ATSUSHI, MUHAROM, RANJANI. HR: FUMIYA MASUDA. SB: KEITA SUZUKI(3), YUKIYOSHI WAKAI(2), KOSUKE HOMMA(2), KEISUKE NISISAKA, KYOHEI ONO. CS: SUGIURA ATSUSHI. SF: YUKIYOSHI WAKAI, YOSUKE HASEGAWA, RIDZKY ADITYA.

TOHTO JUNKO UNIVERSITY	IP	H	R	E	R	BB	SO
NAOKI WATANABE W	3.00	2	1	1	0	2	
KENTA SHOJI	2.00	0	0	0	0	1	
KENTARO OKAZAWA S	1.00	2	1	0	1	0	
JUNYA TAKADA	1.00	0	0	0	0	0	
SABURAI							
LUKMAN KURNIA RAMDHONI	3.33	10	7	3	2	0	
URSHANDY ALIF JHONATA	3.00	4	3	3	4	1	
ANDIKA ARLISTIANTO	0.67	2	3	2	1	0	

HBP: by LUKMAN KURNIA RAMDHONI (KEISUKE NISISAKA). WP: LUKMAN KURNIA RAMDHONI, URSHANDY ALIF JHONATA. Balk: LUKMAN KURNIA RAMDHONI. T: 3:00. A: 0.

GAME 26 ALL STARS ALL STARS (INA-PHI-SRI) VS TOHTO JUNKO UNIV JAPAN

ALL STARS at TOHTO JUNKO UNIVERSITY												
Score By Innings	1	2	3	4	5	6	7	R	H	E		
ALL STARS	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
TOHTO JUNKO UNIVERSITY	1	3	1	0	0	0	0	5	8	0		

TOHTO JUNKO UNIVERSITY 5, ALL STARS 0												
TOHTO JUNKO UNIVERSITY					ALL STARS							
					ab	r	h	bi				
NAGASAWA TAKAHIRO lf	4	0	0	0	SADUN 3b	2	0	0	0			

INABA KEIGO 3b	3	0	0	1	DIARAO rf	3	0	0	0
HAYATO AMAMOTO cf	3	1	2	1	SSB ss	3	0	0	0
TAKAHASHI MIZUNO rf	3	0	2	1	INO BIO cf	1	0	0	0
SOMA ISHINODA ss	3	1	1	0	(t4) NAZREY cf-2b	2	0	0	0
FUMIYA IWASAKI dh	2	1	1	0	RIEKERK 1b	3	0	1	0
KEITO OHNO 1b	2	1	0	0	GE 2b-c	1	0	0	1
RYUNOSUKE TADA c	3	1	1	1	(b5) HADINUR lf-p	1	0	0	0
TAKUMI NANJO 2b	2	0	1	0	OLIVARES lf	1	0	0	0
TAISEI SEJIMO p	0	0	0	0	(b4) FABIL cf-lf-3b	1	0	0	0
(t3) AKIO YAMAZAKI p	0	0	0	0	(t5) JODIANSYAH 2b	1	0	0	0
(t5) KAZUKI KUROKAWA p	0	0	0	0	DHANUSKA dh	1	0	0	0
(t6) NOZOMI MORIKANE p	0	0	0	0	(t6) HASRUDIN lf	0	0	0	0
					WISNU c	1	0	0	0
					(b3) ANHAR 2b-lf-c	1	0	0	0
					AKBAR p	0	0	0	0
					(b2) MADUMAL p	0	0	0	0
					(b3) CASSALAN p	0	0	0	0
					(b4) PANDU p	0	0	0	0
TEAM TOTALS	25	5	8	4	TEAM TOTALS	22	0	1	1

E: RIEKERK. LOB: ALL STARS 3, TOHTO JUNKO UNIVERSITY 5. 2B: HAYATO AMAMOTO, TAKAHASHI MIZUNO, SOMA ISHINODA. SB: SOMA ISHINODA, FUMIYA IWASAKI.

TOHTO JUNKO UNIVERSITY	IP	H	R	E	R	BB	SO
TAISEI SEJIMO	2.00	1	0	0	0	2	
AKIO YAMAZAKI	2.00	0	0	0	0	1	
KAZUKI KUROKAWA	1.00	0	0	0	1	0	
NOZOMI MORIKANE	2.00	0	0	0	0	2	
ALL STARS							
AKBAR	1.00	2	1	1	0	1	
MADUMAL	1.00	3	3	3	2	0	
CASSALAN	1.00	1	1	0	1	0	
PANDU	2.00	2	0	0	1	0	
HADINUR	1.00	0	0	0	0	0	

HBP: by TAISEI SEJIMO (GE). PB: GE. T: 2:00. A: 0.
ALL STARS - Top of the 1st:
SADUN flied out.
DIARAO struck out swinging.
SSB grounded out.
0 run, 0 hit, 0 error, 0 lob.

FINAL STANDING	
ASEAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP BASEBALL TOURNAMENT 2018	
CHAMPIONS	TOHTO JUNKO UNIV JAPAN
2ND PLACE	SABURAI LAMPUNG
3RD PLACE	JAKARTA RAWAMANGUN
4TH PLACE	KALIMANTAN TIMUR SELECTION
5TH PLACE	REDSOX BALI
6TH PLACE	GARUDA JAKARTA
7TH PLACE	OCBC NISP BANDUNG
8TH PLACE	NAVY SRILANKA



大会レポート（2018年11月17日～11月30日）

※大会の試合結果は前述の大会結果のとおり。ここでは東都大学選抜チームのコーチとして感じた部分をレポートとしてまとめたものである。

日程	スケジュール
11月17日（土）	羽田空港集合に集合し日本選手団が出発 ジャカルタ到着後ホテル宿泊
11月18日（日）	開会式
11月18日（日）～ 20日（火）	A S E A N国際親善野球大会 1 次予選リーグ プールA、Bに別れ、実施 日本は試合終了後に別グラウンドにて野球教室を実施

・11月18日 午前 ガルーダクラブジャカルタチームとの試合の所感

一番力がないとされていたチームで、過去の対戦も東都が大勝しており、今回も22-0で東都の勝利。

接戦にも持ち込めない原因として、投手の四球が多いこと、エラーが多いことがある。ただ、例年の対戦と比べると、内野、外野共に、いずれもアウトにするべき打球についてはアウトを取れていたため、2年間での成長を感じたところである。また、投手の主戦が球速110キロ程を投げる15歳女性であり、コントロールは今一つだが、自分たちよりレベルの高い日本相手に臆することなく投げる姿勢は評価ができる。また、女性活躍していることからインドネシアの野球文化の向上も期待できると感じた。



・11月18日 午後 野球教室の所感（バリ選手）

バリ州の選手に対して野球教室を実施した。場所はブルペン2箇所、キャッチボールができるくらいの芝のスペースで実施した。

投手は、一度投球した後ヒアリングを行ったところ、「①強いボールを投げたい」「②球種を増やしたい」との要望があったため、①軸足から軸足と反対の足への体重移動について説明、練習方法を教えた。②投げ方に合った変化球を提案、握り方を教えた。

内野手は、「二遊のダブルプレーの基本的な動きが知りたい」と要望あったため、見本を見せながら、ゴロ捕球にて反復練習を行った。

外野手は、ゴロの捕球から強いボールを投げるフォームについて指導した。また、目を切る飛球の追い方について、練習方法を教えた。



・11月19日 午前 フィリピン&バリレッドソックスとの試合の所感

試合前にフィリピン選手が足首を捻挫したとのことで、学生トレーナーが対応した。テーピングの強弱、可動域を言葉がわからないながら確認し、処置をした。試合中も細かい動きなどをチェックし、試合後にはアイシング処置をした。

試合は前日の野球教室に来ていた選手が出場。一回の野球教室での改善はなかなか難しいものの、前日の教室での指導を踏まえての動作をしていたのが印象的であった。試合中、こちらからも野球教室時の内容をアドバイスするようにもしており、試合をしながら学んでくれている様子が見受けられた。試合結果は14-0で東都の勝利。

また、フィリピンの選手はインドネシア選手に比べ、経験値が高い印象であった。速い球の対応及び速い打球の処理などが慣れていた。



・11月19日 午後 野球教室の所感（フィリピン選手）

フィリピンの選手に対して野球教室を実施した。特徴として、投手については万全の状態でもバランスを意識して投げるボールは非常にいいが、やみくもに速い球を投げたいような意識が出る傾向が強く、それが返って球のキレを弱めている印象を受けた。

また、ケガをしたことのある選手については、肩の古傷等の箇所について話を聞き、投球後のアイシング、ストレッチのことや、フォームにおける力の抜き方及び力を入れるポイントを教えた。具体的な方法として、投球時の体重移動からステップに入る際の肩のラインを水平ではなく、ボールを持っている肩を下げる（グラブ側の肩を上げる）ポイントについて指導を行った。

またそれとは別班で、次の試合を控えているスリランカチームと合同でウォーミングアップを行った。スリランカチームだけではなく、東南アジア全般に言えることだが、スキップ、サイドステップからの短い距離のダッシュなどはどのチームも行っているが、様々な体制からスタートを切るダッシュや、動く→止まる→動くなど、試合で想定される要素を盛り込んだものがなく、日本のウォーミングアップは新鮮だったとのこと。また、最近ではサイレントウォーミングアップが主流だが、声を出したり、チームメートに声をかけることも準備の一つであることを伝えた。



・11月19日 夜 宿舎にてスリランカチームと野球談議

通訳のスジワ氏を交え、予定外で野球談義を実施した。まず、スリランカの野球環境について話を伺い、その後、野中氏からお互いの感覚、体の強い弱い等のポイントは国によって異なること等の意見交換を実施。そういったことから日本の練習が必ずしもスリランカの選手たちに合うかどうかはわからないことを伝えた。

その後、スリランカチームからの試合中の悩みとして「外野フライが多いがどうすればよいか」の質問があった。このときは外野フライが打てることは悪いことではなく、むしろメジャーリーグ等ではフライを打つ練習が推奨されている話なども交えて意見交換を行った。フライを反省してスイングが小さくなる等は返って逆効果になるため、自分の特徴を鑑みて、自分がどういうバッターになりたいのか、適しているか、そしてそのためにはどのような練習が有効かを考えるとよいと話した。

もう一つ投手から「体重が100kgを超え体重を減らして身体のキレ等を求めたほうがよいのかどうか」の質問があった。投げる、打つに関して一番重要なことは、自分の体重をどれだけボールに伝えられるかがポイントである。次に、遠くにボールを飛ばす、重いボールや速いボールを投げるためには、体重が重い方が良いこともある。と回答。また、質問者は身長185cm超であり、骨格もしっかりしている身体付きであったため、体重に関して意識する必要はないと回答した。



・11月20日 午前 サブライランブン州選抜チームとの試合の所感

2年前、日本チームが最も苦戦した相手であり、その際は中盤までリードされた状況だった。苦戦した理由は、ツーシーム系の動くボールを投げる投手がいたこと。速いボールに対応でき、強い打球を打つ選手が多かったことであり、さらに言えば全体的にミスが少ないことであった。

今回改めて対戦して、チーム内に速いボールを投げる＝打ち取れるということではない認識が定着しており、やはりツーシーム系の動くボールを投げる投手が数人いた。打撃面ではできるだけ体の近いところで捉えようとする意識をチーム内で共有しているようだが、立ち遅れからの差し込まれの原因にもなっているように感じた。結果は10-0で東都の勝利。一度大量点を取られると、諦めの姿勢が出てくることがインドネシアチーム全般に感じることだが、このチームは割り切った考え方ができている。野球の考え方や取り組み方も非常に良いものを持っていると感じた。



・ 11月20日 午後 野球教室の所感（スリランカ選手）

スリランカチームに対して野球教室を実施した。スリランカチームについて特筆して述べるが、スリランカの試合を観たところ、前日の野球談義で話のあった「外野フライが多い」意味が理解できた。スリランカの人気スポーツであるクリケット特有の打ち方(右打ちの場合、左肘を大きく上げ、バットのヘッドを下げる) が染み付いており、ポップフライが上がるが多々あった。クリケットで上のレベルにいけない選手が野球を始めることがスリランカでは多くあるとのこと。右打ちの場合、左肘を上げないような制限をかける練習を提案し、動画で撮影したデータを LINE で送り、他選手と共有できるようにした。その他、イメージをしっかりと持たせるよう日本チームがマンツーマンで打撃指導。その場で改善できたスリランカ選手も2人程いた。

他、足が速いことから、走塁時の一次リード、二次リードについて、タイミング、歩数、歩幅などを細かくレクチャー。次の塁を狙う勇気、ある意味の豪快さも日本選手と比べてある（失敗を恐れない）ので、走塁の基本がうまく定着すれば、強豪国相手にも点数を取れるチャンスが生まれると感じた。



日程	スケジュール
11月21日(水)～22日(木)、 24日(土)	A S E A N国際親善野球大会 2次予選リーグ 1次予選リーグ結果に基づき実施 日本は試合終了後に別グラウンドにて野球教室を実施

・ 11月21日 午前 ジャカルタ州選抜ラワマンゲンチームとの試合の所感

チームの柱となる投手が3人程いて、3人とも130キロ弱の球速を投げる。また、左の速球派と軟投派もいる。守備も捕る、投げる、の基本がレギュラーメンバーはしっかりとできている。チーム内には日本の社会人企業チームに3ヶ月ほど研修したメンバーが2人、日本大学準硬式野球部と駿河台大学硬式野球部に研修にきていた選手2人もいるため、いい見本となっている。投手は上記のように試合をするには十分な素材を持っているが、どの投手もテンポが悪く、基本的に自分の世界に入ってしまう傾向がある。試合中、エース投手を呼び、テンポの考え方についてレクチャー。緩急はボールだけでなく、時間、空間にも使える。クイックで投げたり、ゆっくり足を上げたり、ボール以外でも相手の打者から「打ちにくい」と思わせることが大切と説明したところ、理解していたようであった。結果は10-0で東都の勝利。



・ 11月21日 午後 野球教室の所感（サブライランブン選手、ジャカルタ選手）

サブライランブン州選抜チームとジャカルタ州選抜ラワマンゲンチームに対して野球教室を実施した。投手については変化球の指導。日本人選手がよく投げるカーブ。バッターとしては、高いところから落ちてくるようなイメージのカーブを投げたいとのことだった。先述でも記したようにリリース時の力の入れ方、抜き方がうまくできない選手が多いため、カーブがはじめはうまく投げられない。リリースポイントや抜き方を細かくレクチャーし、コツを掴んでいった。日本でも投球練習時カーブを投げながらリリースポイントを詰めていく。カーブでフォームを修正する選手もいるため、そういったきっかけになる期待もある。

捕手については捕球の指導を行った。日本国内よりもストライクゾーンが広い国際大会では捕手のキャッチング技術で厳しいコースがストライク判定になることが多々あると認識している。とくに低めのボールに対してミットを落とさずに捕球する方法をレク



チャーした。

打者に対してはバットを縦に使うこと。水平にバットを出したがる傾向があるが、どうしてもドアースイング（上半身が開く）になってしまう。バットを縦に使うことで体が開かず、ボールにスピニングがかかって強い打球もいくようになることをレクチャーした。携帯電話で動画を撮り、スロー再生などの機能を使い、解説するようにした。



・ 11月22日 午前 東カリマンタン州選抜チームとの試合の所感

チーム内にオランダ出身の選手が数人いるため、守備も打撃も豪快。悪くいうと適当な印象を受けた。ショートバウンド捕球の球際のグラブの入れ方など、悪い部分が多く目立ち、そこで勝負の流れが大きく変わることもあるのが野球であるため、そこは野球教室で指導すべきと感じた。

先方チームは決勝進出がかかっており、我々との試合にベストメンバーを出場させなかったことから、あまり参考にはならなかった。結果は12-0で東都の勝利。

・ 11月22日 午後 野球教室の所感（東カリマンタン選手）

東カリマンタン州選抜チームに対して野球教室を実施した。バットが下から出る、ヘッドが遠回りしていることが多く、そのウィークポイントをロングティーで実践して教えた。上げた足をしっかりと着地させてからトップを作り、スイングする。その流れを一人ひとり細かくレクチャー。ロングティーはバットの軌道をボールに当たる瞬間の力の伝え方がしっかりと合っていれば飛距離と打球の強さにしっかりと反映されるので、受け手もわかりやすかったはず。普段の練習の中でロングティーはあまりやらないようなので、今後取り入れるということにもなった。また、適当な印象を受けた守備面については、いざ指導をしてみると、悪い部分だけではなく、例えば逆シングル捕球の手首の柔らかさなどは野球を始めた頃から逆シングル捕球の練習をしているからこそのものであった。



・ 11月24日 午前 サブライランブン州選抜チームとの試合の所感

20日に試合をしたチームであり、特筆すべき事項はなかった。

・ 11月24日 午後 野球教室の所感（ガルダ選手）

希望した投手3人に対して実施した。3人（右の速球派2人、左の速球派1人）ともキャッチボールはいい球を投げているが、いざマウンドに上がると、固くなってしまい、体の使い方がバラバラである。この傾向は他のチームでもよくあるという印象を受けた。マウンドの少し後ろまで下がり捕手まで20メートル程の距離からステップをして、とにかく強いボールを投げる練習をし、リリースのポイント、力を入れるところ、抜くところを確認。それからマウンドに上がることで、強いボールを投げる力の入れ方、抜き方のイメージが体に染み付いたのか、尻上りにどんどんよくなった。マウンドでの投球練習が投手の練習の全てではない。まずは、試合でいい球を投げる前に、マウンドでいい球を投げるための練習を心がけてほしいと教えた。



・ 11月24日 夜 駐インドネシア スリランカのキャプテンマハワッタ大使と会食
大使の自宅にインドネシアの代表として野中氏、フィリピンの代表として板倉氏、日本の代表として杉山監督が招かれ、今回の大会実施のお礼と今後の展開について話をした。

日程	スケジュール
11月23日（金）	午前：スリランカチームと合同練習を実施 午後：野球キャラバン

一部予定を変更。スリランカチームとの対戦ができず、スリランカチームが対戦を要望してきたため、午前中にその機会を設けた。

・11月23日 午前 スリランカとの試合の所感

はじめは日本対スリランカの試合にすることも考えたが、先方の要望と、一緒にやることでその場その場のプレーに対し、すぐに説明ができるということで、紅白戦をすることになった。守備の交替も出入り自由で日本選手とスリランカ選手がプレーに関わることができるように配置も工夫して行った。スリランカ選手はクリケット打ちの話をして以降、熱心に日本選手の打撃フォームを動画撮影するなどして、勉強をしていた。今回も試合中動画を撮影したり、日本選手の隣で素振りをするなど、修正する意識がかなりあった。試合中においても僅かではあるが、そういった意識があることで、クリケット打ちが修正されている選手もいた。

また、一緒に試合をしてみて、やはり先の塁を狙う果敢な姿勢が日本チームよりはある。日本では消極的、積極的に関わらず走塁ミスに対してかなりネガティブなイメージがあるが、スリランカはそうではない。やはり、野球を始めた頃の指導というのはかなり大切なものだと感じた。



・11月23日 午後 野球キャラバンの所感

ジャカルタ市内の小中学校に出向く時間的余裕がなかったため、グラウンド近くの子供達を集めての内容となった。子供達はプレーしている姿をスタンドで見ているため、イメージができており、目を輝かせながら野球に取り組んでおり、終了後ボールをプレゼントした際も非常に喜んでいた。まずは野球に触れてもらうのがいい経験となることから引き続き継続していく必要性を感じた。



日程	スケジュール
11月25日（日）	午前：ASEAN国際親善野球大会順位決定戦（決勝戦） 2次予選リーグ結果に基づき実施 昼頃：ジャカルタジャパンクラブへの野球教室 閉会式 午後：日本VSインドネシア・フィリピン・スリランカ選抜オールスター戦 駐インドネシア日本大使館石井大使の始球式参列 駐インドネシアスリランカ大使館キャプテンマハワッタ大使の始球式参列 JKT48アヤナシャハブさんの始球式参列 夜：レセプションパーティー 駐インドネシア日本大使館石井大使 駐インドネシアスリランカ大使館キャプテンマハワッタ大使 インドネシアスポーツ省ハムカ副補佐官 フィリピン野球ナショナルチーム板倉アドバイザー インドネシア野球ナショナルチーム野中アドバイザー 野球国際審判員、スリランカ野球技術委員会スジューワ委員長 インドネシアスポーツ省関係者 インドネシアアマチュア野球連盟関係者 日系企業約10社 スポンサー企業2社 財団法人BICジャカルタクラブ インドネシア各チーム関係者 フィリピンチーム選手 スリランカチーム選手 東都大学準硬式野球連盟選抜チーム一同 以上、約120名が出席

・11月25日 午前 サブライランブン州選抜チームとの試合の所感

試合前に、コーチングスタッフへ、体の近くで打つことを意識して、差し込まれすぎている。ということを説明。体の近くで打つことは一番力が加わるので、もちろんいい打球が飛ぶが、それには事前準備が必要であり、立ち遅れし差し込まれたら意味が無い。投手がリリースした時点で打つ体制になるように判断を早くすることと、少し前の方にポイントの意識を変えたほうが良いと提案をした。コーチングスタッフはすぐに選手にそれを伝えてくれたので、その後の試合でも外野へ強い打球がかなり飛んでいたため、見ていた他選手も感覚が変わることを期待したい。投手に関しても2年前に日本チームが苦戦した投手が投げた為、前半は同じように苦戦した。最終的には点差も開いた（13-2）が、持ち味が出た、締まったいいゲームだった。



・11月25日 昼頃 JJC（ジャカルタジャパンクラブ）の子どもたちと野球教室の所感

全員でウォーミングアップ、キャッチボール後、各学年、レベルごとに分け、ロングティー、投球練習と守備練習を行った。ロングティーではマンツーマンで東都選手が見本を見せ、一球ごとに褒める、アドバイスの声をかけることをした。

子どもたちもインドネシアにいて高いレベルの野球を肌で感じることはあまりないようである。質の高いプレーはもちろん、守備時にボールを呼ぶ日本式の発声や全力疾走など、野球に取り組む姿勢についても子どもたちにも親御さんに対してもいいものが見せられたのではないかと実感している。



・ 11月25日 午後 日本 VS インドネシア・フィリピン・スリランカ選抜オールスターチームとスペシャルエキシビジョンマッチ

フィリピン選手5人、スリランカ選手5人、インドネシア選手10人計20名で構成されたチームであった。

まず守備面で当たり前のゴロを当たり前に処理できる、当たり前のフライを当たり前に処理することができる。エラーがなければ失点は意外と少ない。これまでの日本とインドネシアチームとの試合でもエラーから守備側の集中力が切れ、失点が多くなるケースが目立っていた。

失点が少ないと、攻撃側の緊張も解け、思い切った攻撃ができることが多く、守備側が締まったこの試合はロースコアでの展開となった（結果は5-0で東都勝利）。

今後、インドネシアやフィリピン、スリランカの野球発展途上国がアジア4強に入るためには、先行逃げ切りよりも、こういった試合展開で点数を離されないようにし、後半相手の集中力が落ちるところのワンチャンスをものにできれば、アジア4強に入る可能性もあると感じる。そのためには、試合時間と同じくらい、またはそれ以上の時間の練習に集中することや、点数を取られても、諦めず最少失点で切り抜けようとするこ、そういった精神的部分も大切である。

技術的な部分は確実にレベルアップをしている。あとは指導者を中心とした戦い方、戦術面がフィットすればアジア4強の壁を打破することもそう遠くはない。



・ レセプションパーティーについて

各来賓の方々からお言葉をいただいた。他国の方々が喜ばれるのは、日本とインドネシアで始まった大会が3年目となりASEAN諸国、スリランカへと広がりを見せていること。これまで個人単位でこうした活動を行うことはあっても、連盟単位で行った団体はない。各国の関係者から、更なる発展を期待するという言葉をいただき、単なるスポーツ交流ではなく、スポーツを通じた文化交流として、我々でいうと学生への教育を含めたプロジェクトであることを再認識した。我々も頑張らなければいけないし、各国の各組織に対しても提案や交渉をしっかりとしていかなければならないと感じた。

レセプションパーティー内では、スリランカチームから当連盟の杉山監督が表彰を受けた。これは今回の我々の野球教室の取り組みや、野球用具の寄付などに対し、敬意を持っていたいただいたということである。

また、当連盟からインドネシアへ先般のロンボク島をはじめとする災害に対し、義援金を贈呈した。



日程	スケジュール
11月26日（月）	ジャカルタ→バリに移動
11月27日（火）	IKIP大学・バリ州内体育教師向け野球教室 サヌールウィサタ中学の野球教室と公営広場でゲリラ突撃野球キャラバン

・ 11月27日 午前 IKIP大学学生と現役体育教師の野球教室

昨年から提携しているイキップ大学では体育教師を志す学生向けに野球を経験してもらい、将来的に授業で野球を取り入れてもらうよう、室内でもできるプラスチックバットとゴムボールを使ったミニ野球ゲームを実践した。

今回はフットサル場2面を使い学生約60人が参加した。バリ島には野球場がないため、どこでもできる野球遊びが必要であり、プラスチックバットとゴムボールはかなり適したものであると考える。昨年以上に参加者が多く、大学教授、学生ともに非常に興味関心を持ってもらったため、今後も継続していくことが重要と感じた。

昨年の野球教室以降、野球サークルなるものが学生の意志で設立し、活動されているということも聞き、大変嬉しく感じた。



・ 11月27日 午後 サヌールウィサタ中学の野球教室と公営広場ゲリラ突撃野球キャラバン

中学高校においては地域の野球ソフトボール経験者約50名と未経験者約20名が集まり、ウォーミングアップからキャッチボール、ノック、ロングティー、など基礎的な練習を行い、その後、試合形式を一緒に行った。ここでもソフトボール経験があるだけに、将来性を感じさせるような鋭いボールを投げる子もいた。昨年も同中学校に訪問しており、1年間の成長を確認できた。野球を始めた子どもが増え、また技術も上がっていると感じた。今回はサッカー場のような芝の広場で野球教室を実施。

突撃野球キャラバンでは公営広場にいる子どもたちを誘い、野球遊びに参加してもらうよう促した。

親子連れの場合、お父さんお母さんにスマートフォンの画面を見せて、「私たちは野球を伝えに日本から来ました。一緒に野球やりましょう」とインドネシア語に翻訳して案内、サッカーをしている集団の場合、はじめは学生も混ざって一緒にサッカーをしていたのが、いつの間にかサッカーボールが野球ボールに換わり、キャッチボールをしていることになった。いずれも学生が知恵を出して行動したものである。

野球はなじみがないスポーツであることも痛感した。例えば、キャッチボールの際、グローブをはめていない方でボールを捕球し、グローブをはめている方でボールを投げようとするなど、日本の同年代の子ども達では見られないような姿であった。

公営広場では平日だが、親子連れ、学校帰りの子供達が想像以上にいた。野球遊びが終わった後はボールをプレゼント。子供達の笑顔がとても印象的であった。



日程	スケジュール
11月28日（水）	午前：バリ州文科省並びにスポーツ省打ち合わせ 午後：タバナン地区高校生の野球教室と公営広場でゲリラ突撃野球キャラバン

・11月28日 午前11時 バリ州文科省並びにスポーツ省打合せ

次年度や今後に向けての意見交換を実施。バリ州内の学校に部活動または体育の授業として取り入れてもらいたいこと、ストレングスやコンディショニングのメカニズムを教養し、将来的なアスレティックトレーナーの育成を提案した。バリ州の国内オリンピック委員も出席し、今後バリ州のスポーツを盛り上げていきたい話などがあった。

・11月28日 午後 タバナン地区高校生の野球教室と公営広場ゲリラ突撃野球キャラバン

高校生になると体つきもだいぶ大きくなる。日本選手より体が大きい生徒もいる中、遠くまでボールを投げる、飛ばす日本選手を見て、体の使い方に関心や意識を持ってくれたようだ。硬式球の普及も高いが、雨に濡れたのが重く、糸も解けている。今後、雨に強く打感も変わらない準硬式野球の普及が野球の向上に繋がる可能性も改めて感じた。

-->

野球キャラバンの総括として、我々準硬式野球界は専用グラウンドを持つ大学はほんの一握りで、サッカー場や野原で野球をやることに抵抗がないこともあり、どんな環境でも工夫して野球の楽しさを伝えることができるのだと感じた。これは我々の強みであり、この創意工夫の力こそが準硬式野球の魅力の原点と思う。

野球はまだまだインドネシアでは未知なものであり、環境や道具が急に揃うわけでもない。本格的な競技としての野球ではなく、まずは遊びとして普及ができればと感じている。遊びとしてすそ野が広がり、次の段階でチームスポーツとして、継続してくれれば、インドネシアが抱える問題、非行の防止などの解決も見えてくるのではないか。
また、野球選手に限って、野球を教えるのではなく、今回のように、経験者にもっと野球に興味を持ってもらうような活動、野球の教え方を教える活動、野球を見たこともない子ども達と一緒に野球ごっこをする活動、いずれの活動においても、今後も取り組んでいきたい。



～インドネシア遠征を終えて～

本プログラム開催にあたり、ご尽力していただきましたインドネシア、フィリピン、スリランカ、日本の関係者の皆さま、

また、我々の取り組みに共鳴くださいました協賛企業の皆さま、本当にありがとうございました。

今回のプログラムは二つのセッションに分かれておりました。
一つは11月18日から25日までジャカルタのラワマングン球場での第1回ASEAN国際親善野球大会 兼 第3回日イ友好親善野球大会への出場であります。2年前に日本とインドネシアのクラブチームで始まった大会ですが、今回フィリピン、スリランカが参加をしてくださり、4カ国での開催となりました。

試合は勿論重要ですが、重きを置いているのは試合後すぐに実施する対戦チームへの野球教室であります。

学生がグラウンドにおいて肌で感じたことを体現できるよう、指導内容は試合内容を振り返った上で、学生主導で決めるようにしております。

試合が終わってすぐに実施する為、各選手それぞれの特徴を把握した上でアドバイスすることができます。

アドバイスを言ったきり、やらせ放しは厳禁で、次の試合で彼ら彼女らがどうなっているか必ず観るようにし、気になったことがあれば、スタンドあるいはベンチ裏からでもアドバイスを送ることもありました。

さらに、試合中や野球教室中には動画や写真を撮影し、メッセージアプリを通して、大会後も動画や写真などをもとに意見交換を続けています。メッセージアプリには翻訳機能も付いている為、自国の言語でのやり取りができ交流もとてもスムーズに行えます。

今回新たに参加してくれたフィリピン、スリランカの選手とは、同じ宿舍だった為、夜は交流会を開催しました。幸せなことに一日中、他国の選手たちとコミュニケーションをとる機会がありました。

野球教室も交流会も、言葉の壁はありますが、本気で伝えようとすれば伝わりますし、本気で得ようとすれば得ることができる。まずは繋がろう、そしてその繋がりを楽しもうとする思いが大切だと感じました。

もう一つのセッションは、11月27日から29日までバリ島各地域での提携大学及び中学高校への野球教室、公営広場に子どもたちに声をかけ野球遊びをする突撃野球キャラバンの実施です。

昨年から提携しているイキップ大学では体育教師を志す学生向けに野球を経験してもらい、将来的に授業で野球を取り入れてもらうよう、室内でもできるプラスチックバットとゴムボールを使ったミニ野球ゲームを実践し、交流を行いました。

中学高校においては、地域の野球ソフトボール経験者を集め、基礎的な練習を一緒に行いました。

突撃野球キャラバンは、公営広場にいる子どもたちを誘い、野球遊びをするというものです。

親子連れの場合、お父さんお母さんにスマートフォンの画面を見せて、「私たちは野球を伝えに日本から来ました。一緒に野球やりましょう」とインドネシア語に翻訳して案内を、サッカーをしている集団の場合、はじめは学生も混ざって一緒にサッカーをしていたのが、いつの間にかサッカーボールが野球ボールに換わり、キャッチボールをしていることがありました。いずれも学生が自ら知恵を出して行動したものです。

野球遊びが終わった後は軟式ボールをプレゼントしました。ボールを差し出したときの笑顔、大切そうにずっとそのボールを握っている顔が忘れられません。今後彼ら彼女らがそのボールを使い、野球を広めてくれていたらと、期待が膨らみます。

バリ島内には野球場がない為、大学は室内のフットサル場、中学高校はサッカー場のような芝の広場で野球教室を行いました。我々準硬式野球界も、専用グラウンドを持つ大学はほんの一握りで、サッカー場や野原で野球をすることに抵抗はありませんでした。

むしろどんな環境でも工夫して野球の楽しさを伝えることができるのは我々の強みだと実感しております。

さて、このプロジェクトも3年目となり、改めて思うこと。それは我々がこうした活動を思いっきりできるのは、インドネシアをはじめ、他国のたくさんの野球仲間たちが、野球を心の底から楽しんでいるからということです。来年は更に多くの国々に野球仲間ができそうです。

プロジェクトが大きくなるにつれ、連盟や協会、省庁などの理解、協力が必要になってきます。

組織同士でのやり取りは、文化や温度感の違いから、なかなか上手く進まないこともあります。我々は、組織の前に、野球を楽しむ一人の仲間に寄り添うことを忘れてはいけません。そう思っています。

過去2年を通して、インドネシアは間違いなく野球技術において個人、チーム、国としてレベルアップしていますし、間違いなく野球はスポーツとしても遊びとしても国内に普及しています。

熱い想いをもち、寄り添い、続けることを続けていく。これからも地に足つけてしっかりと歩んで行きたいと思います。

インドネシアで出会った皆さんありがとうございました。そしてこれからも宜しくお願いします。

東都大学準硬式野球連盟理事

東都大学準硬式野球連盟選抜チームコーチ

浅野 修平

日程	スケジュール
2018年11月29日（木）	ホテルチェックアウト、デンパサール国際空港より出発
2018年11月30日（金） 9：00	成田着



野球指導者養成プログラム

野球指導者養成プログラム 実施要項（日程表含む）

目 的	野球途上国であるインドネシア国において、野球指導者の養成は野球の普及拡大及び競技レベル向上に必要不可欠であり、その促進のための喫緊の課題である。そのため、インドネシア国と日本における相互交流を通じての野球指導者養成プログラム（以下本プログラムという。）を実施する。また、その成果を他のASEAN諸国へも拡大する。
目 標	①到達目標 受講者が野球先進国である日本の指導方法及び指導を通じての人材育成方法を理解し、自らの野球指導者としてあるべき姿を描き、自国において実際の指導等に繋げることができる。 ②行動目標 （1）野球のルールについて、説明することができる。 （2）基本的な投球動作、捕球動作、打撃動作について説明することができる。 （3）野球における基本的な人間心理について説明することができる。 （4）野球指導における基本的な心構えについて、説明することができる。 （5）指導方法のPDCAサイクル（注）について、説明することができる。 （6）日本での指導方法について、実際に指導を受けること等を通じて、自身をモデルとしながらその指導方法を理解する。 （7）母国での野球教室において、日本で学んだ指導を実行し、自らの指導方法について、今後の計画、実施、評価及び改善策について考えることができる。 （注）PDCAサイクルとはPlan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善を検討）のサイクルを継続して行うことで継続的に指導方法の改善を行っていけることを意味する。 ※行動目標全てを達成することにより、到達目標を達成できたものとする。
募集人数	最大5名（但し、日本国における受入校が増加した場合はこの限りではない。）
日 程	P73、P74 参照
企画・運営	東都大学準硬式野球連盟

日程表

2017 年 11 月 22 日 ～ 23 日	インドネシア国関係各所に実施要項を説明。
2017 年 11 月 24 日 ～ 26 日	日イ友好親善野球大会での選手・指導者視察、リストアップ
2017 年 12 月 15 日	インドネシアから日本へのプログラム受講候補者通知
2018 年 7 月 20 日	本プログラム受講者は日本国での受講に向けて、日本語を日常会話ができるレベル（※日本語能力試験N 5 程度）まで修得しておく。（7 月 20 日段階で、インドネシア国のスタッフは、受講者の日本語能力レベルを日本の担当スタッフに報告しなければならない。）
2018 年 8 月 8 日～ 10 日 （8 日出発 9 日到着）	日本国において、東都大学準硬式野球連盟に所属する大学の夏期合宿に参加し、野球指導者としての指導を受ける。 日本国到着（日本大学準硬式野球部に合流・帯同）。日本大学保健体育審議会八幡山学生寮宿泊 8 月 1 0 日に「基本的な野球のルールについて」、「野球の基本動作について」等、合宿の晩に実施するレクチャーの座学を行う。
2018 年 8 月 11 日～ 21 日（10 日間）	2018 年受入大学（日本大学 場所：長野県菅平） 菅平へ移動 【10 日間のスケジュール（概要）】 ①合宿中、日中は基本的に日本の学生と同じ練習メニューをこなし、野球の技術について理解を深める。（行動目標（6）） ②毎晩 1 時間程度、復習を含めたレクチャーを行う。レクチャーにおいては、以下の 5 つのテーマについて、2 日間完結型による内容にて実施する。 ・初日～ 2 日目（行動目標（1）） 「基本的な野球のルールについて」（レクチャー 45 分、小テスト 15 分） （2 日目は受講者同士が 1 日目に受けたレクチャーについて説明する。 ※ 5 人の場合 1 人 7 分、講評 3 分、講師からの補足 10 分の計 60 分） ・3 日目～ 4 日目（行動目標（2）） 「野球の基本動作について」（体育館にて資料を交えて演習形式で実施。60 分） （4 日目は、2 日目同様の内容にて実施。） ・5 日目～ 6 日目（行動目標（3）） 「野球における基本的な人間心理について」（レクチャー 45 分、小テスト 15 分） （6 日目は、2 日目同様の内容にて実施。） ・7 日目～ 8 日目（行動目標（4）） 「野球指導における基本的な心構えについて」（レクチャー 45 分、小テスト 15 分）

	（8 日目は、2 日目同様の内容にて実施。） ・9 日目～ 10 日目（行動目標（5）） 「指導方法の P D C A サイクルについて」（レクチャー 45 分、小テスト 15 分） （10 日目は、9 日目で受けたレクチャーを参考に、自分なりの指導プランを立てて発表。 作業 30 分発表 20 分講評 10 分の内容にて実施。）
2018 年 8 月 21 日	2018 年受入大学（駿河台大学 場所：埼玉県飯能） 飯能へ移動
2018 年 8 月 21 日 ～ 31 日 （10 日間）	駿河台大学の学内合宿へ参加し、日本大学での合宿において学んだことを実践する。 【10 日間のスケジュール（概要）】 合宿中、日中は基本的に日本の学生と同じ練習メニューをこなし、野球の技術について理解を深める（基本的に 9 時練習開始、昼休憩を挟んで午後は 17 時頃まで練習を実施）。 選手は、毎日練習前に今日取り組むべきこと、実践すべきことをレポート用紙に記載。そして練習において実際に取り組んだこと及びそこで気付いたことをレポートにまとめ、S N S、メール等で日本大学準硬式野球部の講師に送る。
2018 年 9 月 1 日	帰国
2018 年 9 月	自国に帰国後、自らが学んだ内容や今後の行動目標についてレポートにまとめ、9 月末日までにメールで講師宛て提出する。
2018 年 11 月	第 1 回 A S E A N 国際野球大会 2018 時における野球教室において、実際に指導を行う。（行動目標（7））野球教室後は指導内容と、そこで生じた課題についてレポートにまとめ、今後の行動目標と共にメールにて講師宛て提出する。

※＝日本語能力試験N 5 とは、ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。また、教室や身の回りなど、日常生活の中でも良く出会う場面でゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができるレベルのことを言う。

ASEAN 国際野球プログラム 2018 野球指導者養成プログラム 参加者名簿

参加者						
No.	氏名	性別	年齢	大学	ポジション・資格	投・打
1	Muhammad Rizqi Ihza Mustofa	男	17	—	投手	左・左
2	Muhammad Akbar kamaluddin	男	33	—	投手	右・右
3	高橋リッキー	男	17	—	内野手	右・左

指導スタッフ				
No.	氏名	性別	期間	
1	米 崎 寛	男	8月9日～21日	日本大学準硬式野球部監督 (東都大学準硬式野球連盟理事)
2	杉 山 智 広	男	8月9日～21日	日本大学準硬式野球部コーチ (東都大学準硬式野球連盟副理事長)
3	羽 川 亮 司	男	8月9日～21日	日本大学準硬式野球部コーチ (東都大学準硬式野球連盟理事) 本プログラム講師, 動画撮影等担当
4	西 佳 祐	男	8月9日～21日	日本大学準硬式野球部コーチ (東都大学準硬式野球連盟理事)
5	東 條 勝 成	男	8月9日～21日	日本大学準硬式野球部コーチ
6	佐々木 慧 介	男	8月9日～21日	日本大学準硬式野球部コーチ
7	萩 原 駿	男	8月9日～21日	日本大学準硬式野球部コーチ 本プログラム講師, 動画撮影等担当, 英訳担当
8	吉 住 翼	男	8月9日～21日	日本大学準硬式野球部学生 本プログラム投手プログラム担当
9	駿河台大学監督・コーチの皆様		8月21日～31日	

※駿河台大学スタッフは当連盟所属でないため、氏名等は非公開とする。

他サポートスタッフ
日本大学準硬式野球部部員全員
駿河台大学硬式野球部部員全員

プログラムレポート（2018年8月8日～9月2日）

日程	スケジュール
2018年8月8日（水）	インドネシア国選手2名（いずれも投手）が日本に向けて出発。他1名（内野手）は母親が日本人のハーフであるため、日本に先着

日程	スケジュール
8月9日（木）	・8：50に 3名と待ち合わせ（飛行機遅延により9：30頃合流） ・日本大学保健体育審議会八幡山学生寮に移動（出迎え及び寮案内） ・トレーニング施設でウォームアップ（身体慣らし）、器具の使い方レクチャー ・休憩後、日本のプロ野球観戦（巨人 VS 阪神） （日本のトップレベルのプレーを見学） ・観戦後、帰寮 八幡山学生寮泊

日本到着後に日本大学準硬式野球部部員との顔合わせを実施。
長距離移動の疲れを癒すためのストレッチ及び日本大学八幡山学生寮トレーニング施設での器具の使い方等を説明した。
夜に日本のプロ野球（巨人VS阪神）を見学。試合前のバッティング練習等から見学に行き、日本のプロ選手のバッティング時のボールの捉え方、身体の使い方等について、日本人とインドネシア人のハーフのリッキーに通訳をしてもらいながら説明した。
また、試合を観戦しながら気付いたことについては、明日質問するよう伝えた。5回まで観戦し、20時過ぎに東京ドームから帰路についた。



日程	スケジュール
8月10日（金）	06：30 起床、朝食 07：30 練習開始（日大準硬式野球部員とアップまで同様） 09：00 座学：「野球のルール」「野球選手の食事」「野球に対する姿勢」 ※テキスト成美堂出版「わかりやすい野球のルール（栗村哲志 監修）」（出版元許諾済） 13：00 昼休憩 14：00 「野球の基本動作（投球フォーム）」とトレーニング 17：00 終了（その後入浴、宿泊）

日本大学準硬式野球部スタッフの萩原講師からテキストをもとに、野球のルール、野球選手の食事、野球に対する姿勢についてレクチャーを行った。野球のルールについて、基本的な理解はできていたので、ページを追いながら、質問を受ける形で進行了た。野球選手の食事については、運動と食事の関係性を通して、野球選手に必要な身体を作るための効果的な食事の取り方等をレクチャーした。これはこのプログラムの期間実践していくこととした。食が細い選手もいたので、あくまで無理のない範囲で追い込んでいくと話をした。野球に対する姿勢については、日本での高校生、大学生の練習時間等、野球にどれだけの時間を費やして、昨日見たプロ野球の世界に入っているのか等についてレクチャーし、今後、プログラム中に厳しい練習を課していくが、目標を持って取り組んで欲しいと伝えた。この午前中のねらいはこのプログラムでの目標設定と心構えを作ること。



使用テキスト

午後は、日本大学準硬式野球部員の吉住を中心に「野球の基本動作（投球フォーム）」とトレーニングをレクチャーした。このフォームの指導の前提として、あくまで指導内容は絶対ではないこと、選手によって合う人もいれば、合わない人もいるということを説明した。これから指導者を目指していく3名なので、多くの練習方法等を知っておき、自国での様々なタイプの選手にあった指導を行えることが重要であるため、これから短期間で多くのことを教えていくというレクチャーも行った。最後に明日からは合宿が始まり、このプログラムも本番スタートであると伝えた。



トレーニング方法及びピッチングフォームの指導
（日本大学八幡山学生寮トレーニングルームにて）



日程	スケジュール
8月11日（土） （合宿1日目）	06：30 起床、朝食 08：30 八幡山学生寮出発 14：00 日本大学経済学部菅平研修所到着（お盆の渋滞により予定より1時間遅く到着） 14：00 昼食 15：00 ①「基本的な野球のルール」グラウンドの作り方 （グラウンド整備、ネット設置、ライン引き、ベース間の距離等） ②実力確認（投手フォーム確認、バッティングフォーム等） ※テキスト成美堂出版「わかりやすい野球のルール（栗村哲志 監修）」（出版元許諾済） 17：30 午後練習終了 18：00 夕食 19：00 室内トレーニング 投手（体幹トレーニング、チューブトレーニング、ストレッチ）、 野手（バットスイング、体幹トレーニング） 20：00 入浴、洗濯等 21：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入 22：00 就寝

研修所到着後、グラウンド準備。ネット設置。ライン引き（→ルールブックを基にベース間の距離をレクチャー）。実力確認においては、リスキーとアクバルの両投手はキャッチボールを見て、体重移動について教える必要性を感じたため、吉住と下半身の体重移動をレクチャー（以下3人の特徴）。

- ・リスキーは上半身が縦回転なのに対し、下半身が横回転。ステップ幅を意識しすぎており、返って下半身の力が体全体に伝わっていない印象。身体が跳ねているという表現がシックリくる。ここを反復した上で、次にリリースを教えていきたい。
- ・アクバルは、バランスは問題ない。ただ、着地時に足が開いてしまう傾向があったため、修正を促したところ、良くなったと思う。あとは、フォーム全体に力が入りすぎているため、リリースの時のみに力を入れるような形が望ましいと思う。
- ・内野手であるリッキーは、外角を打つのが得意な一方。インコースに難がある打ち方に見え、本人もその意識がある。リッキーも下半身主導のバッティングを覚えさせると力強い打球が飛ぶのではないかなと思う。

上記は個人の課題として掲げたが、総じて一定程度の実力を有しているため、日大の部員と同様の練習を行いながら、レクチャーしていった問題のないレベルの選手達と分かった。

今日から練習内容について、動画撮影を開始。ウォームアップで行っている動作は、身体の中の部分を意識すると効果的か等を日本語ではあるが説明しながら撮影した。体育館での体幹トレーニング等についても同じように実施。今後日本大学準硬式野球部での実施期間は全てこのコンセプトで撮影を行うこととした。

また、本日から日誌の記入を開始。夜のレクチャー時に、日誌のねらいについてきちんと説明

- ・日誌のねらい…
その日のメニューや学んだことをきちんと頭に入れ、学んだことに基づく翌日の取り組むべき目標を持たせること。もちろん、日誌の内容に対して、講師からアドバイスや修正などのフィードバックも行ない、日々の学びに対する理解を深めることもねらいの一つ。この仕組みにより、選手と指導者それぞれの練習に対する考え方が明確に理解できるため、指導者と選手間における指導の認識の違いを防ぐことができる効果があり、さらに、将来指導者となった際にもこの日誌を改めて見直すことにより、指導者として活用することができるという成果も期待している。これも最終日まで継続していく。



日程	スケジュール
8月12日（日） （合宿2日目）	06：00 起床・体操・散歩（山岳コース 1.5 キロ）
	07：30 朝食
	09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）
	09：30 バッティング（ティーバッティング（引っ張り、真ん中、流し、連続ティー）
	10：30 捕球動作（内野（正面、左、右側）のボールへの入り方、ピッチャー（前、左右）捕球動作の基本として、止まったボールに入る捕球体制。ゴロのボールに対しての捕球体制をそれぞれの方向で実践。
	11：30 練習終了
	12：00 昼食
	13：00 練習再開
	→午前中の実践。日大の選手たちと同様に牽制練習、投内連係、シートノック等を行った。その後ピッチャーは昨日のフォームを意識してのピッチング。
	遠投、ブルペンで立ち投げ30球。座って30球。今日はストレートのみ。
	その後一本バッティングで1打席。
	投手は投手トレーニングとしてダッシュ等。
	17：30 午後練習終了
	18：00 夕食
	19：00 室内トレーニング共通で体幹トレーニング。他、ピッチャーはチューブトレーニング、野手はバットスイング。
	20：00 入浴、洗濯等
	21：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	22：00 就寝

朝6時からの体操と散歩にも意味があることを説明

→朝起きてから、身体が起きるまで2時間程度かかると言われている。それを体操・散歩による有酸素運動によって身体の血の循環を良くすることを狙いとしている。そのため、散歩の際も腕を振るなど上半身もきちんと使うことによって、血をめぐらせ、身体を活性化させる効果があると指導。

9時半からの連続ティーバッティングの意識ポイント→

- ①自分のバッティングポイントまで引き付けてしっかりとボールを捉えられるようにすること。
- ②速球等への対応を早くするため、下半身の体重移動とバットの振りだしを意識する。
また、投げ手は立ってボールを投げてあげると、より実践に近いボールの高さから打つことが可能になる。

10時半からの捕球動作の意識ポイント→

複数のボールへの捕球動作方法をレクチャー。大事なことは捕ってから上体が上がらずに送球すること

午後の練習でも教わったことを意識してピッチング及びバッティングに取り組んでいた。日誌にもその成果が表れていた。



食事トレーニングもスタート

日程	スケジュール
8月13日（月） （合宿3日目）	06：00 起床・体操・散歩（山岳コース 1.5 キロ）
	07：00 移動荷物運び手伝い
	07：30 朝食
	08：00 出発。上田市営球場
	09：30 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）、その後野手はエンドラン練習、投手はフォームトレーニング
	11：00 紅白戦見学→試合の入り方、試合時ピッチャー心理、バッター心理等を踏まえてディスカッション形式での学習
	13：00 昼食・菅平研修所へ移動
	14：00 練習再開
	→アップ、ランニング後、走塁トレーニング
	①スタートの切り方3パターン。②走り方の姿勢とそのトレーニング方法、腕の使い方。③ランナーのリードの仕方（離塁、帰塁）④一塁ランナーと二塁ランナーの動きの違い。⑤ランナー―塁の盗塁ピッチャーを付ける等実践的に実施。
	・ハーフバッティング。
	スローボールをきちんと自分のポイントで強く捉えられるように指導しつつスイング（各40球程度バッティング）
	17：30 午後練習終了
	18：00 夕食
	19：00 室内トレーニング共通で体幹トレーニング。他、ピッチャーはチューブトレーニング、野手はバットスイング。
	20：00 入浴、洗濯等
	21：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	22：00 就寝

9時半からのエンドラン練習の意識ポイント→

リッキーに関して、エンドランの場合でも慌てずに動く意識を持つこと。守備時の構え方と日本での動き方等をレクチャーした。（インドネシアとの動きが違う部分があった為、練習から外れてディスカッションしながら話したところ理解してくれた。

ピッチングフォームの指導

投手のフォームトレーニングの意識ポイント→

下半身の力をきちんと上半身に伝えて投げることを意識させた。加えてシャドーピッチングをして反復練習もした。

11時から紅白戦の意識ポイント→

試合に入るときのピッチャー心理（ストライク先行できた時、早めに1アウトを取れた時、エラーの後等の考え方等）、バッター心理（序盤と終盤の心理の違い、ランナーの有無等）、雨が降ってきたこともあり、悪天候を含めたグラウンドの環境での心理の違い等について、自分ではどう考えた方がより力を発揮できるかを、意見交換しながら検討した。

14時から走塁練習のポイント→

スタートの切り方も左足主導、右足主導等様々なポイントがある。タイム等を計りながらやってみるとどれがあるかが見えてくる。牽制時にも、ピッチャーの特徴等を捉えようとする意識を持つことで、観察力が身についてくる。また、日本のような野球先進国は当たり前のように行っていることも説明した。それによって盗塁等も簡単にできるようになる。ここでも意欲的に取り組んでおり、良い成果となっているようである。



ピッチングフォームの指導

日程	スケジュール
8月14日（火） （合宿4日目）	06：00 起床・体操・散歩（山岳コース1.5キロ）
	07：30 朝食
	09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）
	09：30 バッティング（ティーバッティング（引っ張り、真ん中、流し、連続ティー）
	10：30 投内連携、ケースノック（アウトカウントやランナーを想定して行う守備及びランナー練習）。その後、挟殺プレーを見学しながら方法をレクチャー。
	11：30 練習終了
	12：00 昼食
	13：00 練習再開
	→投手は投手トレーニングとしてダッシュ等。野手はシートノック
	14：30 サインプレー及びロングティー、その後走塁練習（三塁への盗塁、ランナー三塁時）
	16：00 練習終了
	17：00 夕食（日本チームは入替のため納会）
	20：00 入浴、洗濯等
	21：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	22：00 就寝

今日はここまで指導してきた内容の振り返りをねらいとしてメニューを実施した。連続ティーバッティングや投内連携時の捕球の入り方等、これまで教えた内容を意識してできていたのではないかなと思う。

午後のサインプレーでは、日本のサインの細かさに驚いていたようだが、意味を説明すると、理解した上で取り組んでいた。 ロングティーでも、上半身主導の時と下半身主導の時でボールの飛び方が違うことが実感として見えてきたようである。

投手トレーニングも会話や質問をしながら練習を積めている。日誌で立てた目標をきちんと達成しようとしており、このまま継続していった欲しい。



投手トレーニングの様子

日程	スケジュール
8月15日（水） （合宿5日目）	06：00 起床・体操・散歩（山岳コース1.5キロ）
	07：30 朝食
	09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）
	09：30 走塁練習
	→一昨日のリードの出方、第二リードの取り方を復習した後、三塁への盗塁のレクチャー、ピッチャーのクセを掴むポイント等をレクチャー。
	ランナー3塁、スクイズ時は相手バッテリーに見破られないように敢えてスタートを遅く切る。第二リードは2塁と違い小さく取って戻るようにする。また、ゴロが転がったらギャンブルでスタートを切る等の作戦について、考え方も含めて説明。
	10：30 バッティング練習。下半身がきちんと使えているか確認
	11：30 練習終了
	12：00 昼食
	13：00 練習再開
	バッティング練習。投手が変化球を交え実施。
	14：30 守備位置のレクチャー
	内野の各ポジション（アウトカウントに応じての守備位置、打者の特徴によつての守備位置、ランナーによつての守備位置等）
	初めに捕球動作のグローブの使い方について説明し、そのトレーニングを行った。また捕球については、正面という考え方も人それぞれであることを説明し、一つのタイプで押し付けてはいけないということも話した。
	その後、ファースト、サードとセカンド、ショートでボールへの入り方が違うことも説明し、その後ノックにて実践した。
	17：30 午後練習終了
	18：00 夕食
	19：00 室内トレーニング共通で体幹トレーニング。他、ピッチャーはチューブトレーニング、野手はバットスイング。
	20：00 入浴、洗濯等
	21：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	22：00 就寝

今日のポイントは、走塁時にいかに相手の癖をとらえるのか、リードや離塁の仕方一つを取っても成功の確率が上がること等、細かい部分についても理解を深めた。

また、普段の自分とは違うポジションについてもレクチャーした。

全ポジションの守備位置や動き方、ボールへの入り方等を理解しておくことは非常に重要であり、これを知ることチームとしても連携が取りやすくなる。インドネシアでも是非実践してほしいということも伝えた。

また、かなり疲労が溜まっているようなので、明日か明後日に休みを設定する予定。

日程	スケジュール
8月16日（木） （合宿6日目）	06：00 起床・体操・散歩（山岳コース 1.5 キロ）
	07：30 朝食
	09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）
	09：30 野手はバッティング練習（連続ティー）とシートノック 投手はピッチャー練習
	11：00 練習終了
	12：00 昼食
	13：00 雨天のため練習できず、疲労も考慮し午後に休みとした。
	18：00 夕食
	19：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	20：00 入浴、洗濯等
	22：00 就寝
明日から日本大学準硬式野球部のBチームが合宿に来る。Bチームが来てからはここまで教わったことを実践していくという説明をしていたため、午前中はこれまでの復習練習のような形で実施した。 午後は疲労を考慮し休みとした。 19時からのレクチャーと意見交換では、これまでの復習と明日からの実践に向けて意見交換等を行った。	



1日の振り返りミーティングの様子
（日本大学経済学部菅平研修所にて）

日程	スケジュール
8月17日（木） （合宿7日目） ここから実践編	06：00 起床・体操・散歩（山岳コース 1.5 キロ）
	07：30 朝食
	09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）
	09：30 投手はピッチャートレーニング 野手はノックとロングティー
	11：30 練習終了
	12：00 昼食
	13：00 練習再開 投手はピッチングとチューブトレーニングとランニング。野手はケースバッティング（アウトカウントとランナーを想定し、実際にピッチャーに投げてもらい、自分もサイン等を出し、場面を想定しながらより実践的に打つ練習）。その後フリーバッティング。
	17：30 午後練習終了
	18：00 夕食
	19：00 室内トレーニング共通で体幹トレーニング。他、ピッチャーはチューブトレーニング、野手はバットスイング。
	20：00 入浴、洗濯等
	21：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	22：00 就寝
選手達から、昨日までのAチームとBチームでは意識の違いを感じるという意見が出た。ここまで、目的意識等のレクチャーをし続けたことで観察力という部分でも身につき始めているようである。 また、この意見をBチームにも話したことで、日大の選手達も意識が明らかに変わった。このプログラムにおいては、当初ここまでねらっていたわけではないが、結果として違うチームの選手が合宿等に加わることが相乗効果に繋がるということが実感できた瞬間であった。	

日程	スケジュール
8月18日（土） （合宿8日目）	05：00 起床
	05：30 朝練習 投手ランニング、野手バッティング
	07：30 朝食
	09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）
	09：30 投手はピッチャートレーニング、シートノック（投内連携込み） 野手はバッティングとシートノック
	11：30 練習終了
	12：00 昼食
	13：00 練習再開 サインプレー後、紅白戦。 投手1イニングずつ（両名無失点） 野手も声が出ていないこと以外は良かった
	17：30 午後練習終了
	18：00 夕食
	19：00 室内トレーニング共通で体幹トレーニング。他、ピッチャーはチューブトレーニング、野手はバットスイング。
	20：00 入浴、洗濯等
	21：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	22：00 就寝
今日からは朝の散歩ではなく、朝から夜まで日大の選手と同じ練習メニューをこなしてもらった。この練習量を継続して行っている日大の選手に負けず劣らず付いてきている。合宿前半で話した意識や目標の部分も継続してできている部分は素晴らしい。 今日は日本に来てから初めて紅白戦に参加してもらったが、リスクー、アクバル共にフォームが良くなり、変化球でもストライクが取れているところを見ると、レベルは確実に上がっていると感じた。リッキーは守備、打撃共に問題なくこなせているが、試合中に声が少ないことは改善してほしい。	

日程	スケジュール
8月19日（日） （合宿9日目）	05：00 起床
	05：30 朝練習 投手ランニング、野手バッティング
	07：30 朝食
	09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）
	09：30 投手はピッチング、投手ノック 野手はケースノック
	11：30 練習終了
	12：00 昼食
	13：00 練習再開 投手はピッチャートレーニング 野手はケースノックと一本バッティング
	16：00 疲労を考慮し早めに練習終了
	18：00 夕食
	19：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	20：00 入浴、洗濯等
	22：00 就寝

今日も朝から夜まで日大の選手と同じ練習メニューをこなしてもらった。この練習量を継続することで身体にも変化が表れてくる。インドネシアではこのように追い込む練習を一定期間行うことはほとんどないということなので、日本式をインドネシアでも是非実践してほしいと思う。

既に合宿9日目だが、「野球とはこうやってやるものなんだ」というのが分かってきているのではないかと実感している。というのも以前と比べて質問のレベルが上がってきていると感じる。

受身であったものが、もう少しここのレベルを上げたいが、どういうトレーニングをすれば良いか。それはどのようなタイミングで行うべきか（食後やランニング後なのか等の質問）といったところである。

この成果は、思った以上に効果的であることは言うまでもない。ただ、トレーニングをするだけでなく、効果を考えて実施した方が何倍もいいトレーニングが行えるからである。

この考え方は絶対に忘れないで欲しい。

日程	スケジュール
8月20日（月） （合宿10日目）	05：00 起床
	05：30 朝練習 投手ランニング、野手バッティング
	07：30 朝食
	09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング）
	09：30 投手はピッチャートレーニング 野手は自己課題克服練習
	11：30 練習終了
	12：00 昼食
	13：00 練習再開 投手はピッチャートレーニング 野手は自己課題克服練習
	16：00 練習終了
	17：00 夕食（合宿納会）
	19：00 入浴、洗濯等
	20：00 レクチャー及び意見交換、日誌記入
	22：00 就寝

日大での実質合宿最終日となった。動画を取りすぎたあまり、記録の写真を残してこなかったのは大きな反省点である。

この合宿を通じて、当初の行動目標である以下7つのうち、（7）を除く部分は3名とも達成できていると思う。（5）については、日誌のやり取りをとおしてやってきたことがそこに繋がってくると説明した。

・当初の行動目標

- （1）野球のルールについて、説明することができる。
- （2）基本的な投球動作、捕球動作、打撃動作について説明することができる。
- （3）野球における基本的な人間心理について説明することができる。
- （4）野球指導における基本的な心構えについて、説明することができる。
- （5）指導方法のPDCAサイクルについて、説明することができる。
- （6）日本での指導方法について、実際に指導を受けること等を通じて、自身をモデルとしながらその指導方法を理解する。
- （7）母国での野球教室において、日本で学んだ指導を実行し、自らの指導方法について、今後の計画、実施、評価及び改善策について考えることができる。

これで日大での合宿は終了となる。駿河台大学での練習内容は、母国でも実施できる器具を使わないトレーニングやウエイトトレーニング、そして実戦形式をなるべく多く取り入れていただくように要請している。この日大で学んだ知識と方法を継続して行って欲しい。



※以下8月21日～31日までの日程は、駿河台大学硬式野球部での受入となるため、詳細は参加者日誌にて記載。

日程	スケジュール
8月21日（火） （合宿11日目）	06：00 起床・体操・散歩（山岳コース1.5キロ） 06：30 荷造り準備 07：30 朝食 08：00 グランド撤収作業 09：00 合宿納め 10：00 出発 13：00 駿河台大学硬式野球部合宿所に到着 15：00 挨拶、施設説明 18：00 夕食 19：00 入浴、洗濯等 20：00 日誌記入 22：00 就寝 
8月22日（水）	07：00 起床 07：30 朝食 09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09：30 器具を使わないトレーニング方法（体幹含む）、タイヤトレーニング 11：30 練習終了 12：00 昼食 13：00 練習再開 下半身トレーニング、タイヤトレーニング、ランニング 17：30 午後練習終了 18：00 夕食 19：00 入浴、洗濯等 20：00 日誌記入 22：00 就寝
8月23日（木）	07：00 起床 07：30 朝食 09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09：30 シートノック、フリーバッティング、 11：30 練習終了 12：00 昼食 13：00 練習再開 投内連携、チューブトレーニング等 17：30 午後練習終了 18：00 夕食 19：00 入浴、洗濯等 20：00 日誌記入 22：00 就寝

日程	スケジュール
8月24日（金）	07：00 起床 07：30 朝食 09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09：30 投手はピッチャートレーニング 野手はシートノック、バッティング等 11：00 紅白戦 投手2イニングずつ（両名無失点） 野手も良かった 13：30 昼食 14：30 練習再開 室内トレーニング施設でのウエイトトレーニング 17：30 午後練習終了 18：00 夕食 19：00 入浴、洗濯等 20：00 日誌記入 22：00 就寝
8月25日（土）	07：00 起床 07：30 朝食 09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09：30 器具を使わないトレーニング方法（体幹含む）、ウエイトトレーニング 11：30 練習終了 12：00 昼食 13：00 練習再開 シートノック、フリーバッティング 17：30 午後練習終了 18：00 夕食 19：00 入浴、洗濯等 20：00 日誌記入 22：00 就寝
8月26日（日）	1日OFF
8月27日（月）	07：00 起床 07：30 朝食 09：00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09：30 シートノック、フリーバッティング 11：30 練習終了 12：00 昼食 13：00 練習再開 ウエイトトレーニング、タイヤトレーニング 17：30 午後練習終了 18：00 夕食 19：00 入浴、洗濯等 20：00 日誌記入 22：00 就寝

日程	スケジュール
8月28日（火）	07:00 起床 07:30 朝食 09:00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09:30 紅白戦 12:30 練習終了 13:00 昼食 14:00 練習再開 フリーバッティング 17:30 午後練習終了 18:00 夕食 19:00 入浴、洗濯等 20:00 日誌記入 22:00 就寝 
8月29日（水）	07:00 起床 07:30 朝食 09:00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09:30 シートノック、フリーバッティング、試合観戦、 11:30 練習終了 12:00 昼食 13:00 練習再開 タイヤトレーニング、ウエイトトレーニング 17:30 午後練習終了 18:00 夕食 19:00 入浴、洗濯等 20:00 日誌記入 22:00 就寝
8月30日（木）	07:00 起床 07:30 朝食 09:00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09:30 紅白戦 12:30 練習終了 13:00 昼食 14:00 練習再開 素振り、シートバッティング、ウエイトトレーニング 17:30 午後練習終了 18:00 夕食 19:00 入浴、洗濯等 20:00 日誌記入 22:00 就寝

日程	スケジュール
8月31日（金）	07:00 起床 07:30 朝食 09:00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09:30 投内連携、シートノック等 11:30 練習終了 12:00 昼食 13:00 練習再開 牽制練習、素振り 17:30 午後練習終了 18:00 夕食 19:00 入浴、洗濯等 20:00 日誌記入 22:00 就寝

日程	スケジュール
9月1日（土）	07:00 起床 07:30 朝食 09:00 練習開始（アップ、キャッチボール、トスバッティング） 09:30 器具を使わないトレーニング方法（体幹含む）、タイヤトレーニング ピッチング練習 12:00 練習終了 13:00 移動（飛行機の関係で錦糸町へ宿泊） 野手1名は宮崎でのU-18大会に代表で参加のため、ここで解散 14:00 到着 22:00 就寝
9月2日（日）	午前便で出発 帰国 

駿河台大学を訪れ、3人の身体には明らかな変化が表れていました。身体がしぼれて、アクバルとリスキーのボールにもキレが出ていました。トレーニングはかなり負荷のかかるものを依頼しましたが、弱音を吐くことなく取り組んでいたとのことでした。

また、3人の日誌を見ていただければ分かりますが、また学びに来たいという3人とも思ってくれたようです。こう思ってもらえたのであれば、このプログラムは一定の成功を収めたと言えると思います。

選手の日本語能力レベル及び英語能力レベルも様々だったので、言語についての多少の課題は残りましたが、言葉が通じなくとも想いが伝わった部分も多く、これも野球の魅力だと実感しました。

ここで学んだことを踏まえ、11月のインドネシアでのプログラムの際の指導も頑張ってください！期待しています。



参加者日誌

プログラム受講者の皆様へ

このプログラムは、以下の目標に従って実施しています。20日間という短い期間ではありますが、皆さんがこれらの目標を一つでも多く達成できるよう指導していきたいと思います。

皆さんはインドネシア野球にとって希望となるべき存在です。高い意欲を持って日本野球をどんどん吸収し、自分自身の力のみならず、インドネシア国野球の発展のために力を発揮してください。

【目標】

①到達目標

受講者が野球先進国である日本の指導方法及び指導を通じての人材育成方法を理解し、自らの野球指導者としてあるべき姿を描き、自国において実際の指導等に繋げることができる。

②行動目標

- (1) 野球のルールについて、説明することができる。
 - (2) 基本的な投球動作、捕球動作、打撃動作について説明することができる。
 - (3) 野球における基本的な人間心理について説明することができる。
 - (4) 野球指導における基本的な心構えについて、説明することができる。
 - (5) 指導方法のPDCAサイクル（注）について、説明することができる。
 - (6) 日本での指導方法について、実際に指導を受けること等を通じて、自身をモデルとしながらその指導方法を理解する。
 - (7) 母国での野球教室において、日本で学んだ指導を実行し、自らの指導方法について、今後の計画、実施、評価及び改善策について考えることができる。
- (注) PDCA サイクルとは Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善を検討）のサイクルを継続して行うことで継続的に指導方法の改善を行っていただけることを意味する。
- ※行動目標全てを達成することにより、到達目標を達成できたものとする。

【for everyone】

This program is implemented according to the following objectives.

We want to teach as many things as possible while you stay in japan to achieve the goal.

You should…no, must effort for development of Indonesia baseball so I want you to get many things from us. You have to play baseball for 20 days with high motivation. And, if you want to know somethings about baseball or not, you can ask for someone.

You must cooperate for development of baseball in Indonesia as player, coach.

After you will come back Indonesia, I want you to teach about baseball or about Japan you could learn things for your teammate, your friends.

I think that Indonesia international baseball team can fight with japan and win someday.

Please tell to Indonesian people baseball is so exiting sports.

【goal】

- 1) You can explain the rules of baseball
- 2) You can explain the basic batting motion, pitching motion, catching motion in baseball
- 3) You can explain the basic human psychology in baseball
- 4) You can understand how to teach for someone
- 5) In your country, you can guidance learned in Japan and think about future planning, implementation, with own goals.

	参加者 高橋リッキー	男	17 歳	内野手	右投げ・左打ち
---	---------------	---	------	-----	---------

Diary in 11 August

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・キャッチボール
- ・トスバッティング
- ・3か所バッティング
- ・素振り
- ・ストレッチ
- ・ラダー
- ・反射神経ダッシュ
- ・ピッチングフォーム

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・スイングでは脚の内側に力を入れる、左足は開かない、ひねった左足は内側
- ・大振りしない（バットは最短距離）
- ・手首は伸びずに上がる感じ
- ・ボールに負けないようにインパクトの時に手首を返す
- ・下半身から始動する
- ・上半身は力をあまり入れない
- ・素振りではインコース高めを振る、母指球に力、体重をためる
- ・自然にステップする
- ・力を入れるのはリリースの時だけ

明日の目標（意気込み）(What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・下半身を意識して練習する
- ・トスバッティングをもっと多くする

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・投手の2人よりも学ぶことは倍近く多いですが、その覚悟はある、ととても頼もしい姿勢だったので大丈夫だと思っています。頑張りましょう！（萩原）
- ・今日は練習を通して、リッキーに必要なと思われることをアドバイスしましたが、その点をもらさず書けていますね。最初はすっかりこないことも多いかもしれませんが、この身体の使い方を覚えることで必ず良くなります！継続していきましょう。（羽川）

"The great things about baseball is there's a crisis every day"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・体操、散歩
- ・ティーバッティング
- ・牽制練習
- ・ケースノック、シートノック
- ・ケースバッティング
- ・ランニング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・連続ティーの時：下半身を低く、左足で打つ感じ、右足は力が逃げないように壁を作る、グリップで打つようにバットを出す
- ・無死1塁：ダブルプレー、ファーストベースのカバー
- ・無死2塁：落ち着いて確実に1塁でアウトにする
- ・1死1, 3塁：点差がある時/初回の際はダブルプレー。最終回/点をやりたくないときはホームに送球。
- ・2死3塁：落ち着いて確実に1塁でアウトにする。
- ・セカンドフォースプレーの時：⇒ファーストに送球したいときは左足で踏む
⇒確実にアウトを取りたいときは1塁手のように踏む

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・昨日今日でしっかり来なくてもあきらめずに、前のフォームに戻らないようにする

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・言われたことは、試してみる。それでも本当にしっくりこないようであれば自分が一番やりやすいやり方を実践して身につければよい。ただ、それが間違っていると上達への一番の遠回りになってしまうので、気を付けること。(萩原)
- ・今日は連続ティーバッティング等、下半身の力を活かして強く振ることを狙って練習をしてもらいました。また、守備についても、それぞれのケースによって想定するべきことがたくさんあります。一つ一つ教えていきますので、クリアしていきましょう！

"Friendship are forgotten when the game begins"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・散歩
- ・ケースバッティング (1死1塁/エンドラン、1死3塁/スクイズ)
- ・紅白戦を見学
- ・走塁
- ・バッティング
- ・体幹トレーニング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・1死1塁/エンドラン
 - ー ショートとのコミュニケーションを取り、セカンドベースに入るのを決める
 - ー 外野に飛んだときは、指示を聞きながらランナーを確認してカットに入る。外野の前の打球は、カットしない。越えたときはカット。
- ・1死3塁/スクイズ
 - ー 主にファーストのカバー (この時もコミュニケーション)
 - ー ファーストのカバーに入るとき、やや前に出てプッシュバントやピッチャーがエラーした時のカバーをしてから入る。
- ・守備の時ピッチャーが投げる前足が固まらないように足を動かす。状態は低すぎず高すぎず。速い打球が来て、タイミングが合わないときは、引かずに体で止める感じ。打球判断。
- ・バッターボックスはいる前にどうゆうサインが出るか準備しておくとい。得点圏にランナーがいるときライロ側に引っ張る意識。
- ・盗塁。
 - 1：左ひざを2塁に向ける感じ
 - 2：右足を先に出して2塁に向かう
- ー 姿勢：(1塁ランナー)
左手を膝においてちょうど背筋が伸びる姿勢。右脚を半歩下げる感じ。
右手はリラックスしてタイミングを計る。スタートの時は上半身を起こさず45度くらい傾けてスタートする。リードは後ろ側。
(2塁ランナー)
0アウトの時：塁線上にリードして3塁に出きるだけ近くする。(バント)
1アウトの時：ちょっと後ろ側、バントでも3塁に行けて、ヒットでもそのままホームインいける体勢。
2アウトの時：後ろ側でホームへスピードを落とさずに最短距離で三塁線に入れるから。
- 第2リード：2回目のリードを大きくジャンプする感じ。その時にスタートするかバックするか判断。空振り見逃しの時は円を描くように戻る。

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・エラーをなくす
- ・もっと集中する
- ・足を動かす

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・明日の目標「エラーをなくす」。良いことです。ただし！エラーをしないように、として積極性を欠いてしまうようなことはしないように。あと、エラーをすることで成長する、学ぶこともできるということを忘れないように。(萩原)
- ・今日はケースバッティングや紅白戦の見学を通して、実戦においてはどのようなことを想定しておくとか良いかを狙いに実施しました。リッキーからこのケースはこういうこともありますよね等、積極的な発言がありましたが、非常に良いことです。野球選手にとって食欲に物事を考え、自分の言葉で発言できるのは素晴らしいことです。
また、今日は日本の野球選手はこんなことまで想定しているのか等についても気付くことができたのではないのでしょうか。小さいことに思えても、いろいろな準備を怠るとそこから崩されてしまうのが野球です。そして明日の目標に書いてある集中するということも非常に重要です。これからも引き続きいろいろと学んでいきましょう (羽川)

"To learn to success, you must first learn to fail"

Diary in 14 Augus

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)
- 散歩 - 連続ティー - ロングティー - ケースノック - シートノック - ワンバウンドゴー	下半身をうまく使えばスムーズにバットが出て少ない力で打てる

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
この調子で明日もバットを振って強い打球を打てるようになる。

講師からのコメント (feedback from coach)
- マメがつぶれてバットが振れていないね…。無理に振ろうとすると変なスイングの形が身についてしまうので気を付けること。あと、マメはつぶれなくなるまでバットを振るんだよ！笑 (萩原) - 手のマメや疲れで、腕や上半身に余計な力が入らない分、徐々に下半身を使ってスイングできてきていますね、継続していきましょう。また、今日行った走塁練習も大切なことです。教わったことは書き留めておくようにしましょう (羽川)。

"You will be close to your dream, the dream will be change to your target!"

Diary in 15 August

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)
- 走塁 - フリーバッティング - 守備 – 基礎、ダブルプレー - ランニングメニュー (ノック)	2 塁のリードはショートに近づく。 3 盗はピッチャーの癖を見つけたとき簡単にできる。 3 塁のリードはラインの 2 0 ～ 3 0 c m 後ろ。戻るときは左足がラインを踏む感じで戻る。打球判断は第 2 リードの右足がつく前にする。ゴロゴー、ゴロストップ、全部ゴーの 3 パターンがある。 - 左手は遊ぶ感じで柔らかく。上体は寝ない。ボールを最後まで見る。顔はよけないようにする。

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
体重も上がってきた、この調子で頑張る。疲れているのでケガだけはしないようにする。

講師からのコメント (feedback from coach)
- 初日の食事を見て、1 杯が限界だったのに自分からお替りして少しでも多く食べようとする姿勢は素晴らしい。食事は自分との闘いで、目に見える形で結果として現れる (萩原) - 走塁、守備に関しては、飲みこみも早く素晴らしかったです。多くのポイントを話したので、しっかり書き留めておきましょう。体重が上がってきているのもとてもいいことです。野球選手に大事な基礎力がついてきつつあります。継続しましょう (羽川)

"Someone called genius who could do something professional after many efforts"

Diary in 16 August

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)
- 守備 (バッティングの) - ノック - ウォーキングスイング	- 一歩目を早く、すべての打球に反応する - できるだけ低く、体が上がらないようにする。 - グローブは下から上 - ピッチャーが投げる前に出ながらインパクトの瞬間に少しジャンプする。(第 2 リードと同じ理由)

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
- 守備はなるべくエラーしないようにする。 - 上体が上がらないで、低い体勢でボールを見る。

講師からのコメント (feedback from coach)
- 守備に関しては特にいうことはないと思います。あとは、細かい動きなどを日本の練習に参加して覚えて、帰国後もみんなに教えられるようにしよう！ (萩原) - 守備の一歩目、下から上にグローブを出すという動作は基本です。身体に覚えさせていきましょう。今日は雨で午後の練習はできませんでしたが、身体のケアも大事な練習の一つです。しっかり休んでまた明日から頑張りましょう。(羽川)

"Do just small steps to reach your dream and goal"

Diary in 17 August

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)
- 素振り - ランニング - ロングティー - ノック - ケースバッティング 3 か所バッティング - 素振り - 羽打ち	- 声かけの大切さ - 少ない力でも自分が思っているより飛ぶ - インコースがまだ打てない - A チームと B チームの雰囲気が違う - グラウンド全体で、声 / 会話が飛び交うようになるとよい

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
- インコースを打てるようにする - もっと声を出していく

講師からのコメント (feedback from coach)
- 練習中の声や会話をしっかりと聞いておくこと。日本の選手がどのような声をかけているのか、どのような会話をしているのかを覚えておくとういのは。(萩原) - 今日からは日本チームが A から B に変わって気付いたことも多かったと思います。野球での声かけの質が高まると自然と野球レベルも上がります。声をバカにしてはいけませんので、そこも書きとめておいてください。明日からはここまで知識として学んできたことを実践する場も作っていきます。結果も大事ですが、自分でどのような考えで臨めたのかも重要です。明日からも頑張りましょう (羽川)

"No one can win against the guy who doesn't give up"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・3 か所バッティング
- ・シートノック
- ・投内連携
- ・ケースバッティング
- ・紅白戦

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- ・ランダウンプレーは、できるだけホームから遠いところでアウトにする。1 塁と3 塁は2 塁に比べてベースに人がいなくなることが多い。ファーストとサードは、あまり深追いしない
- ・声かけの重要性

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・古武さんにリベンジする。
- ・守備でもっと声を出す。

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・「リベンジする」この気持ちを忘れないこと。リベンジだけではなくて、チーム内のあの選手には負けない！という気持ちを持つことも大切。(萩原)
- ・今日は日本に来てから初めて実戦形式を行いました。気持ちも大事ですが、今日は結果よりもその過程（プロセス）が大事だったと思います。明日の目標でも書いていますが、守備での声はもっと必要だと感じました。実戦形式を経験できる今日のようなケースは、様々なことにどんどん挑戦していくことで、自分の野球レベルが向上していきます。今後も期待しています（羽川）

"It may not be easy.
But that won't be the reason that I say It isn't possible

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・ロングティー
- ・サインプレー
- ・ランナー付きノック
- ・ケースバッティング

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- ・他のポジションの守り方
- ・セカンドの動き
- ・投げるとき左手が遊んでいるから、ちゃんと胸に持ってくる。
- ・カットの時最初は正面を向いてボールが来たら半身になって下がりながらボールの力を利用して投げる

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・積極的に守る
- ・脚を動かす

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・他のポジションを知ること、野球を知ることの一つ。ほかのポジションの動きがわからないと動けないプレーも出てくる。
- ・あと、今日学んだ他のポジションの動きというものは、帰国後に指導してあげて下さい。(萩原)
- ・野球で普段と違うポジション全ての動きや守備位置を知っておくことはとても大事なことです。ここにチームメイト個人の肩の強さ等も頭に入れておくと、打たれた際にチームとしてどう中継を繋ぐか等、いろいろなことが想定できるようになります。今日も積極的に守る＝野球の声を出すという話をしました。継続して続けて行きましょう。（羽川）

"Never say never, impossible"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・ロングティー
- ・ランナー付きノック

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・事前の声をかけること
- ・送球をコントロールすること、低く速い球を投げる

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

次の日は移動日のため無い

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・日本大学での10日間お疲れ様でした。基礎知識から、細かいポイントまでいろいろと教えたつもりです。振り返る際には動画を見ながら思い出してもらえればと思います。
- また、次の駿河台大学では、器具を使わないトレーニングやウエイトトレーニング、実戦形式等をお願いしてあります。是非ともこの10日間で学んだことを積極的に実践してみてください。そこで一つでも気付きが生まれれば確実にレベルアップしている証拠です。
- 期待しています（羽川）

"Set your goals high, and don't stop till you get there"

移動日のため練習は無し

Diary in 22 Augus

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・下半身トレーニング
- ・タイヤ引き

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・下半身の力がまだまだ足りない
- ・大学生は疲れても、膝に手をやって、前かがみにならない
(日本大学との練習の時も気が付いたこと)

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・この練習に耐えて10日間頑張る！

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・今日から新しい舞台での練習。また気持ちを新たに、一つでも多くのことを吸収するために毎日大切に過ごしてってください。
(萩原)
- ・ここでの10日間は厳しい反復練習と実践です。厳しい練習に耐えて、鍛えた結果、10日間でも自分の身体の変化を感じることができるはずです。1日1日目標を持って取り組みましょう！(羽川)

Diary in 23 August

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・キャッチボール
- ・投内連携
- ・シートノック
- ・フリーバッティング
- ・チューブトレーニング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・バッティングの時、ヘッドがピッチャーのほうに向かないようにする。
- ・振った後もぶれないように母指球に重心と力を入れる
- ・リストの大切さ
- ートレーニングの仕方

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・鋭いスイングができるようになる

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・練習メニューの「キャッチボール」。これはウォーミングアップではなく、一つの練習ですよ！(萩原)
- ・より速いボールに対応するにはやはり下半身が重要です。鋭いスイングができるようになるために、下半身主導でバットがスムーズに出よう意識してみてください。連続ティーバッティングの時間を思い出してください。既にできるようになっているはずです。
あとは反復です。手を抜かずに頑張ってください(羽川)

Diary in 24 August

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・試合
- ・ウエイトトレーニング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・ウエイトのやり方とメニュー

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・ウエイトをする。筋肉痛だけど弱音を吐かずに頑張る

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・しっかりとトレーニングができている証拠だ！その調子！(萩原)
- ・ウエイトトレーニングは鍛えている部位を意識しながら行うことで効果も上がります。また、弱音を吐かないということも非常に大事ですね。いろいろなトレーニング方法も覚えて、インドネシアに帰ってからもできるようにしてください。期待しています(羽川)

Diary in 25 August

参加者 高橋リッキー

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・ウエイトトレーニング
- ・シートノック
- ・フリーバッティング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・バッティング(打つ)する前に、ちゃんと構えて「よし来い」という時間を作る。
- ・右手に力を入れて左手を添える感じで打つ

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・コーチに言われたことをちゃんとやる
- ・木製バットでも強い打球を打てるようにする

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・金属と木のバットでは打ち方が違う。金属バットでの打ち方ではなくて木のバットでの打ち方を身につけられるように練習してください。(萩原)
- ・なぜ木製のバットだと強い打球が打てないのかをきちんと考えることによって答えが見えてくる気がします。木製でいい当たりができた時がそのヒントになるはずです。考えて見ましょう(羽川)

OFF

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・シートノック
- ・フリーバッティング
- ・ウエイトトレーニング
- ・タイヤ引き

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・足の親指に力を入れて振った後もぶれないようにする
- ・打つところを見てから打球を目で追う

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・フリーバッティングの時、追うくらいボール球だけどいい打球を多く打てるようにする。

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・木のバットでも力強いスイングができるように、体を鍛えよう！
スイングの基本は、日本大学での合宿でみっちり教わり少しは身につけていると思う。(萩原)
- ・いろいろなアドバイスを受けて少し混乱しているかもしれないですね。基本は下半身の力を使ってスイングすることです。強く打とうとするあまり、上半身に力が入ってしまうのは悪い癖です。遠回りに見えて近道なのは下半身主導で打つことです。忘れないようにしましょう。(羽川)

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・紅白戦
- ・フリーバッティング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・速い球にまだついていけない
- ・高めの釣り球を振ってしまう

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・今度の紅白戦で打てるように頑張る

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・何事も最初はうまくはいかないものです。失敗して、失敗して成功するまで挑戦することが大切です。(萩原)
- ・萩原さんの言っているとおりです。目先の結果ばかりに目を奪われないでください。大切なのはプロセスです！（羽川）

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・シートノック
- ・フリーバッティング
- ・試合観戦
- ・タイヤ引き
- ・ウエイトトレーニング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・トップの時から腕をたたんで打つ前の姿勢に早く持ってこれる人はいいいバッター。
速い球にも対応できる

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・昨日今日言われたことを意識する

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・同じ指摘をされないように意識することも大切です！（萩原）
- ・ウエイトトレーニングやここまでの練習を通して確実にリッキーのレベルは上がってきています。それは自信をもってください。その上で、日本野球のレベルの高さも味わっていると思います。その悔しさを持つということも大事です。今は付いていくのでやっとなんかあるかもしれませんが、インドネシアでも続けていけば必ずこれに近いレベルになれます。残り少ないですが、一つでも多く学びましょう。(羽川)

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・紅白戦
- ・素振り
- ・シートバッティング
- ・ウエイトトレーニング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・初めはできなくても我慢する。なぜなら、元から打てないスイングで打っているから打てるスイングに変えて打てなくなるのは当たり前。それで我慢できるかどうかで成長できるかできないか決まる。

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・自分に言われたことや、他の選手に言われたことでもちゃんと聞いて、初めはびんと来ないかもしれないけど我慢する。

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・他人に向けて指摘されている言葉を盗み聞きすることが大切だ、ということに気が付いたところはさすがです。そう！我慢！初めから上手くいくことなどありえない！（萩原）
- ・いいところに気がつきましたね。この思いがあれば成長していけるはずですよ。野球に対する自分の軸ができれば怖いものはありません。これからも継続してってください（羽川）

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・投内連携
- ・シートノック
- ・牽制練習
- ・素振り

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・牽制にまだ引っ掛かりやすいこと
- ・グラウンドを大切に使う・使う
- ・A チーム、B チーム、共に感謝の気持ちを持つ

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・学んだことを宮崎の大会で生かす！

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・リッキー。20日間お疲れ様でした。通訳をお願いして二人の何倍も疲れたでしょう。負けず嫌いで、日本の選手にも負けたくないという強い気持ちが日々疲れた体を動かしているなあと感じていました。この気持ちを持続け、来年には見違えた姿を期待しています！
宮崎での国際大会を経験できることはリッキーにとってとても良い経験になることであり、我々からしてもとても羨ましい限りです！頑張れ！（萩原）
- ・20日間お疲れ様でした。U -18 のインドネシア代表として、宮崎の大会も期待しています。まだ若いので目先の結果だけにとらわれず、自分を伸ばしていった欲しいと思います。この20日間を生かすも殺すもリッキー次第です。
また、インドネシアのレベル向上のため、教わったことを是非ともインドネシアでも広めてってください。お疲れ様でした（羽川）

~How was it? Did you have a good time?- or hard?wkwk~
~What was the best things , hardest things for eleven days ?~
Please feel free to write down everything. I would like to get your feelings.

20日間という長い時間、みっちり練習できて楽しかった。
自分がどんな動きをしていて、どう間違っているのか、どうやって直すのか、どういうトレーニングをしていけばいいのか学ぶことができた。
今後も、自分自身練習を重ねながら、インドネシア・バリの仲間に日本で学んだことを伝えていきたいと思う。
日本の選手と実際にプレーをしてみて身体つきが全然違うことに気が付くことができた。毎日少しずつ食事をしてトレーニングもして練習もして大きい体になれるように頑張りたいと思う。
今度また機会があれば、日本でみっちり練習したいです。

I wish for Indonesia and your future success!
Terima kasih!!

	参加者 Muhammad Rizqi Ihza Mustofa	男	17 歳	投手	左投げ・左打ち
---	------------------------------------	---	------	----	---------

Diary in 11 August

参加者 Muhammad Rizqi Ihza Mustofa

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・投球フォーム
- ・動きの修正
- ・テント立て、ネット張りなどの環境整備
- ・コントロール (投球)
- ・リリースポイント
- ・気持ちのコントロール

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・windアップでの投げ方
- ・体重移動はお尻から
- ・リラックスして投げる
- ・踏み出しの時に右肩が開かないようにすること、開いたときは球が死んでしまう
- ・リリースポイントを前にする
- ・体重移動はゆっくりやる

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・ピッチングフォームの形をよくする
- ・スタミナをつける
- ・規律を学びたい
- ・皆に負けられないようにする
- ・球速を上げたい

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・いよいよ日本での野球プログラムが始まりました。リスクーは、昨年のインドネシア遠征 (2017 東都大学準硬式野球連盟 in バリ島) の際にも目を付けていた将来有望の左腕でした。今後の成長がとても楽しみです。一緒に頑張りましょう！
- ・今日は練習を通して、リスクーに必要なと思われることをアドバイスしました。最初はしっかりこないことも多いかもしれませんが、この身体の使い方を覚えることで必ず良くなってきます！継続していきましょう。(羽川)

"The great things about baseball is there's a crisis every day"

Diary in 12 August

参加者 Muhammad Rizqi Ihza Mustofa

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・バッティング
 - ー インコース
 - 真ん中
 - アウトコース
- ・フィールディング
 - ー バント処理、打球処理
- ・牽制
- ・ピッチング、遠投

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・ティーで、インコース、真ん中、アウトコースを打つ練習
- ・連続ティーで速い球に慣れるように
- ・投球での、右足を出すタイミング、体重移動
- ・牽制の種類、速いやつ遅いやつ
- ・投球フォームをなおす
- ・パンと処理の時のステップを学んだ
- ・右手の使い方の癖を治す
- ・リリースポイントをコントロールして目の前で離せるように

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・球速を上げる
- ・間違った癖を治す
- ・足を挙げたときに、左足に体重を乗せて支えられるように。

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・ピッチャーもバッティング練習にはまじめに取り組んでくれて、野球に対する姿勢はやはり素晴らしいものがあると改めて感じました。ピッチャーとしては少し体の開きが早く上半身の力に頼りすぎているように思った。下半身がうまく使えばもっと速い球を投げれると思いますよ！（萩原）
- ・球速はすぐにあがるわけではありません。遠回りかもしれませんが、日々の積み重ねが生きてきます。それを信じて反復して練習しましょう（羽川）。

"Friendship are forgotten when the game begins"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・ピッチングフォーム
- ・走塁

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- ・シャドーピッチングでピッチングフォームを治して、無駄な動きをなくすこと
 - ー 繰り返し行うことで、体にしみこませる
- ・投げ終わりの足で体重を支える感覚
- ・走塁の盗塁時における３つのパターン
- ・第２リードの取り方

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・繰り返し行うことでピッチングを治す
- ・球速を上げる

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・今日言った通り, 繰り返し繰り返し練習を行った人が上達する。地味な練習こそ繰り返すことが大切です。(萩原)
- ・反復を繰り返していることで、徐々に自分でも実感が湧いてきていると思います。焦らず自分の形を作っていきましょう(羽川)

"To learn to success, you must first learn to fail"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・シャドーピッチング
- ・ランニング
- ・フィールディング
- ・ピッチング

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- ・繰り返しの練習が大切
- ・下半身を強くする練習
- ・右手の使い方の練習
- ・フィールディングの練習
- ・正しい投げ方（新しく覚えた）で投げる

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・スピードアップ
- ・野球についてすべて知りたい

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・今まで言われていたこと教わったことと違うことを教わって戸惑っていたが、正しいかどうかも大切ではあるがどちらのパターンも正解なのであれば自分がやりやすい方法でやるのが大切です。(萩原)
- ・野球での投げ方や打ち方には、「これが正解!」というものはありません。いろいろな方法を知って、試して、自分に合うものを見つけるのが大切です。そのことが分かっただけでも大きな収穫だと思います。明日からもリスクに合った方法を探していきましょう（羽川）

"You will be close to your dream, the dream will be change to your target!"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・走塁
- ・バッティング
- ・守備
- ・シャドーピッチング
- ・ランニングメニュー（遊び感覚でノック）
通称：「犬ノック」

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- ・走塁を繰り返す、１塁ランナー、２塁ランナー、３塁ランナー
- ・ノックにて、守備の基礎を学んだ
- ・投球フォームを繰り返す
- ・決してあきらめないことを学んだ
- ・３塁ランナーには３つのサインがある
 - ー ゴロ・ゴ－
 - ー 全部スタート
 - ー ストップ

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・スピードアップ
- ・野球についてすべてのことを知りたい

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・一日中グラウンドを使えたので走塁練習。特に３塁ランナーの動き戦法に驚いていたので教えた甲斐がありました。最後のグラウンド整備も丁寧で素晴らしい!!（萩原）
- ・走塁の方法等に関する理解が早くて驚きました。リスクーは特に左ピッチャーなので、ランナー２塁の際はフォームの癖を見破られないよう、注意が必要です。それも含めて今日のレクチャーは大きな発見もあったのではないのでしょうか。引き続き頑張ってください（羽川）。

"Someone called genius who could do something professional after many efforts"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・ランニング
- ・スローイング

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- ・限界まで走る
- ・変化球の投げ方 / カーブボール、スライダー
- ・シャドーピッチング

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・ピッチングの後に日本のピッチャーの回復・ケア方法を学ぶ
- ・毎日体力を維持する方法を知りたい。
- ・試合中のベンチで、イニング間に何をしているのか知りたい。いいピッチングを続けるために。

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・実際に日本の投手に試合の日の調整方法を自分から質問していたが、今後はしっかり実践していきましょう！（萩原）
- ・明日からは日本大学のBチームが来て実戦も踏まえての内容も行います。試合中にベンチで何をしているのか等も積極的に聞いてみましょう。明日も頑張りましょう（羽川）

"Do just small steps to reach your dream and goal"

今日の練習メニュー (Today’s practice contents)

- ランニング
- ピッチング
- トレーニング (新しいメニューも)

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- コントロールを付ける練習
- 20本走る
- ふくらはぎのトレーニング30
- 壁に手をつけて足上げ50
- ピッチャーの役割ごとについて
 - 先発投手の試合前の準備について
 - リリーフでベンチでの準備
 - 試合後の投手のケアについて、ランニング、アイシング、ストレッチ

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- 腰の切れを速くする
- スナップを速くする

講師からのコメント (feedback from coach)

- 一日一日やりたいこと学びたいことが増えていくが、少しずつ！ですよ。家でもできるトレーニングはぜひ続けてほしいですね。(萩原)
- 今日は新しいトレーニングも取り入れてみました。1人でできるトレーニング、どんどん実践して欲しいと思います。(羽川)

"No one can win against the guy who doesn’t give up"

今日の練習メニュー (Today’s practice contents)

- フィールディングピッチャー
- 牽制
- ゲーム形式ノック
- 1イニング登板
- ランニング

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- 投内連携
- 1塁、2塁牽制の仕方
- ゲーム形式ノックで、ほかの日本の選手は、無死、1死、ランナーがどこにいるかなどをしっかりと頭に入れて動きができている。
- ピッチャー心理
- 20分間走

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- 牽制を速くするための練習
- グラブの使い方が今日の紅白戦で悪い方向に戻ってしまったため、それを治す。

講師からのコメント (feedback from coach)

- 実戦で打者を相手に実際に投げてみてまだまだ改善点が多かった。本人もそのことはわかっていたようなのでもっと練習が必要！(萩原)
- 投げていて首をかしげるところもありました。目先の結果にこだわるのではなく、大事なのは自分にあったフォームや投げ方を追求していくことです。これは最初からここまでの8日間でできるようになるほど甘くはありません。自分が大事にしているスピードアップ等の高い目標を忘れずに取り組んでいきましょう(羽川)

"It may not be easy.
But that won’t be the reason that I say “It isn’t possible"

今日の練習メニュー (Today’s practice contents)

- 日曜日の朝のランニング
- ピッチング
- チューブ
- ピッチャーのフィールディング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ステップをしてからの腰の切れを速くすること
 - 腰を後ろから押すことで体重移動
- チューブ4種を20回
- リリースポイントのトレーニング
- フィールディング、1塁と2塁への
- ゲーム形式でのピッチャーの動き

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- シャドーピッチング
- リリースポイントのトレーニング
- チューブを50回×6

講師からのコメント (feedback from coach)

- 毎日朝早くから夜遅くまでの練習で疲労がすごくたまっているなか毎日欠かさずシャドーピッチングだけは行っている姿は素晴らしいと思います。(萩原)
- フィールディング練習等、きちんと動けていました。シャドーピッチング等も納得しながら投げられていましたね。徐々に自分の納得いくフォームができてきているのではないのでしょうか。継続していきましょう(羽川)

"Never say never, impossible"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ピッチャーノック
- チューブ
- シャドーピッチング
- トレーニング

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- フィールディング
- ボールを真上に投げて指に掛ける

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

移動日のため練習は無い

講師からのコメント (feedback from coach)

- 日本大学での１０日間お疲れ様でした。基礎知識から、細かいポイントまでいろいろと教えたつもりです。振り返る際には動画を見ながら思い出してもらえればと思います。
また、次の駿河台大学では、器具を使わないトレーニングやウエイトトレーニング、実戦形式等をお願いしてあります。是非ともこの１０日間で学んだことを積極的に実践してみてください。そこで一つでも気付きが生まれれば確実にレベルアップしている証拠です。期待しています（羽川）

"Set your goals high, and don't stop till you get there"

移動日のため練習は無し

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- warming up
- medicine ball
- cube
- run menu

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- running – 10min
- medicine ball- training back body

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- I can learn some new menu in Surugadai univ , I will have a good time for me.

講師からのコメント (feedback from coach)

- 今日から駿河台大学さんに舞台が移り環境も一変。心機一転頑張しましょう！（萩原）
- ここでの１０日間は厳しい反復練習と実践です。厳しい練習に耐えて、鍛えた結果、１０日間でも自分の身体の変化を感じることができるはずです。１日１日目標を持って取り組みましょう！（羽川）

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- weight training- upper body for pitcher
- pitching
- cube, shadow pitching
- hand grip

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- lower body important for good pitching
- squat, lunge,deadlift
- pitching doesn't need to do every day, have to have a rest

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- I wanna get knowledge about baseball

講師からのコメント (feedback from coach)

- いろいろな環境でいろいろな指導方法があります。一つでも多くの新しいことを吸収できるように頑張ってください。（萩原）
- ウエイトトレーニングは鍛えている部位を意識しながら行うことで効果も上がります。いろいろなトレーニング方法も覚えて、インドネシアに帰ってからもできるようにしてください。期待しています（羽川）

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- warming up before game
- game
- weight training

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- prepare pitching in game
⇒ running half 5, half and half 3, dash 5
- weight training- bench press, upper back, pull up and down

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- japan baseball is fun, I will get technic like them

講師からのコメント (feedback from coach)

- 個々になりたい選手像があると思うが、日本の選手のように思ってくれることはうれしいこと。練習あるのみ！！！（萩原）
- 実戦形式でしか得られないこともたくさんあります。今日感じたことをきちんとまとめておきましょう。（羽川）

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- weight training
- core (体幹)
- running

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- under body
-lungest
squat
curl raise
leg press
dead lift
- core × 5
- running – pool to pool × 10

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ウェイトトレーニングにおいて、もっと負荷をかけて行う！

講師からのコメント (feedback from coach)

- ウェイトの後のリカバリーを忘れずに行うこと！！（萩原）
- ウェイト、体幹トレーニング、タイヤトレーニング、ランニングこれ位厳しいトレーニングを継続して行うことで自分の身体に変化が出てきます。継続は力なりです！（羽川）

OFF

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- fielding pitcher
- weight training
- running
- pitching

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- fieldinhg game knock covering pitcher
- upper body , pull down, dumble, bench press,
Leg press, leg extantion

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- 力強いピッチャーになるためのトレーニングをやる（推）

講師からのコメント (feedback from coach)

- 精神的にもタフなピッチャーを目指してがんばれ！（萩原）
- 負荷のかかるトレーニングですが、きちんと継続してきましょう（羽川）

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- stretching
- game 2 innings (3runs, 2 earnd runs) →四球3、失点2
- weight training
- penguatan otot kaki
- running

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- pitching 2 innings
- weight training
Lower body
Squat, lungest, dead lift, balancing with bar, deep chair

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- 良いピッチングができるピッチングフォームを学ぶ (推)

講師からのコメント (feedback from coach)

- 良いピッチングは、常に同じ投げ方ができるピッチャーができると思います。(正解かどうかはわかりませんあくまでも持論)自分で答えを見つけることも大切！ (萩原)
- フォームも含めて自分で納得できていますか。できているなら続けてください。そうでなければシャドーピッチング等で調整していきましょう。今大事なのは目先の結果ではなく、プロセスです！ (羽川)

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- knock pitcher
- watching baseball game
- weight training
- tire

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- fielding 1st base, 2nd base, 3rd base
- Surugadai vs Waseda
- upper body
Bench press
Pull down
dumble
- tire × 10

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- cube × 100 3 item
- training for strong lower body

講師からのコメント (feedback from coach)

- 数字を設定して練習に臨むことがとっても大切です。必ずクリアすることはもっと大切。(萩原)
- ウェイトトレーニングやここまでの練習を通して確実にリスクーのレベルは上がってきています。それは自信をもってください。その上で、日本野球のレベルの高さも味わっていると思います。その悔しさを持つということも大事です。インドネシアでも続けていけば必ずいい投手になれると思います。残り少ないですが、一つでも多く学びましょう。(羽川)

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- running
- pitching
- weight training
- both hand grip

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- running before game (half pool to poll × 20)
- pittching 2 innings – no point
- squat, lungast,dead lift,balancing with bar, leg extention, leg press, chair keep, dumble
- pool to pool × 10
- running with tire × 5
- hand grip with ball

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- shadow pitching × 100

講師からのコメント (feedback from coach)

- 実際に試合でのピッチングを見ることができました。しっかりと守備にも声をかけることができていたようで楽しそうに投げていましたね。とても良い経験になったと思います。内容のことは自分が一番わかっていると思うのでしっかり振り返ってください。(萩原)
- ここまでよく継続してきました。野球に対する自分の軸ができれば怖いものはありません。あと1日ですが学び残したことがないようにしましょう (羽川)

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- running
- knock
- weight training
- pitching

今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)

- warming up (run)50m,30m,10m
- knock pitcher(fielding,cover)1st,2nd,3rd base
- shadow pitching
- upper body
- bench press
- sit up
- back up
- chair keep

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- all about menu, program to be good pitcher likes a japan player
(日本の選手のようないいピッチャーになるための練習方法を知りたい /)

講師からのコメント (feedback from coach)

- 1 か月間お疲れさまでした。休みも少なくほぼ毎日野球漬けの毎日とはとても充実していました。今回学んだことは今後のインドネシア野球の発展にも自分のためにも大いに生かしていただきたい。期待しています！！
- 20日間お疲れ様でした。まだ若いので目先の結果だけにとらわれず、自分を伸ばしていった欲しいと思います。この20日間を生かすも殺すもリスクー次第です。また、インドネシアのレベル向上のため、教わったことを是非ともインドネシアでも広めていってください。お疲れ様でした (羽川)

~How was it? Did you have a good time?- or hard?wkwk~
~What was the best things , hardest things for eleven days ?~
Please feel free to write down everything. I would like to get your feelings.

I have a good time with a very humble and kind new people and i glad to had an experience in 11 days
even though it's very heavy but I'm very happy
the hardest training when I ran on the slope in Sugadaira after pitching
and the hardest training at the Goto San pitcher training menu and pulling tires
thats maybe I can says to you boss
I wish this program makes me to be a good player , I want .
Thanks for everything Nihon university and Surugadai university. I want to be better than now , I hope this
So, I think that I wanna come back to japan to learn baseball more this time .

20日間、新しく出会ったとても謙虚で優しい人たちととても良い時間を過ごすことができ、いろいろな経験をする
ことができてうれしかった。とても練習は厳しいものであったが、それでもとても幸せ（嬉しい、楽しい）でした。
特に一番厳しかった練習は、菅平でのピッチングの後にやる坂道でのトレーニング（ダッシュ）でした。あと、後藤
さんとのピッチャーメニューのトレーニングとタイヤです。
そして、今回の野球プログラムは自分をよい選手に導いてくれるものでもあったとっていて、そうなりたいとも思う。
日本大学、駿河台大学の皆さんありがとうございました。今よりもっと上達したいと思います。
そしてまた日本で野球を学びたい。今回よりももっといろいろなことを。

I wish for Indonesia and your future success!
Terima kasih!!

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ピッチングフォーム
- リリースポイント
- ピッチングの心理

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ピッチングで、リリースポイントだけに力を入れる
- 投げ終わりの腕の振りを大きく
- 投球の歩幅を大きく、一連の動作をスムーズに

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- 球速を少しでも上げる
- 下半身を強くする練習をする

講師からのコメント (feedback from coach)

- これから色々なことを教えます。一つ一つ自分でクリアしていくことが大切、一つ一つの小さなことの積み重ねが大切です。(萩原)
- 今日は練習を通して、アクバルに必要と思われることをアドバイスしました。最初はしっかりこないことも多いかもしれま
せんが、この身体の使い方を覚えることで必ず良くなってきます！継続していきましょう。(羽川)

"The great things about baseball is there's a crisis every day"

Diary in 12 August		参加者	Muhammad Akbar kamaluddin
今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)		
- ティーバッティング - フィールディング、バント処理、打球の処理 - ピッチング	- インコース、アウトコース、真ん中で打ち方が違う - 連続ティー、インパクトを強くする - バッティングの下半身の動作はピッチングにも関係しているということが分かった		

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
日本の野球の練習をもっと知りたい、ピッチング、バッティングおねがいします

講師からのコメント (feedback from coach)
- 投手でも、バッティングについてはしっかりと学んだことを忘れないで、指導できるようにしてください！野球は、走・攻・守・投、全てが必要で、欠けていいものではありません。一つでも怠るようなことをしてはいけません。(萩原) - 学んだことをよく理解し、ノート等にも書き留めており素晴らしいです。食欲に野球に取り組んでいる姿勢も大切なことです。これからももっともっと教えていきますので、一つでも多くのものを吸収してください。(羽川)

"Friendship are forgotten when the game begins"

Diary in 13 August		参加者	Muhammad Akbar kamaluddin
今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)		
- ピッチングフォーム、吉住と - 走塁 - ピッチャーの課題	- ピッチング　－　下半身の形、クイック、力の入れ方 - 走塁　－　姿勢、盗塁での3つのパターンは人に合ったものを選ぶ、リードは大きい人で4 m、2 塁ランナーでのリードで3つの取り方がある0アウト1アウト2アウト、第2リードの取り方2歩目は大きくその時に頂点で打球判断、帰塁の際は円を描くように - ピッチャーの課題　－　コントロール、テンポ		

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
- もっとピッチャーの問題とか心理を知りたい、けがをしているときのピッチャーの練習 - タイミングをとる練習を知りたい、バッティング

講師からのコメント (feedback from coach)
- 今日は走塁について。3人とも理解が早く、教えることが楽しいです。3 塁ランナーの時のことで、初めて聞いたことがあったみたいで、日本の野球にはこのような戦法もあるんだ、と知ってくれたようで良かったです。(萩原) - リード一つをとっても、日本は複数の方法があることが分かったと思います。投げ方、打ち方、スタートの切り方等々。これからも食欲に聞いてきてください。知っていることは全て教えますので (羽川)。

"To learn to success, you must first learn to fail"

Diary in 14 August		参加者	Muhammad Akbar kamaluddin
今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)		
- シャドーピッチング - ランニング - フィールディング	- ピッチングの動きがだんだんわかってきた。(体重移動、リリース) - フィールディング、打球処理は早く！		

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
野球についてすべてのことを知りたい。

講師からのコメント (feedback from coach)
「ピッチングの動きがだんだんわかってきた」－こういう自分の変化に気が付けるところは、自分を理解している証拠です。素晴らしい！(萩原) - フィールディングでのボールの入り方もいろいろな方法があることが分かったと思います。人によって合う合わないがあるのが当然ですので、いろいろなやり方を知っていればいろいろな指導ができますし、選手も伸ばすことができます。疑問点は随時質問してください (羽川)

"You will be close to your dream, the dream will be change to your target!"

Diary in 15 August		参加者	Muhammad Akbar kamaluddin
今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)		
- 走塁 - バッティング - 守備練習 - シャドーピッチング	3 塁ランナーには3つのサインがある。 - ゴロ・ゴー - ゴロ・ストップ - 全部ゴー - 離塁、帰塁の仕方 - アウトコースの打ち方、バッティングフォーム、タイミング - ゴロに対してのボールの入り方、右側から入る - グローブの手の使い方、柔らかく、リラックスする - 吉住から教わったことを繰り返すこと		

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
個人個人で自分が足りないところを補う練習方法を知りたい。(一人のできる練習) バッティング、ピッチング、守備、走塁。

講師からのコメント (feedback from coach)
- 自分が足りないところを補うことも上手くなるためには大切ですが、自分の長所を伸ばすための練習も大切です。(萩原) - 夜の練習で1人のできるトレーニング等も複数取り入れています。そのアレンジ等についても明日やってみましょう (羽川)

"Someone called genius who could do something professional after many efforts"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)
- ランニング - 変化球の練習 - シャドーピッチング	- ピッチャーの自己管理の仕方 - カーブ、フォーク、カットボールの投げ方 - 下半身からボールに力を伝える

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
シャドーピッチングの時間が必要！

講師からのコメント (feedback from coach)
- 日本のことわざで「時は金なり」という言葉があります。時間もお金と同じくらい大切だという意味です。その大切な時間は、自分で作るもの。シャドーピッチングをする時間を自分で作っていきましょう。(萩原) - 日本に来て、いろいろなフォームに取り組んでいて、少し悩んでいる様子が見受けられます。明日からは日本大学のBチームのメンバーが来て、実戦も踏まえて内容の練習も取り入れていきます。必要であれば自ら申し出てシャドーピッチングの時間を作っても構いませんので, 教えてください。大事なのは理解して納得して練習に取り組むことです。明日からも頑張りましょう (羽川)

"Do just small steps to reach your dream and goal"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)	今日の練習で学んだこと・気付いた点(What did you learn in today?)
- ランニング - ピッチング 1人でできる練習 - ピッチャーの役割 (先発、中継ぎ、抑え) について聞いた	- ピッチングの前にダッシュを 20 本 - ピッチングを 30 本 1人でできる練習を 12 種類 - 試合のための準備をどうするか - ウォーミングアップでランニングを 10 分 - ダッシュ (ボールからセンターまで) 10 本 〃 〃 〃 2 本、ハーフ 3 本

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
- ピッチングフォームを繰り返す - ランニング - チューブ

講師からのコメント (feedback from coach)
- 繰り返し行うことはとても大切なことです。 - 投手の試合前のアップの仕方については、見直すところがあったのではないかな。 - いままでのアップの仕方では十分なパフォーマンスができないと思います！ (萩原) - 今日は新しいトレーニングも取り入れてみました。1人でできるトレーニング、どんどん実践して欲しいと思います。(羽川)

"No one can win against the guy who doesn't give up"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)
- フィールディング - 二遊間、キャッチャー、ピッチャー間のサインプレー - ランナー付きノック - 紅白戦 (1 イニング)

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)
- フィールディングでの 1 塁、2 塁、3 塁への投げ方。 1 イニング登板 - 三振 - サードゴロ - ライト前ヒット、ライトエラー - センターフライ

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)
- 暇な時間をなくすこと - チューブ - シャドーピッチング - ランニング - その他のトレーニング などを行うことで。

講師からのコメント (feedback from coach)
- 隙間の時間にやる小さな練習やトレーニングはいつか必ず成果として現れます！ (萩原) - 今日はサインプレー等、いろいろと学んだと思います。また、紅白戦で投げてみて見えてきた部分もあると思います。フォームで悩んでいましたが、マウンドに立った途端に切り替えて目の前のバッターに集中していたのは非常に素晴らしかったです。今アクバルは、ここで学んだことによる多くの知識の蓄積ができていていると思います。今後も忘れずに貪欲に取り組んでいきましょう。(羽川)

"It may not be easy.
But that won't be the reason that I say "It isn't possible"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・フィールドイング、ピッチャーノック
- ・ピッチングフォームの新しいメニュー
- ・チューブ
- ・ゲーム形式ノック

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・バント処理での 1 塁、2 塁への送球
- ・ピッチャーのカバーリング
- ・チューブを 20 回 3 セット
- ・体重移動でキャッチボールをする。ステップをしたときに後ろから腰を押してもらい前足に乗っかる感覚を身に付ける。

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ・杉山さんに教わった練習をやる
 - ー 腰を押すやつ
 - ー スナップでボールを真上に投げるやつ
- ・チューブ

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・フィールドイングがうまいピッチャーは失点も少なくテンポもよく投げれるピッチャーです。フィールドイングは投手の守備。守備練習は繰り返せば繰り返すほどうまくなります！（萩原）
- ・ピッチングフォームについても新たなやり方等を教わり、早速試していましたね。この貪欲さが大事です。継続していきましょう。（羽川）

"Never say never, impossible"

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- ・ピッチャーノック
- ・チューブ
- ・ピッチャートレーニング
- ・片付け

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- ・フィールドイング、 1 ・ 2 ・ 3 ・本塁への送球。
- ・スナップでボールを投げる（寝ながら真上に、前はダメ）

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

次の日は移動日のため練習は無い。

講師からのコメント (feedback from coach)

- ・日本大学での 1 0 日間お疲れ様でした。基礎知識から、細かいポイントまでいろいろと教えたつもりです。振り返る際には動画を見ながら思い出してもらえればと思います。
また、次の駿河台大学では、器具を使わないトレーニングやウエイトトレーニング、実戦形式等をお願いしてあります。是非ともこの 1 0 日間で学んだことを積極的に実践してみてください。そこで一つでも気付きが生まれれば確実にレベルアップしている証拠です。期待しています（羽川）

"Set your goals high, and don't stop till you get there"

移動日のため練習は無し

今日の練習メニュー (Today’s practice contents)

- warming up
- latihan lower body
- medicine ball
- cube
- running

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- 10 menit running
- 1 jenis latihan lower body
- medicine ball 3 macam
- lempar bola besi
- running tarik ban truck

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- program yang baik / ideal untuk pitcher baik itu pada masa persiapan maupun sebelum naik mound.

講師からのコメント (feedback from coach)

- 今日から新しい環境、新しい仲間と共に 1 週間練習に励んでください。日本での一期一会を大切に！（萩原）
- ここでの 1 0 日間は厳しい反復練習と実践です。厳しい練習に耐えて、鍛えた結果、 1 0 日間でも自分の身体の変化を感じることができるはずです。1 日 1 日目標を持って取り組みましょう！（羽川）

今日の練習メニュー (Today’s practice contents)

- upper body pitcher training<bebannya berat badan sendiri>
- weight training for lower body
- pitching × 30
- cube
- hand grip

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- upper body training : hand stand etc. . .
- weight training: squat, lunges, deadlift, etc. . .
- hand grip,(sama seperti yang diajarkan shun san)
- cube (sama seperti yang diajarkan Tsubasa san)
- pitching practice

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- ingin lebih bannyak tahu lagi maeam – macam latihan / menu program untuk pitcher

講師からのコメント (feedback from coach)

- ウェイト後のリカバリーには、食事によるものがとても大切です。特にたんぱく質。（萩原）
- ウェイトトレーニングは鍛えている部位を意識しながら行うことで効果も上がります。いろいろなトレーニング方法も覚えて、インドネシアに帰ってからもできるようにしてください。期待しています（羽川）

今日の練習メニュー (Today’s practice contents)

- prepare for game (pitcher)
 - game(1 innning)
 - weight training upper body
 - game situation
- running – pool to center × 5
Pool to center, sedikit lebih maju dari sebelumnya × 3
(センターよりも少し手前)
Pool to 5M / 8M × 5
 - game(1 inning)
 - weight training- - bench press, pull up , battle rope, beep

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- more more about baseball japan

講師からのコメント (feedback from coach)

- 日本の野球をもっともっと知りたい…。日本の野球を知ることは第一段階だとは思いますが、日本の野球の中でインドネシアの野球に生かせると思うこと、生かしたいことを考え、まとめておくこと。（萩原）
- 実戦形式でしか得られないこともたくさんあります。今日感じたことをきちんとまとめておきましょう。（羽川）

今日の練習メニュー (Today’s practice contents)

- stretching
 - weight training under body
 - core(体幹)
 - running
- weight training under body
Squat
Calf raise
Leg curl
lunges
leg press
deadlift
leg extantion
 - core – V sit up etc
 - running – pool to pool

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- all about baseball japan program to make a strong pitcher . . .

講師からのコメント (feedback from coach)

- 全プログラムの 4 分の 3 が今日で終わりです。体の疲れはかなりピークに近づいていると思います。疲れている時こそ、集中すること。
- 強いピッチャーになるためには・・・自分に厳しく！です。（萩原）
- ウェイト、体幹トレーニング、タイヤトレーニング、ランニングこれ位厳しいトレーニングを継続して行うことで自分の身体に変化が出てきます。継続は力なりです！（羽川）

Diary in 26 August

参加者 Muhammad Akbar kamaluddin

OFF

Diary in 27 August

参加者 Muhammad Akbar kamaluddin

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- warming up
- fielding pitcher
- weight training(upper body)
- running

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- fielding pitcher(knock game)
- weight training
 - Bench press
 - dumble
 - pull down
- running with tire

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- weight training o takusan yaru!

講師からのコメント (feedback from coach)

- 毎日同じような練習が続いていると思いますが、その練習を流さないでやるように！（萩原）
- 徐々に身体にも変化が表れていることを実感しているようですね。継続していきましょう。（羽川）

Diary in 28 August

参加者 Muhammad Akbar kamaluddin

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- game
- weight training lower body
- running

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- 2 innings pitching (1BB,0H,0point)
- weight training lower body
 - lunges
 - squat
 - deadlift
 - balancing with bar
- running(Taiya)

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- all about japan baseball!!

講師からのコメント (feedback from coach)

- 実戦でマウンドに立ってみてみないと分からないこと、気が付けないことはあったと思います。それは絶対に忘れてはいけなし、今後には必ず生きてくることです。（萩原）
- フォームも含めて自分で納得できていますか。できているなら続けてください。そうでなければシャドーピッチング等で調整していきましょう。今大事なのは目先の結果ではなく、プロセスです！（羽川）

Diary in 29 August

参加者 Muhammad Akbar kamaluddin

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- pitcher knock
- watch a game
- Taiya
- weight training upper body

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- knock pitcher <1,2,3>
- watch a game of <waseda univ vs surugadai univ>
- Taiya(10 front, 10 back)
- weight training upper body
 - (bench press, pull down)

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- zenbu no program o kurikaeshi shitai desu!

講師からのコメント (feedback from coach)

- タイヤ引きは、下半身の安定の強化につながる一番良い練習なのは。と感じることができたでしょうか。ぜひ！インドネシアでもタイヤ引きを繰り返し行ってください！（萩原）
- ウエイトトレーニングやここまでの練習を通して確実にアクバルのレベルは上がってきています。それは自信をもってください。その上で、日本野球のレベルの高さも味わっていると思います。その悔しさを持つということも大事です。インドネシアでもこういった練習を続けていけば、将来必ずこれに近いレベルになれます。残り少ないですが、一つでも多く学びましょう。

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- running before game
- game
- weight training lower body
- taiya(tire)

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- running × 10 before game
- 2 ining<1B,1SO,2point,3H>
- weight training
Squat, leg carl, leg press, leg extantion, balance, dumbele,
- Taiya × 5 battle race

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- the most important about pitching form and how to train for that.

講師からのコメント (feedback from coach)

- 一番大切なものは何か、といったら core（体幹）ではないか、と思います。どんなに体ができていても、体の軸がしっかりとしていなければ安定力に欠けてしまいます。投手に必要なことは、安定力(コントロール)。Core(体幹)こそ毎日繰り返す(萩原)
- ここまでよく継続してきました。野球に対する自分の軸ができれば怖いものではありません。あと1日ですが学び残したことがないようにしましょう（羽川）

今日の練習メニュー (Today's practice contents)

- warming up
- pitcher knock
- game knock
- weight training upper body
- shadow pitching(for a hour)

今日の練習で学んだこと・気付いた点 (What did you learn in today?)

- pitcher knock <1,2,3,home>
- game knock<3 out change>
- weight training
Bench press
Pull down
dip
back up
sit up

明日の目標 (意気込み) (What will you want to learn?-the goal of tomorrow)

- Kurikaeshi!!!

講師からのコメント (feedback from coach)

- ウエイトの種類をたくさん覚えることができたと思いますが、すべてどこの筋肉を鍛えているのかを意識しながら行ってください。ウエイトも同じで、ただやるだけでは筋肉は付きません。
- 今日ですべてのプログラムが終わりました。お疲れ様でした。（萩原）
- 20日間お疲れ様でした。この20日間を生かすも殺すもアクバル次第です。一番食欲に、そして熱心に野球のことを聞いてくれました。インドネシアの野球レベルを上げたいという気持ちも人一倍伝わってきました。インドネシアのレベル向上のため、教わったことを是非ともインドネシアでも広めていってください。いつでも相談に乗ります。お疲れ様でした（羽川）

~How was it? Did you have a good time?- or hard?wkwk~

~What was the best things , hardest things for eleven days ?~

Please feel free to write down everything. I would like to get your feelings.

I departed from Indonesia to japan with the aim of getting knowledge about Japanese baseball. For 20 days in japan, I saw and felt firsthand how to live and practice baseball athletes in japan. Living in a dormitory with a teammate, training from morning to night, and all done with enthusiasm and discipline. Interesting thing for me while in japan is the role of a senior to his junior. Which seniors help juniors to develop better in technical terms and in working together in teams.

Get a lot of new and interesting experiences while in Japan, especially knowledge of baseball, I hope all the knowledge that has been obtained, will be useful for the baseball team in my country, Indonesia.

20 days that are very tiring with all the heavy training menu but can be passed with fun. Very impressive and fun to be able to practice baseball in japan, directly and really hope to train again in japan.

“ どうもありがとうございました ”

“Sugiyama san”, “Shun san”, “Hagawa san”, “Asia center”, and all parts of this program.

日本の野球についてより多くの知識を得ることを目的としてインドネシアから日本に来た。日本にいる 20 日間で、日本の選手がどのように生活しているのか、どのように練習しているのかを実際に（身をもって）見て、感じる事ができた。チームメイトと寮生活をしていること、朝から夜まで練習をすること、そして皆も熱心に練習に励んでいた。日本にいる間私にとって面白いと思ったことは、先輩と後輩の役割についてである。先輩は後輩がもっと上手くなれるように手助けをする、チーム内で全員で一丸となって取り組むこと。

日本では、新しい経験や興味がわくような経験がたくさんでき、特に野球の知識である。私は、今回得ることができたすべての知識が自分の国、インドネシアにおいても活用できる（有益なものである）ことを願っています。

20 日間における全ての厳しいメニュー（練習）はとても疲れましたが、楽しく過ごすことができた。日本で直接野球の練習をすることができたことは、とても印象に残る（感動的なものであった、素晴らしい）もので楽しかった、そしてまた日本で練習をすることを本当に望んでいる。

“ どうもありがとうございました ”

“ 杉山さん ”、“ 駿さん ”、“ 羽川さん ”、“ アジアセンター ”、そしてこのプログラムにかかわった全ての方に。

インドネシア×日本

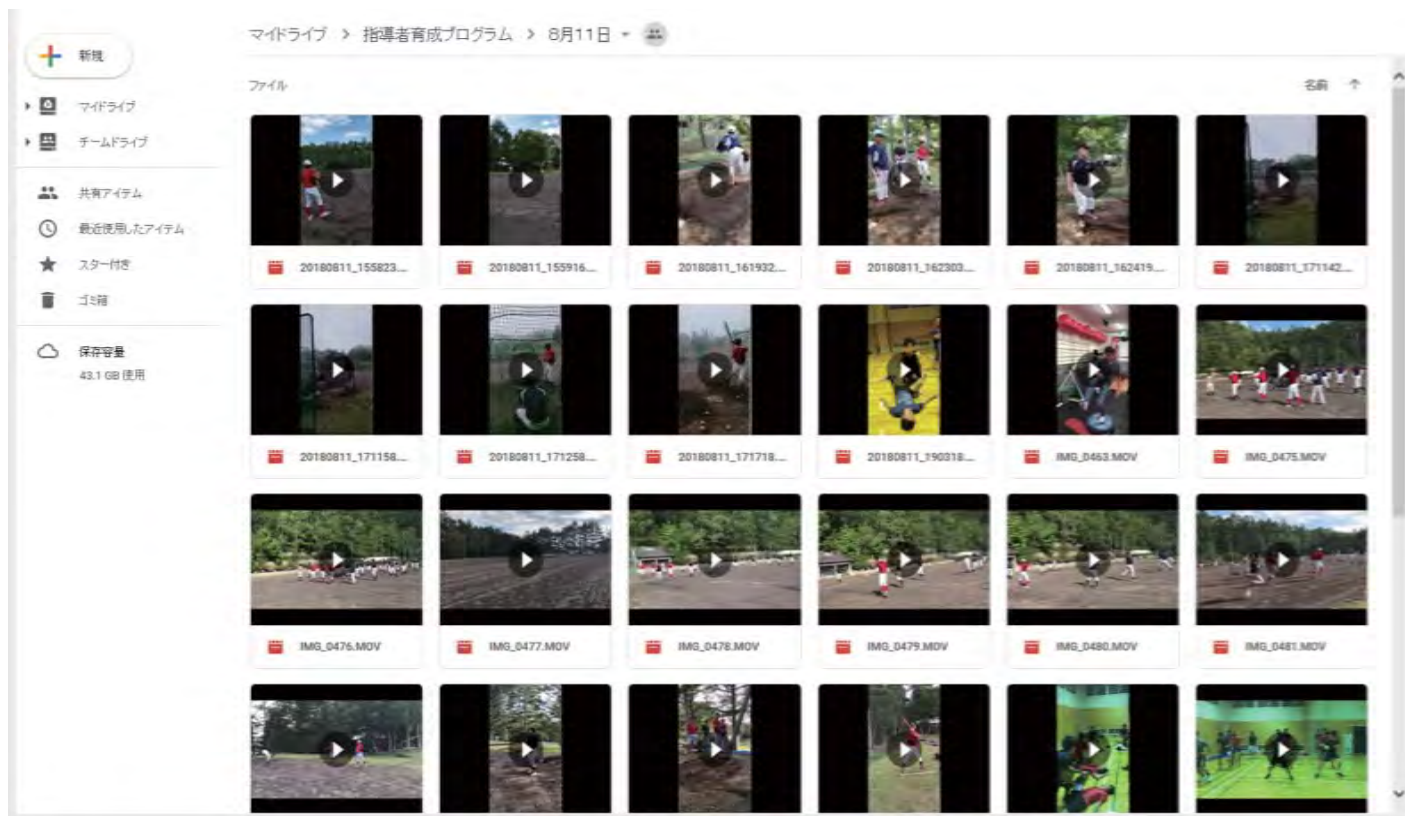
I wish for Indonesia and your future success!

Terima kasih!!

継続的指導の取組み状況

8 月に実施された野球指導者養成プログラムだが、日本に頻繁に来日することができないインドネシアの選手達に対して、今回の選手達と同様のトレーニングを行うことができるよう、約 300 本の動画を撮影し、今回の選手達とグーグルドライブ上で共有することにより、実際に学んだ選手と同様の効果が発揮できるような工夫を凝らし、本連盟としても継続的指導を行えるようにしている。

また、講師とLINEで連絡を取りあえるようにしており、8月のプログラムが終了してからも、質疑応答等のやり取りはいつでも行える状況となっている。



グーグルドライブでの動画共有（約 300 本）



これまでの活動



第1回日本・インドネシア友好親善野球大会以来、東都大学準硬式野球連盟は野球を通じた現地との交流を積極的に行っています。2017年には、インドネシア国家青年スポーツ省との間でインドネシア野球の発展・向上のための継続的活動を行う覚え書きを締結し、今後も様々な形でインドネシア野球を盛り上げていくことを約束しました。



2017年 第2回大会 レセプション

Baseball caravan 2018 in Bali

2018年2月に日本大学準硬式野球部が単独でバリ州への遠征を実施。
野球キャラバンなどで子供たちと交流しました。



バリ州教育庁と提携し、州内体育教師を集めての野球教室開催を決定。

2016

第1回大会は、日本選抜チームとインドネシアの5つのクラブチームが計6試合を行い、試合後にそれぞれの対戦チームおよび審判員に対して野球教室を実施しました。この遠征を契機として、東都大学準硬式野球連盟とインドネシアアマチュア野球連盟との間で、野球普及に関する提携が結ばれました。



現地の選手たちからは「もっと教えてほしい」という声が多く聞かれました。



地元クラブチームの選手とともに。



バリ島火山の噴火により帰国延期になると、選手たちからの提案で「おかわり野球教室」を開催。



在インドネシアの日本の子供たちにも指導を行いました。



野球キャラバンは計5カ所を訪問。約400名の子供・学生たちが参加しました。



ボールやバットなどの用具寄贈も行いました。

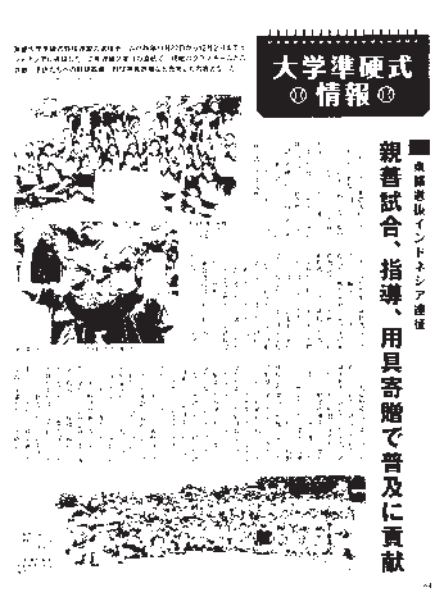
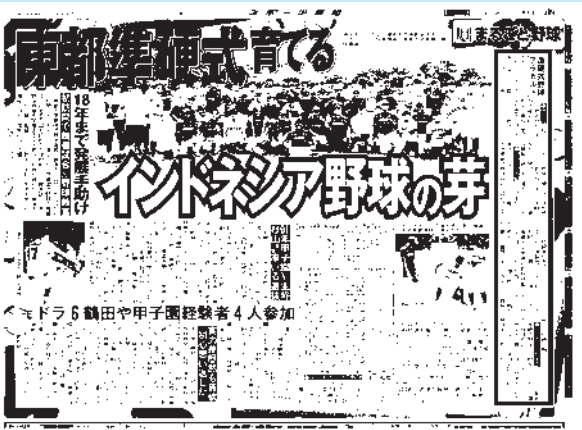
2017

第2回大会は規模が拡大され、日本の2チームとインドネシアの4つのクラブチームによる総当たりリーグ戦を行い、日本・インドネシアのそれぞれ1位チームによる決勝戦や、両国ベストナインによるエキシビションマッチも実施しました。また、対戦チームへの野球教室に加え、現地の小・中・高校および大学を訪問して子供たちに野球の楽しさを伝える野球キャラバンも実施しました。

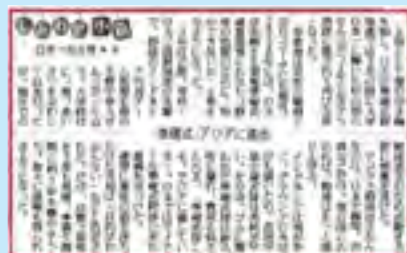
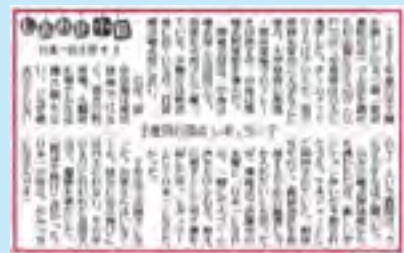
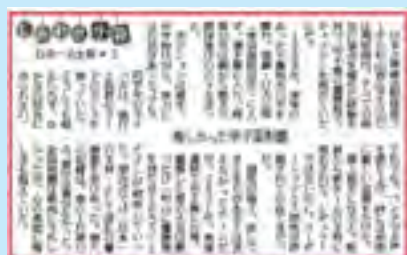
これまでの成果



スポーツ報知掲載



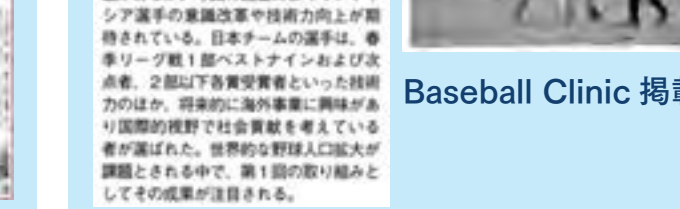
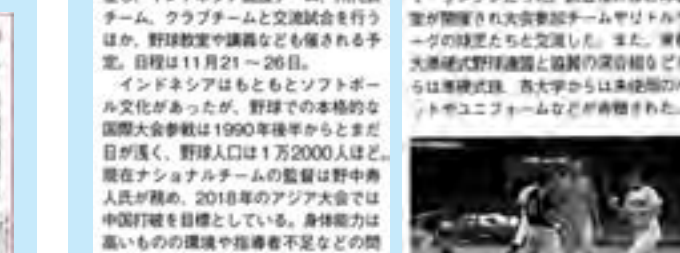
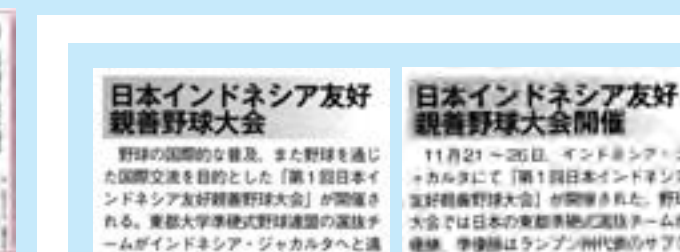
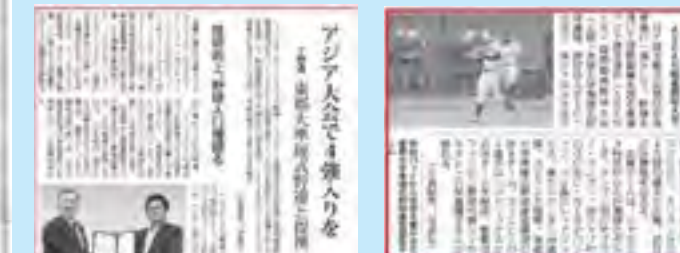
報知高校野球掲載



読売新聞掲載



じゃかるた新聞掲載



Baseball Clinic 掲載

選手報告書 ～インドネシア遠征を終えて～



東海大学 奥津 雄太

第1回 ASEAN 国際親善野球大会、第3回日イ友好親善野球大会へ帯同させて頂き有り難う御座いました。遠征から2ヶ月が経ち、現在も SNS を通じて、現地の人たちと交流をすることが出来ております。これは、今回の遠征を通して得ることが出来た、今後消えることのない繋がりであると実感しております。

私は、今回で3年連続での参加になりますが、今回のインドネシアでの試合や野球教室を通じて、感じたことがいくつかありました。まず一つ目は、インドネシアにおける野球をする環境が整ってきたという印象を受けたことです。日本と比べると土の質や衛生的な面ではまだまだ課題はあると思いますが、今後も我々が様々な分野で支援を継続できれば、もっと良い環境を作ることができると思いました。

次に、野球の技術面等に目を向けて、まず率直に、身体の強さ・筋力・野球に対する姿勢など、私たちも見習うべきことが幾つもありました。

それと同時に、力があるが故に変な癖がついてしまっている選手も多いという印象も受けました。

そのような中で野球教室等において指導を行い、自分なりに身振り手振りを使い、分かりやすく理解してもらえるよう指導することを心掛けましたが、言語のこともあり正直とても大変でした。

具体的に挙げると、一度ついた癖や身体の使い方を修正するには、かなりの練習量をこなす必要があります。その指導の際、いかに彼らの良さを消すことなく癖を修正していくのか、また、そこから実践的かつ場面に応じた練習や意識付け、そして、ルールやスピード感などを身に付けさせていくのか等、可能なかぎり自分なりに工夫しました。苦労はしましたが、指導を受けた選手達も理解してくれましたし、自分自身としても得るものが大きかったです。

最後に3年連続の選出に先立ち、「学生コーチ」という難しい役割を理解してくださったスタッフの方々、東都大学準硬式連盟関係者の皆様、そして素晴らしい仲間に出会えたこと、今後消えることのない財産となりました。こうした活動が野球界全体に広まり、準硬式野球の普及、世界の野球発展に繋がってくれることを祈っております。この活動の始まりに携わることが出来て光栄に思います。3年間有り難う御座いました。



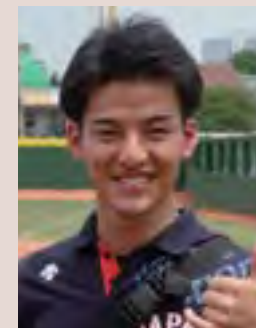
帝京大学 奥脇 康旺

インドネシア遠征を終えて、私は改めてスポーツの素晴らしさというものを肌で感じました。全く面識のない人達でしかも日本人ではなく外国人、言葉も通じずまともに会話できないという状態でどうすればいいかわからず戸惑っていました。しかし、そこに野球という共通の出来事が入ることで、語学力がなくても通じなかったことが通じたり、まだ会ってすぐなのに仲良くなったりとスポーツの凄さを感じるばかりでした。本当にスポーツは世界共通言語の役割もあり世界を繋ぐなと思いました。しかし、同時に自分の語学力の無さとその大切さ、必要さも強く実感しました。

また、今回の遠征で繋がり大切さを強く感じました。この遠征を行うにあたって色んな企業の方、東都大学準硬式野球連盟やそれぞれの学校の協力があるなど、たくさんの方のおかげで成り立っていると感じました。これも色んな人の繋がりがあってこそそのものです。自分もこれからできる繋がりや今ある繋がりを大切に、自分からも繋がりを作っていけるようにしていきたいと思いました。

このインドネシア遠征は初海外ということでもあったので、全てがとてもいい経験になりました。環境のことだったり食文化のことだったり日本とは異なることばかりでした。だから体調を崩してしまう人も多かったし、その他にも不調を訴える人が多かったのだと思います。前もって調べてはあったけど、結果から見ても足りないことばかりでした。しかし、この足りなかったことを知ることが出来たり、今の自分の実力も知ることが出来たのでとても良かったです。いつもとは全く違う環境のなかで生活することで普段では気づくことが出来ないことに気づくことが出来たり、自分に出来ること出来ないことを把握することができたりとこれから繋がることばかりでした。

自分を知るといことも含めてもっと大きな世界を知ることが出来たので、この遠征は本当にいい経験になりました。トレーナーとして海外遠征に帯同させていただくということはなかなかできることではないのでこの経験を活かしてこれからもっともっと成長できるように頑張っていこうと思いました。この遠征に関わって下さったすべての人に感謝しています。ありがとうございました。



まず初めに、今回の遠征の際に、「様々な大学の人達との中で、主務としてどのようにチームをサポートしていけるのか。」を一番考えて二週間の活動をさせていただきました。結果的に、皆からとても良い遠征になったとの感想を聞き、自分自身、ホッとしたのと同時にとても良い遠征にすることができたのだと感じました。

また、今回の遠征は、今の自分たちの状況が当たり前ではないんだと感じさせられた遠征でもありました。道具があり、野球場があり、送迎がある。日本では当たり前でもインドネシアではその当たり前がなく、でもその中でみんなの笑顔がはじけながら楽しく野球をやっている姿を見て、もっと自分たちがインドネシアのみんなに何かできることがないのかなと思われました。大学生の自分たちにとって、寄付などの貢献はあまりすることができませんが、野球教室や野球に対する熱意は伝えられると思うので、今後インドネシア野球の普及、技術向上に少しでもお手伝いできることがあれば全力で貢献していきたいと思います。

また、主務として、他国のチームは団結力がよいと感じました。その中で、今回、選手ではない主務の行動でも、良いチーム作りの一端を担えるということも感じたところです。次回がありましたら、そういったところまで伝えていきたいと思いました。



私が参加したインドネシア遠征は、今まで経験したものの中でも非常に印象に残る遠征になりました。インドネシア遠征は自らが他大学と交流を行い、学生主体で活動する準硬式野球部ならではの想いを聞いたり相談したりする良い機会となりました。さらに、日常よりレベルの高い環境に身を置くことで自ずと野球に対する意識は高まり東海大学に還元する必要があると感じました。なので、帰国後の練習ではチームの中心に立ち積極的に意見を発するようにしています。

インドネシアの野球振興において、球場などで関わった選手の方々は野球に対しての意欲が非常に高く、今までただ軽薄なプレーをしていたためか、ボールの回転や投球時のメカニズムに関心を持ち質問してくる場面が多々ありました。それにともない、私は私なりの意見を説明し身振り手振りを添えて教えることが出来たと感じています。

しかし、遠征の目的の一つである野球振興については、まだ遂行しきれていない所があると感じます。例えば、スリランカ向けに実施したウォーミングアップやキャッチボールの重要性を他国にも説く必要があると思います。これは、私たち日本人の中では幼少時からパフォーマンスの向上として野球の基本の一つに組み込まれていますが、海外の選手はプレーすることが第一になってしまっているように感じました。また、大会を通じて日本チームに対して戦力を劣らした状態で戦っていることもあるなど、諦めている雰囲気が否めません。海外のチーム同士で勝敗を争うのは必然ですが、強いチームと当るときに必要な戦術や技術を養う必要があるのではないかと感じました。

よって今後の海外への野球振興にむけての提案として、数日の日程の中で体について理解してもらう日や戦術を教える日を設けるなど、何個かのセクションに分けて野球技術の向上を図っていくものを作り上げていくべきと考えます。次第に理解を深めた選手がやがて国を代表する選手になれば、野球振興は成功だったともいえるのではないのでしょうか。

ついでながら、バリ島で行った野球教室について、公園で行った突撃型のものは現状の野球を知る良い機会になると思うので十分に役割を果たしていると思います。学校向けに行ったものは女性のプレーヤーや今後もっと挑戦していくべき選手もいたと感じたので、ジャカルタに招待するなど高いレベルの野球を見せてあげることで、野球についてもっと理解を深めてくれるのではないかと期待しています。

この遠征は人生において貴重な経験になりました。ありがとうございました。



日本との環境の違いが大きかったです。水が安心して飲める環境やグラウンドが色々なところあって、ボールもバットも充実しているということが当たり前に出てくる環境に感謝しなければならなかったと感じました。

インドネシアでは、スポーツドリンクを作成するのにも、小さいプラスチックに入った水をジャグにいれ、氷も数が限られているなかでアイシングやドリンクの冷却に使わなくてはならなかったのも、水や氷が自由に使えないという環境が大変に感じました。

日本では、普段、選手のスポーツドリンクを作成する際、氷を製氷機から取ってきて水も水道水から入れるだけなので、普段から楽にドリンクやアイシングの作成ができ、マネージャー活動をしていく中でも普段の環境が当たり前になっていたが、これを当たり前ではないと感じ、今、この環境で出来ることに感謝しようと思いました。

また、日本はボールやバット等の道具が充実しているが、インドネシアは道具があまり普及していないので思うように練習も出来ないのに、去年よりも野球が上達していて、インドネシア人の向上心は日本人よりも高いと感じました。インドネシア遠征を機に、今日本での当たり前のような生活に感謝していきたいと思います。

二年間参加させてもらったおかげで、国士舘大学だけではなく他大学の選手やインドネシア人との交流も増えました。元々、人見知りで行くのが不安でしたが、そんな不安も忘れるくらいたくさんの選手たちと仲良くさせてもらいました。このような体験が出来たのも今だけだと思うので本当に貴重な経験になりました。この体験をいかして卒業後も頑張っていきます。



今回この遠征を通して、ためになったことがたくさんありました。この遠征は3年次に続き2回目の参加でした。去年は自分のスキルアップの為に参加し、海外の方との交流も少し出来ればという考えでした。去年実際に感じたことは、レベルの低さや環境の悪さが第一印象でした。自分のスキルアップよりこの野球環境をなんとかしてあげたいと感じている間に遠征が終わってしまったのが去年でしたが、強い刺激を受け2018年は、怪我も完全に治り自分を成長させることができました。そして今年は、「自分の中にあるものを伝えたい」というテーマで遠征に行きました。4年というものもあり、自分なりに考えたフォームの指導であったり、プレー中の行動や日本の野球の戦略などを伝えることができたのではないかと思います。特に去年は、中々質問されたことに対してうまく説明やジェスチャーで伝えることができなかったし、環境もいいとは言えない場所だったので思うような指導や勉強ができませんでしたが、今年はしっかりとした環境の中でしたので、自分で持ち込んだ基本の動作の指導や野球トークを伝えることができたと感じています。

特にインドネシアやフィリピン、スリランカの人たちは自分たち日本人より元の体格が違うので細かい動作を教えるより、基本の大きい筋肉の使いかたをメインに伝えた方がいいことも教えながらわかり、元の身体能力がすごいので体の使い方のみでいいと思いました。教える時間も限られていたので細かいところまで追求する日本人とは違った教え方だったと思います。この基本動作を覚えてくれた投手が次の日実践で投げて少し変わってくれたことが嬉しかったです。この基本を教えるのがこんなに大変なんだと改めて感じました。これは野球には限らないのでいい経験です。また、海外の方とこんなにコミュニケーションを取るのは今後ないと思うくらいしました。野球やビジネス、くだらない話まで…、今後絶対役に立つと思えましたし、今もInstagramでやりとりをしています。中々留学がしたくてもできなかったのも、こういったコミュニケーションができたので充実した遠征でした。

そしてなにより、一緒に2週間を過ごしたチームメイトとの生活は、まず普通の学生では経験できないと思うくらい、情報共有をしたり、みんないろんな志しがあり、話していてすごく楽しかったし、ためになりました。大学生活で一番の勉強になったと感じました。



今回、インドネシア遠征を通じて日本がいかに恵まれているのかを感じることができました。私はマネージャーとして帯同させていただきましたが、飲み物を作るときは、水道の蛇口をひねれば安全で清潔な飲み水が出てくることが当たり前でした。しかしインドネシアでは蛇口から出てくる水は茶色く濁っていて目に入ると海水が入ったかのように痛みました。また、赤道直下である為、11月でもとても暑い日が続きましたが、飲料用として利用できる氷が日本のようにどこにでもあるわけではなく、冷たい水が飲めることも当たり前ではないなと実感しました。

また、今回の遠征で右も左もわからない自分は、様々な人に助けられたなと感じています。生活や食事、けがの手当てや体調の悪い選手の看病など、自分もし1人だったら何もできなかったと思いました。インドネシア遠征の経験のある先輩方が去年の経験を活かし、どのようにすればよりよい遠征になるかを考え指示してくださったおかげだと思います。そしてスタッフ陣の皆様、スポンサーの方々のおかげで大きな問題も起きることなく終えることができたと思います。学生生活最後の1年を迎えましたが、自分の大学でもインドネシア遠征の経験を活かして頑張りたいと思います。とても良い経験となりました。ありがとうございました。



インドネシア遠征を終えて私が学んだことは人の繋がり大切さです。チーム内での繋がりもそうですが、他のチームの方との繋がりによって得られるものは各々たくさんあったと思います。私はトレーナーという立場で帯同させていただきました。この立場から何かを教えることは限られていましたが、アップを教える際や、身体のケアをする際、相手チームの方は日本の選手達以上に真剣に取り組み、1つでも多くのことを得ようとする意思が感じられました。言葉の壁は大きいと思っていましたが、身振りや片言の英語でも理解しようとする思いが強かったため、すぐに伝えようとしていることをわかってくれました。その姿を見て、私自身、受け身ではなく自ら学びに行く姿勢の大切さを学ぶことができました。

また、体調不良者の看病をした際にも学ぶことがたくさんありました。インドネシアの食事は、日本人には衛生的に合わない物があり、下痢・嘔吐・発熱等の症状に苦しむ選手が数名出てしまいました。この時、お腹の中の悪い菌を全て出す必要があるため、何も食べたくなくても食べなければならず、また、脱水症状を防ぐために水分を多く摂取する必要があります。私は万が一に備えて、日本から春雨スープや野菜ジュースを多く持って行っていたため、これらを食べてもらい、症状の悪化を防ぐことができました。この様に、国内の遠征とは違い、必要以上に万が一に備えて用意して行くことが海外遠征には重要なことなのだと学ぶことができました。



野球教室などを通じて思ったことは、言葉が分からなくても指導できるということです。身振り手振りで教えれば相手にも伝わり、さらに今回の大会に参加していたチームの選手はみんな向上心が高く、自ら質問してきてくれる人がたくさんいたのでやりやすかったです。国内での野球の普及はまだ時間がかかると思いますが、設備や指導者などの環境を整えればもっとうまくなると思いましたし、将来的には世界規模の国際大会にも出場してくるぐらいのポテンシャルの高さを感じました。この遠征を通じて自分がいかに恵まれた環境で野球ができていたかが分かり、この環境はすべて当たり前じゃないと思いました。



私は今回この遠征には初めて参加させていただき、また主将という重大な役職を任されました。今回の遠征では多くの学ぶべき点がありました。その中で野球面について述べさせていただきます。

まず野球教室において環境の違いに驚かされました。日本では野球をするとなるとバットとボール、グローブが揃っていて野球場でやるのが当たり前となっていますが、インドネシアは違いました。バットもチームに1本や2本、グローブは数個ある中でチームで回しながら使う。野球場ではなく公園や野原、空き地などで練習をやる。そんな現実を目の当たりにしました。それを見た私は日本が当たり前では無いということや、そういった環境の中でも純粋に野球を楽しんでいる姿を見て、私は野球を始めた頃の野球が心の底から好きだった気持ちを思い出すきっかけになりました。野球を指導しに行った私たちが、いつの間にか逆に多くの事を学ばせてもらっていることに気が付きました。

野球のトーナメントではフォームやスイングなど、技術面ではまだまだだと感じましたが、身体能力は日本人の数倍あるし身体の強さに関しては桁外れのものを感じ、今後もっともっといい指導者や環境に恵まれ、野球の技術が上がってきたら世界で戦える日もそう遠くないと感じました。

重な体験を出来たこの遠征は私の人生における財産となりました。



今回、インドネシア遠征に行かせていただきありがとうございました。インドネシアでは思っていた以上に貧富の差が激しく、道端で交通量の多い中小小さな女の子がお花を売っているなど、見ていられない様な光景が予想していた以上に悲惨でした。そのような中、自分は、好きな野球を何不自由なくやらせていただけていることに改めて感謝しなくてはならないと実感させられました。野球教室でも、インドネシア選手の野球に対する意欲がものすごく強く、上手になりたいという気持ちがとても伝わってきました。

元と言えば我々日本人がインドネシア国へ行って、元気、勇気を与えるということが目標でしたが、逆に自分達が現地の人達から元気を与えていただき、笑顔にさせられたことが多いと思います。

今年、自分は3年になりますが、この早い段階でこれほどのことを目や肌で感じ経験出来たことは、自分のこれからの人生にとってものすごく大きい収穫になったと思います。この経験を自分だけでなく、大学のチームメイトや友達にも全て当たり前じゃないということを教え、浸透させていければいいかなと思います。

この度は、杉山監督、浅野コーチを始め、たくさんの方々に支えていただきありがとうございました。



今回初めて海外に行き、国際試合、野球教室を通して今自分が置かれている状況が非常に恵まれていると感じた。ネクストバッターサークルなど日本で野球をしている人なら当たり前のように知っていることも知る機会がなく、アイシングなどのケアもなく、道具もボロボロのものを使いながら野球をしている海外の選手がたくさんいた。今の日本では中高生の部活やクラブでも専用のグラウンドがあり、監督やコーチなどがいて、選手は1年に1つずつグローブやバットなどの道具を変える選手がいるが、それは非常に恵まれた環境ににいるということを忘れてはいけないと感じた。

また、海外の選手の意欲を見習わなければいけないと感じた。野球教室を通して色んな海外の選手と関わることができたが、投球フォームや変化球の握り、投げ方、日頃のトレーニングなど非常に多くの質問をしてもらえた。そういう野球の向上に貪欲な姿勢を、自分も忘れず今後の野球生活をしていきたいと感じた。



私がインドネシア遠征を終えて感じたことはたくさんありました。それは、野球のことだけに限らず、生活環境であったり、人間性の違いなどです。2回目となった今回は、1回目の時と違い多少余裕を持って参加することができたので様々な視点からインドネシアを見てみようと思い参加しました。余裕を持ちすぎて、パスポートを忘れてしまいました。が去年の経験があったおかげでとても有意義に過ごす事が出来ました。私が今回の遠征で1番驚いたのは野球のレベルが上がっている事でした。投手の球が速くなっていたり、守備や打撃でもとても野球になっているなと感じました。正直、去年野球を教えている時は野球のレベルを上げるにはあと何年かかるんだろうと感じていましたが、1年でこんなに上手くなるんだなと感心しました。野球教室においても技術的な事や体の使い方などを教えたらすぐにできるようになっていたのが驚きました。技術面以外のことも教えたいと思いメンタル面についても伝えたのですが、人間性や考え方によって違いが出るため伝え方が難しくてあまり伝えることができませんでした。そこに関しては準備不足だったなと感じています。インドネシアで野球を普及させるために学校の授業で野球を取り入れたり、クラブチームを増やしたり、大会を増やしたりすれば必ず野球が人気スポーツになるのではないかなと感じました。また、テレビなどで野球中継を観れる環境を整えて、野球をあまり知らない人にも発信していれば普及するスピードも上がっていくと思います。

生活環境の方でまず頭に浮かんだのは、ホテルのご飯が美味しかったことです。インドネシアでお腹いっぱい食べられると思っていたのでインドネシアに対してのイメージが変わりました。また、ホテルのトイレがウォシュレット付だったので、トイレにも困らなかったです。環境が整っていた分、野球に集中できたりたくさんの事を学ぶ事ができて、とても充実できたなと感じました。今回の遠征を終えて、去年と同様に日本はとても恵まれている国なんだなと改めて感じる事が出来ました。大学生活の中で、このような経験はなかなかできないのでこれからの人生に生かしていき、成長の糧にしていきたいと思います。ありがとうございました。



インドネシア遠征で印象に残っていることは2つある。1つは、ASEANの選手たちが強いハングリー精神を持っていたこと、もう1つは野球をやる環境がまだまだ完璧ではないということだ。1つ目の、ハングリー精神を感じたのは野球教室をやったときだ。教えたことをなんとか吸収しようとする姿勢が見えたり、たくさん疑問や質問を出したりしてきてくれて、野球への熱がすごいなと思った。こんなに疑問が出てくるのは普段から考えてプレーしているからだと思うし、その熱意に感動した。後輩にプレーのことを聞かれても、ここまで熱心に聞いてくる人を見たことがなかったので教えていて楽しかった。また、子供達に野球を教えて、純粋に野球を楽しんでいて、プレーしているときずっとニコニコしていたことも印象に残っている。あの姿を見て子供の頃のように純粋に野球を楽しむ気持ちは忘れてはいけないと思った。2つ目の環境が完璧ではないことは、グラウンドに立った時と選手たちに野球を教えた時に感じた。今回使った球場はアジア大会で使ったとはいえ土は大きな砂利が混ざっていたり芝はボコボコだったり、日本にいとこのようなグラウンドでやることはないの、正直驚いた。日本の選手はスライディングをして怪我をする人が多かった。怪我は野球をしている中で1番嫌なことなので、より良い環境が整うと良いなと思った。また、野球教室をやったときにも環境の不完全さを感じた。たくさん質問してくれるのは良いことだったが、逆に言えば教える人がいないということになる。また、見せてもらったグローブがぺちゃんこだったり、適当に置いたりもしていた。技術的なこと、野球人として大切なことを教えられる指導者がいればもっと上達するし野球を知ってもらえると思った。他にも感じたこと考えたことはたくさんあったが、この2つが特に強く感じたことだ。



私は、今回初めて海外に行くという経験をさせて頂き、野球を通じて大変貴重な体験ができたと思う。初めての海外遠征ということもあり、多くの不安の中で日本を出発したが、帰国時には満足感で溢れていた。その理由の一つとしては、東都大学リーグの代表としてインドネシア遠征に行き、三か国の選手を相手に投げることができたからだ。準硬式野球界に入ってこのような貴重な体験ができるとは思っていなかった。さらに、普段は対戦相手として戦っている自分よりレベルの高い選手とチームメイトになり、多くの野球技術や知識を吸収することができたことは自分のこれからの野球人生に生きてくると思う。二つ目の理由は、野球というスポーツを通じ言葉の通じない外国人と交流できたということだ。インドネシア語はもちろん、英語もほとんど話すことができない自分でも、野球というツールによってコミュニケーションを取ることができた。実際に投げる動作や打つ動作をしながら、相手の目を見て簡単な英語を話すだけで伝えたい技術が伝わり、その選手が上達していく姿には驚いた。インドネシア人をはじめとする外国の選手たちは向上心が強く、次から次へと新しい技術を聞いてくることには感心した。そのうえ吸収するスピードが異常に早く、日本人とは違う身体能力を感じた。私は今回の遠征で貴重な経験をして、さらに多くのことを学んだ。東都大学リーグの敵である他大学の選手から野球に関する多くの技術などを学べたが、やはり外国の選手からの野球に対する姿勢を見て考えることが多かった。試合では目の前のアウトに対する執着心、野球教室では男女や年齢に関係なく強い向上心のもと野球に取り組む姿を見て、今の自分の野球への意識や取り組む姿勢を考える良いきっかけになったと思う。また次回参加できる機会があったら、一緒に野球をした外国の選手たちの成長や、野球がどのくらい普及したかなど、興味を持つものがたくさんあるので、ぜひ参加したい。



私は今年でこの遠征が2年目だったのですが、1年目の時よりもインドネシアの現地の選手がとても上手くなっていて、去年の活動が少しは生きたのかなと実感したのが第一印象でした。また、現地の選手に野球を教えていて、目の色と言うか何か少しでも学ぼうと言う姿勢に、自分達が忘れがちになっていた野球を楽しむ心というものを再確認させてもらいました。また、大会としても、日本チームのいいプレーを少しでも見逃さないように、そして、自分の力がどれだけ通用するのかといったチャレンジの姿勢をすごく感じました。また、現地の公園などで野球キャラバンを行った際には、国で強いスポーツとして挙げられるバトミントンや、道具にお金のかからないサッカーなどは公園でやっているのを見受けられたが、道具が必要で比較的小金のかかるスポーツである野球は誰一人として見受けられなかったので、我々のこの活動により、少しでもインドネシアの野球を強くし、ポピュラーなスポーツにしていくことが出来たなら、我々の活動の成果としてやっと目に見えてくるのではないかなと思いました。そしてこの集まったチームはとてもレベルの高い選手が多く、自分自身としての成長としても大きく影響を受けた遠征でした。ぜひこれからの活動も、経験者である後輩達を中心に東都リーグのレベルアップ、また、遠征先のチームのレベルアップにつなげて、より良い遠征を続けていってほしいと思います。



3年連続のインドネシア遠征となり今回が集大成としての遠征だったが、特に3回目の遠征はインドネシアの野球技術や環境の変化を大きく感じた。1回目の遠征での相手チームは、平凡なフライやゴロが取れず投手が打ち取っているのにも関わらず試合にならないという印象だった。それが2回目3回目となるにつれ、技術が上がりローゲームでの試合も展開できるようになっていた。それは現地の人々の変わらない野球への貪欲な姿勢、努力が生んだものだと思う。道具や環境に恵まれない中でも成長することができるし、向上心などは日頃野球の環境に恵まれている私たちが一番見習うべき姿勢だと思う。

また、今回はインドネシアだけでなくスリランカとの交流も非常に印象深く残っている。彼らは身体が大きく筋肉もあり、投球フォームやバッティングなどにも柔軟性があり私たちとフィジカルの差を感じさせたが、体の使い方やバットの振り方などが上手くできておらず、裏を返すとあれだけのフィジカル、ポテンシャルがあれば振り方やフォームがまともでなくても飛ばせるし速い球を投げられる。野球へのトレーニングは賛否両論ではあるが、スリランカとの交流を終えて身体の小さい日本人にとってフィジカルトレーニングはやはり必要であり将来ポテンシャルの高い東南アジア諸国に抜かれる日はそう遠くないと危機感を感じさせてくれた。

これから野球を続けていく自分にとってこのような事を学ぶ事が出来ただけでも財産であるが、今まで関わりのなかった東都大学準硬式野球のチームとして帯同し、野球を含め2週間という長い日常生活の中でも仲良くなることができ、それぞれの野球への想いや考え方を話し合い共有することとても勉強になった。

これから大学を卒業し皆ばらばらになってしまうがまたどこかで会える事を楽しみにして切磋琢磨していきたい。

そしてこのような遠征を考えて頂き私をチームの一員として頂いた首脳陣を含め旅行会社の方にもう一度お礼を述べたいと思います。本当に自分の学生野球の中で大切な財産となりました、ありがとうございました。



私は一昨年、昨年に引き続きインドネシア遠征に参加させていただきました。3回目の遠征はASEAN 国際親善試合ということでインドネシアの選手たち以外の多くの国の選手たちとも交流する機会がありました。一昨年、昨年と大きく違った点として感じたことは、どのプレーに対しても全て意味のあるプレーがあるということです。例を挙げると無死一塁の場面、例年なら打って凡退のところを、今年は犠打や足が速い選手はリードを大きくして盗塁を試みるなど私たちが教えていないところも実践して取り組んでいたということです。現地の選手は私たちが教えたことを実践に移す吸収力に長けていると感じました。日本人以上の吸収力があるのではないかと思います。日本の選手は努力して上達した選手が殆どです。吸収力は確実に現地の選手の方が長けていると思うので、後は同じプレーを重複し1つ1つのプレーを自ら考え努力することを絶やさずに練習すれば、今まで以上に成長するスピードが早いのではないかと思います。今年の夏にある合宿で、日本人野球の練習量を経験し、さらに精神面や技術面においてスキルアップして欲しいと思います。

野球において発展途上の国に対して、遠征を通して野球を教えその国で野球が広まり、そしてその国の人達が少しでも野球に興味を持って野球をするきっかけとなり、野球が発展していくことにつながる架け橋になったのであれば幸いです。

私は今年から社会人なので次の遠征には参加することは出来ませんが、ASEAN の野球がこれから発展することを楽しみにしています。

3年連続での海外遠征を通して貴重な経験させていただきありがとうございました。この経験を社会人で繋げていきます。



私がこのインドネシア遠征を終えて、改めて野球というスポーツの素晴らしさや面白さ、難しさを感じる事ができました。

そのポイントの1つとして、野球というスポーツを通じて、さまざまな方と交流ができ、繋がりを持てたことです。試合や野球教室を通じて、インドネシア、フィリピン、スリランカの選手と交流をし、その選手たちからたくさんのことを学ぶことができました。それは野球に対しての取り組み方や姿勢です。私が野球教室で指導したスリランカの選手は、言葉が通じない中、私の指導に対してしっかり目を見て話を聞き、動作を真似して、多くのこと吸収しようと真剣に取り組んでいました。その姿を見て、私も真剣に指導をして応えようと、片言の英語と動作でどうにかして伝えようと努力しました。指導したことが全部通じたのかはわかりませんが、指導後に笑顔でお礼を言われたときに、達成感や嬉しさを感じられ、やってよかったと思いました。また、指導することの難しさも感じました。私は、この選手の姿勢から、何事にも向上心を持ち、ひたむきに取り組むことの大切さを改めて気づかされました。それからバリ島の公園での野球教室で、子どもたちが笑って野球をしている姿を見て、私も野球を始めた頃の心から野球を楽しんでいたことを思い出し、野球の楽しさを今一度確認でき、野球をやっていてよかったと思いました。

この遠征で、日本は恵まれていると思いました。野球をするとなると、バット、ボール、グローブ、そして場所と相手が必要です。日本では、道具をそろえようと思えば簡単にそろえることができます。しかし、インドネシアではそう簡単にはそろえられないというのが現実です。このことを実際に行き、体験して、日本の環境が当たり前ではないということを実感しました。またご飯や水道水も同じです。私は初めて海外に行きました。そこでインドネシアの貧困の状況を目で見て、体験できたことは大きな経験になりました。野球の普及活動に参加できたこと、世界の生活環境を肌で感じられたことは私にとって大きな財産です。この経験をこれからの人生に役立てて、日々を過ごしていきたいです。



ジャカルタで行われた ASEAN 国際野球大会では、初めて海外の選手達と戦い新鮮な気持ちで楽しくプレーすることができました。試合の内容は、守備では内野ゴロをアウトにできなかったり、外野フライが取れなかったりと、レベルはまだまだ日本チームの方が上という印象でした。打撃は、ストライクとボールの区別ができていなくて振ってしまう事がありました。一方で、ボールを追いかけるスピードやベースランニング、ボールをバットに当てる感覚などの運動神経・身体能力は自分達よりすごいものを感じました。

毎日の試合後に行われる野球教室では、歳が随分離れている自分達の、伝わるのか伝わらないのか分からないような英語を必死に聞いて教わる姿勢にとても感心しました。そして、もっと多くの野球の知識を身につければさらに上手くなると思いました。また、それぞれの国の色々な人に出会い、コミュニケーションをとることができてとても楽しかったです。

バリ島では、野球チームに所属している小学生に指導したり、中学校を訪問してグラウンドで野球をしたり、将来教師になる大学生にゴムボールとプラスチック製のバットで野球を教えました。小学生は、野球が大好きという感じで積極的に参加してくれて、お互いに楽しくできたと思います。最後には一緒に写真を撮ってくれて嬉しかったです。バリ島での活動で一番印象に残ったことは、突撃野球教室です。いきなり公園に行って、何も知らない子供達にグローブとボールを渡して野球の楽しさに触れてもらいました。始めは自分たちを警戒して緊張している様子でしたが、徐々に人も集まってきてみんなで楽しみながら活動することができました。

今回のインドネシア遠征を終えて、まず楽しくできたことが良かったと思います。また、野球後進国と言われている国々の選手のプレーの姿や現地の人々の学ぶ姿勢を見て、とても良い刺激をもらったので、これからの残り少ない学生野球・社会に出て生かしていきたいと思います。インドネシア国はまだまだ野球が発展しておらず、整備されたグラウンドも少なく熱帯気候で雨が多く練習場所は限られています。さらに、貧しい家庭が多いため一部の人しか野球ができていないと感じました。この活動を通して、少しでも野球というスポーツを知ってもらい、楽しみながら多くの人が野球が出来ることを期待しています。



前年度もインドネシア遠征を経験させていただき、2度目のインドネシア遠征となりました。今回の大会を通じて感じたこと、それは各インドネシアのチームの技術が確実に上がっているということです。前大会を経験しているからこそ、今回の大会でインドネシアの野球の発展を、身をもって体験することができました。そして、野球を教えることだけではなく、私が学ばせていただくことも沢山あります。この遠征から日本に帰ってきた時に、強く感じるものが2つあります。1つ目は、「野球が好きだ」ということです。言葉が通じない選手、対戦相手である選手達と野球というスポーツを通じて、コミュニケーションをとり、楽しむことができることを経験しました。そして、まだ野球をしたことのない子供達に野球道具を与え、共に野球をした時、心から楽しむその姿に強く心を打たれました。野球に限ったことではないと思いますが、私が人生のほぼ全てを捧げてきた野球で、このような経験ができ、野球の素晴らしさに、改めて気づくことができました。そして、小学校から大学まで何不自由なく野球ができたが、できたこの環境を当たり前と思うことなく、感謝の気持ちを忘れずに大好きな野球にこれからも真剣に向き合っていこうと思います。2つ目は、「もっと上手になりたい」ということです。野球教室の際に、言語の壁がありながらも、ジェスチャーで必死に野球技術を吸収しようとする姿勢に私も見習わなければならないことがあると感じました。どんな環境の中でも、学ぶことは必ずあると思います。ですので、何事にも高い「向上心」をもって取り組んでいこうと思います。

この遠征で培った経験を、次は社会人として野球だけでなくさまざまなことに活かしていきます。そして何より、選抜チームの一員としてこの遠征に参加させていただいたことに感謝しております。

2018年11月30日2週間
インドネシアジャカルタにて計6試合を行い東都大学選抜が優勝することができました。今までの野球人生で優勝したことがなかったので、歓喜の輪に自分が携われたことがなによりも嬉しく、とても素晴らしい経験をさせてもらいました。
また、試合を行った後相手チームに野球教室を行い、日本の野球技術を教え実践してくれている姿をみて非常に充実した10日間を過ごすことが出来ました。
インドネシアの野球だけでなく、特にスリランカの野球の発展に尽力できたことが今回の遠征の一番の私の中での進歩だと感じています。インドネシア遠征が終了した後もFacebookで繋がりを作ることができ、今もおスリランカの選手達と野球の話ができる環境があります。今後のスリランカ及びアジアの野球の発展に少しでも力になればよいと思います。

バリ島では2日間に渡り野球キャラバンを行い、初日の午前中はイキップ大学生へ野球教室を行い、午後は大学近くの公園で突撃野球教室を行いました。

どちらも教えてからすぐに実践することができ、キャッチボールやバッティングなど成功した時の笑顔が最高でした。また2日間はバリ市内の小中学校を訪問し野球キャラバンを行いました。もともと野球をやっているので技術の習得が早くとてもやりがいを感じました。

今回のインドネシア遠征を終え、感じたことはまだまだアジアの野球レベルは上がるしもっと英語の会話のレベルを上げ、自分の技術を教えていきたいと感じ、教えていくことで自らの野球脳も活性化していくと思いました。

私の将来の夢は高校の保健体育教員です。教えることの難しさを他国で感じ、日本で教えていくためのステップアップとなりました。インドネシアでは日本にない良いところや悪いところ、インドネシアにも日本にないところがたくさんあり、価値観が広がり野球だけではない所も学ばせていただきました。この経験を生徒たちへ伝えていくことを胸に、夢に向かって頑張っていきたいとします。次回のインドネシア遠征も可能なかぎり参加したいと思います。



私は、去年に引き続き二回目の参加でした。野球の技術は去年よりも断然レベルアップしていて驚きました。ただ打つ、投げるだけではなく、考えを待ったプレーが多くみられました。盗塁や牽制、バントなど、メジャーではなく日本の野球に似たプレーが見受けられ、去年の野球教室の成果が出ていたと感じました。野球教室では、スイングの軌道や盗塁のスタートなど本当に細かいところまで追求していて野球に対する熱意が伝わってきました。環境が整っていない中、文句ひとつ言わず、野球を楽しんでいる姿は自分の野球に対して見つめ直すきっかけとなりました。もっと野球が知りたい、うまくなりたいなどの気持ちが行動に現れ、これからの野球発展に良い刺激が与えられたと手ごたえを感じました。言葉の壁はあったものの動画やジェスチャーなどを使うことで、野球の楽しさや熱意が伝わって楽しく野球教室をすることができました。このような遠征を企画してくれた杉山さん、野中さんをはじめとする関係者の皆さんに感謝します。そして、この遠征に関われたことをうれしく思います。この遠征の経験を自分の人生や野球に活かしていこうと思いました。ありがとうございました。



今回のインドネシア遠征では、現地の方々から学ぶことが多く非常に充実した遠征になりました。現地の方々には野球に対する姿勢が素晴らしく、言語が分からなくても、「少しでも上手くなろう」というのが伝わってきました。野球教室でバッティングを教えるときに分からないことがあれば納得するまで質問していたり、紅白戦や試合中にほかの人のプレーを必死に見ていた姿が印象的でした。これらのことは、自分にとってとても刺激になりこれからの生活に活かしていこうと強く思いました。また、まだまだ野球というスポーツは普及していないことを実感しました。野球キャラバンで公園に行ったときにサッカーやバレーボールをやっている子どもはいましたが野球をしている子どもは一人もいませんでした。この現地の環境を目の当たりにして、野球をする場所や道具があること、野球ができることが当たり前と捉えてはいけなと改めて感じました。最後に、この遠征をきっかけに野球が世界に広がり野球の発展に繋がって、少しでもスポーツ界が盛り上がってほしいなと思います。

この遠征に参加させていただき、自分にとって大きな財産になりました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



約2週間のインドネシア遠征を終えて貴重な経験をさせていただいたし、ASEANの国々に対して野球を通して国際貢献ができたと感じる。特に今回3回目となるこの遠征は、インドネシアだけでなくフィリピン、スリランカの選手とも交流を深めることができた。試合後の野球教室では、言葉だけで野球の技術を伝えることは難しかったので身振り手振りや「ピュッ」などの擬音語、自分の分かる英単語を並べるなど工夫して何とか伝えようと努力した。野球教室後の試合で、自分が教えた選手がヒットを打つととてもうれしく、教えたことをすぐ実践に移しており優良な指導者が何人もいればすぐ上達すると感じた。やはり、コミュニケーション手段である英会話ができるのとはできないとでは大きな差が出ると思った。しかし、野球が好きという同じ気持ちを持っていれば、「野球」という言葉でつながることができると学んだ。このプロジェクトがこれから先も続いていきさらによりよくなることを願っている。



私が今回のインドネシア遠征で感じたことは、日本で当たり前なことが海外ではまったく違うということです。野球の環境や道具など、日本では当たり前のように思っていたことが全く違い、日本がどれだけ恵まれているのかがよくわかりました。野球だけではなく食事や衛生面もそうです。さらに野球の普及度も自分の予想よりはとても低いものでした。それでも野球に取り組む姿勢などはとても熱心で、野球教室の際には積極的に質問してくれました。この姿勢が続いていけば野球のレベルも上がっていき、日本と並ぶ日も近いと感じました。バリ島の公園で突撃野球教室した際は、野球というスポーツを知らない子供達にキャッチボールやバッティングを教えましたが、とても楽しそうに時間を過ごしてくれて最高の経験ができました。そういった経験をすることで、改めて自分の野球への想いも変わりました。今回の遠征でした経験、出逢えた人達との思い出、そういったものはこれからの人生に本当に活きるものだと感じました。この活動がこれからも続くことを願っています。



私は今回初めてインドネシア遠征に参加させていただきました。遠征に行く前は初めて海外に行くということもありかなり緊張していましたが、一緒に行くメンバーの志の高さと現地の人たちの暖かい対応により毎日充実した遠征になりました。現地の人たちは、私たちが全然インドネシア語を話せず悩んでいる時も、携帯で言葉を調べて教えてくれるなど、優しく対応してくれたのでとても助かりました。ありがたいと言うと笑顔でどういたしましてと返してくれるところも日本じゃなかなか味わえない経験でとても心が温まりました。その中でも特に充実していたなと感じたのが、スリランカの選手に野球教室をしてバッティングを教えた際に、その選手が次の試合から結果を出し始めてその選手にとっても感謝されたことです。その選手は元々少し癖が強いスイングをしていて、そのスイングを崩さずどう能力を向上させるのか試行錯誤するのがとても大変でした。そんな中、国士舘大学の小野君と共に良いアドバイスができて結果に繋がったのが本当に嬉しかったです。またこのような機会があったら参加してみたいと思います。とても良い経験になりました、ありがとうございました。



私は初めてインドネシア遠征に参加させていただきました。行く前は言語も違うのに野球教室や野球キャラバンができるのかと思いました。ですが、野球動作のお手本を実践して見せたり、身振り手振り教えることで伝わり、自分が教えたことを実行してくれて、凄く嬉しい思いをしました。インドネシア遠征で1番驚いたことは、インドネシア人や大会に参加している国の人の野球に対する熱心な心です。野球教室をしていても、「ここはどうすればいいの」と、積極的に聞いてきて、教わっていてもすごく真剣に聞いてくれました。野球に対する意識を自分も見直さないといけないなと思いました。先輩から年々野球のレベルが上がっていると聞きました。野球に対する意識が高いからだとは自分は思いました。自分が教える側でしたが大切なものを逆に教わったと思います。誰もが参加できる遠征ではないのでもの凄く良い経験をしたと思います。

インドネシア遠征で私は一つ成長できたと思います。良い遠征、良い経験でした。



インドネシア遠征の参加を経て自分が感じたことは大きく3つあります。1つ目は単純に高いレベルで野球をすることができたので個人の技術面が向上したことです。選抜チームには1部の中でもトップで活躍するような選手も多くおり、それをチームの中で見て、話して多くの技術であったり、精神的な気持ちの面等でも吸収することが多かったように感じます。2つ目はインドネシアという発展途上国に長く滞在することでその国の特徴や現情というものも考えさせられる機会が多くなりました。滞在した地域のジャカルタは日本企業が多く進出していたり、大きなショッピングモールがあちこちに点在していたりしました。しかし、バスで移動する際に感じたことは都心から地方に移っていくとインフラ整備が行き届いていない地域があったり、スラムのような雰囲気のある地域なども多くあるということが見受けられました。このような国においてインフラ環境整備も大切なことになってくるのだろうと発展途上国についての目線が持てるようになったことも社会的に成長できた一面になるのかなと思いました。

3つ目はアジア圏の野球に関してです。大会の中でインドネシアのチームやスリランカ海軍と試合をしたり、野球教室を行い交流していく中で、野球という競技に真摯に向き合っていると感じる機会が多くありました。スリランカのチームは特に「こんなことが知りたい」、「どんな練習をしているのか」、「このようにするためにはどんな技術が必要なのか」など積極的に質問をしてきて教える時間が足りないと感じるほどでした。環境が日本ほど整っていないような環境でも野球という競技がこんなにも熱く盛り上がってきているのかと驚いたことでもありました。

またセレクションの時から感じていたことですが、3部以下は自分と亜細亜大学の水野しかセレクション受験をする選手がいませんでした。3部以下には北信越遠征の選抜もありますが、それは比にならないくらいのレベルの環境に自分を置けることはなかなか下部のリーグにはないことなのでセレクションを受ける段階からもっと多くの選手にエントリーしてほしいと思いますし、自分が今回メンバーに選抜していただいたことで3部以下の選手が「自分も受けてみよう」と感じてくれたらいいなと思います。

今後この活動は続けていくべきだと強く感じました。今回の遠征に参加することができとてもいい経験になりました。ありがとうございました。



第一回目のインドネシア遠征から連続で行かせていただいて、今年が3回目になります。自分が毎年インドネシア遠征に行きたいと思うのは、一部二部の選手とプレーをして良いものを多く吸収し、良い刺激を受けたいからです。一年の時は肉離れで思ったようにプレー出来ず、二年の時は野手転向したてで打撃も守備もまだまだでした。そこから一年が経ち今年の遠征は日本でのOP戦からインドネシア遠征が終わるまでヒットを重ねることが出来ました。打席の中でも一球一球杉山監督や五十嵐からアドバイスを頂き、良い感覚を得る事が出来ました。さらにレベルアップ出来る様に日々練習に取り組んでいこうと思います。

また、インドネシア遠征を終えて感じたことは、インドネシアの人間の温かさです。街でホテルまでの道を聞いたら「バイクで送るよ」と言って無料で送ってくれたり、いきなり話しかけても笑顔で交流してくれました。

バリの公園での突撃野球教室では子供達の純粋な笑顔が溢れていました。子供と一緒にいた父親とお話をした際には、グラブの値段を聞かれ約五万と言うと非常に驚いて、バイクが買える金額だと言っていました。

近代化が進み、日々便利になっていく日本も好きですが、日々笑顔で小さな幸せを感じる事が出来るインドネシアも私は大好きです。

今回の遠征も野球だけでなく人間として成長できた良い遠征だったと感じております。

これに満足せず、さらに成長できるように頑張ります。



まずは、2年連続で参加することができ、とても大きな経験をさせていただきました。杉山監督を始めとしたスタッフの方々に感謝します。

今回の遠征は2回目でしたが、前回とは違ったものを学ぶことができました。野球教室では、公園に突撃訪問し、近所の子供と一緒に野球を行いました。今までは野球経験者に対して主に教えていたので技術的な部分がメインでした。しかし、今回は公園でサッカーをしている子供や散歩途中の子供など、野球を知らない子供が対象でした。捕る・投げる・打つなど、基本的なことを教えました。1球捕るごとに喜んでいる姿を見て、野球の面白さの原点を思い出した感じがしました。どんなに凄いプロ野球選手でも、最初は誰もが今の3つの動作が楽しくて夢中に取り組み、次第に上達していったのだと思います。そのことを気づかせてくれて、逆に自分達が教わった時間を過ごすことが出来ました。

4月から私は4年生になり、野球生活も残りわずかとなりました。ピッチャーとして、「投げる」ことの楽しさをもう一度味わいながら、悔いのない野球人生にしていきたいと思います。



自分はインドネシアを終えて、凄くいい経験になりました。インドネシアに着いてすぐは本当に二週間も生活するのかなと思っていましたがあっという間でした。一番印象に残っていることは、公園で突撃訪問をして野球教室をしたことです。最初は野球に見向きもしなかったのに、気づいたらみんな野球に興味を持ってくれてとても嬉しかったことを覚えています。あの様なことは、普通なら経験できないことなのでとても貴重な経験ができたと思っています。インドネシアでの経験を社会人になっても生かしていければと思います。



インドネシア遠征で学んだ事は、どの国の選手もより野球が上手になりたいという気持ちがあるところです。具体的に、試合後の野球教室で言葉が通じなくともジェスチャーで、スピードを上げたい、コントロール・変化球を良くしたいと積極的に質問してくれたりしてくれました。伝える為に工夫した事は言葉で伝えられない為、ジェスチャーで「ピュ！ガーー！」など気持ちで伝えるようにしました。そうしたところ相手選手も理解してくれました。同時に、その貪欲さを見習っていかないといけないと思いました。

また、外国選手は指導したらすぐにできるので、運動能力が優れていると感じました。日本のように優れた環境で練習や試合ができていないわけでありません。日本で当たり前だと思っていることは、実は当たり前ではないこと。それを自分だけでなくチームや高校、中学クラブチームなど後輩たちに伝えていくことが今回インドネシア遠征に行かせてもらった使命だと思っています。

貴重な体験をさせていただきありがとうございます。



ASEAN INTERNATIONAL BASEBALL PROGRAM 2018

Japan,Indonesia,Sri Lanka,Philippines





編集後記

始まりは、2人の出会いからだった。

日本の高校野球を通じて知り合った2人は、当時インドネシア代表総監督と東都大学準硬式野球連盟理事という立場で、インドネシアと日本という遠く離れた地で、愛する野球の灯を絶やさないため、そして野球というスポーツが持つ魅力を十分に知っているからこそ、その魅力を知ってもらうにはどうしたらいいか、そしてどうしたら素晴らしい野球というスポーツを広め、普及させることができるか考えた結果、インドネシアと日本が協力しできることとして、本取り組みが生まれた。

日本がインドネシアの選手に野球の基本を教え、それを試合という形で確認することから始まった本事業は、2年の時を経てインドネシア国の国家機関を動かし、インドネシア国家青年スポーツ省との野球提携に関する協定へと発展し、さらに

2018年、「国際交流基金アジアセンターアジア・文化創造協働助成」の助成金を受けたことで、「ASEAN国際野球プログラム2018」



というプログラムへと発展した。そのプログラムの内容は、「インドネシア国での第1回ASEAN国際親善野球大会2018及び野球教室（用具寄付含む）」並びに「日本国及びインドネシア国における野球指導者等人材養成プログラム」の2つであり、この2つのプログラムが密接に連結することにより、野球指導者等人材養成プログラムを受講した選手が、国際親善野球大会及び野球教室において実際に指導に当たる機会を与えることができ、野球指導者を養成することによる野球人口の拡大という事業を生み出したのである。この成果は、更なる思いもかけない反響を呼び起こすことになる。

「日本国及びインドネシア国における野球指導者等人材養成プログラム」を8月に日本で実施し、インドネシア国から、投手2名、野手1名、計3名の選手を受け入れ、日本式野球の基礎知識、ルール、野球における体のつくり方や動かし方とともに、野球途上国であるインドネシア国においても指導できるように、

2人1組の器具をつかわないトレーニング方法等も教授し、実戦形式の中でその成果の確認を行った。本プログラムの最大の目的は、インドネシア国において将来指導者として野球を教える人材を育成することにあることから、日本国側で用意した日誌を毎日記入させることにより、その日の練習メニューや学んだ事項をきちんと頭で認識し、その認識を踏まえたうえで翌日の練習で取り組むべき目標を設定させる仕組みを取り入れたことが特徴となっている。当然指導者側からは、日誌の内容に対しアドバイスやときには修正を行うなどしてフィードバックを図ることで、指導者と受講選手間における指導内容の認識の違いをなくし、実際に指導に当たる際に、本日誌が指導するうえでの基準となる狙いがある。また、もう一つの特徴としては、本年度のプログラム内容を撮影した動画、約300本をSNS



（グーグルドライブ）上で共有することにより、日本に来日することのできないインドネシア国の選手に対し、実際に学んだ選手と同様のト

レーニングや練習が行えるようにしたことである。これらのプログラムを実際に受講した選手たちは、その感想の中で、非常に大きな経験ができたことや将来日本の大学で学んでみたいなど、野球そのものだけでなく、日本の文化や教育に触れてみたいという意識を涵養でき、また、日本の選手からは野球に対するインドネシア国の選手の真摯な姿勢を見て刺激になったという感想がなされ、野球に取り組む姿勢を改めて見つめなおす良い機会になった。実際に受講した3名は、後述する「インドネシア国での第1回ASEAN国際親善野球大会2018及び野球教室（用具寄付含む）」の野球教室等で実際に指導に当たることにより、学んだことを実践の場で試すことで、プログラムの継続性と実効性を確立することができた。

この取り組みを日本で開催されたU-18アジア大会において、他のアジア大会参加国に広めたところ、スリランカ国をはじめとして複数の国が、次年度以降のこの取り組みに参加したいとの意思を示したのである。

アジア圏においては、日本、韓国、台湾及び中国は野球先進国であり、その他の国は、この4か国と試合をしても、全く歯が立たない。参加国や他のASEAN諸国からは、「U-18アジア大会をみても、日本、韓国及び台湾とそれ以外の国では、



レベルの違いが明らかであり、試合するだけの遠征は意味がない。そこに高額な遠征費をかける必要があるのかというレベルの議論が自国で行われている。」との意見が挙がっている。これらのことから、野球というスポーツに関して言えば、お金をかけて国際大会に参加しても、何のメリットもないのが現状である。同じお金をかけるのであれば、「日本国及びインドネシア国における野球指導者等人材養成プログラム」に参加し、そこで野球の基本動作や指導方法をきちんと学ぶことで、自国に帰って、次につなげることができる。また、試合ともなると9人以上を派遣しなければならないが、このプログラムが実現すれば、3名程度の派遣で済み、少ない費用で大きな成果を期待することができることも大きなメリットとなっている。本事業の最大の目的が、野球の普及と野球人口の拡大及び野球を通じた



文化交流であることを鑑みると、野球後進国の国々にとっても、そして私たちにとってもお互いにメリットの高い取り組みであることが明白

となった。さらに、インドネシア国では、次年度において10名程度の参加希望が出されており、ASEAN諸国への拡大も明らかことから、2019年度も「日本国及びインドネシア国における野球指導者等人材養成プログラム」事業を、「インドネシア国でのASEAN諸国野球指導者養成プログラム」として継続実施する。

また、11月にインドネシア国で開催した「インドネシア国での第1回ASEAN国際親善野球大会2018及び野球教室(用具寄付含む)」について、当初、日本、インドネシア、フィリピン、シンガポールの4か国8チーム(インドネシア国5チーム、他国各1チーム)で実施予定であったが、フィリピンについては経済的な事情等で5名の参加に留まり、シンガポールに至っては、政府等の意向により不参加となった。一方で、スリランカ国が本プログラムにおける試合後の野球教室等の実施に興味を抱き、是非とも本プログラムに参加したいとの要望があったことにより、最終的には、日本、インドネシア(5チーム)、スリランカ及びフィリピン・インドネシア混成チームの8チームで大会を開催した。参加人数が減少したフィリピンの理由からも、前述したように、試合に参加するだけで高額な遠征費を出すことができないことは明らかである一方、急遽スリランカ

国が参加したことからもわかるとおり、野球教室、つまり野球を教えてもらえるということについては、各国の興味や評価は高く、フィリピンやシンガポールは、「9人参加することは難しいが、指導者養成を視野に入れた野球教室等に対して4名程度であれば前向きに検討したい」との意見も聞かれる。

これらのことから、インドネシア以外のASEAN諸国は、野球を学ぶことについて非常に高い興味があることは明白である。インドネシアと日本の指導者2人が始めたことは、わずか4年という短い期間で、国際交流基金アジアセンターの助成金を受けたことにより、確実に大きな広がりを見せ、ASEAN10ヶ国にも及ぼうとしている。もちろん、来年はそのうちの数か国の参加の可能性もあるが、少なくとも意思表示は、過半数以上の国が示していることを考慮すると、野球を通じた新たな文化交流、ネットワークの形成等を構築することが見込まれる。

インドネシア国の気候を考慮し、準硬式球というボールを用いることで、野球の普及と発展のために始めた交流は、本基金の助成を受けて、ASEAN諸国の参加に始まる、アジアとい

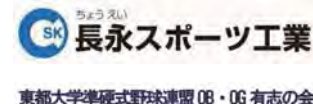
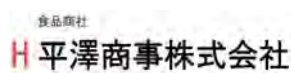
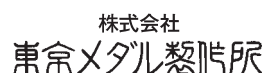
う大きなつながりへの第1歩を踏み出すこととなった。

最後に、プログラム実施にあたり、独立行政法人国際交流基金アジアセンター、日本インドネシア国交樹立60周年記念事業実行委員会、インドネシア、フィリピン、スリランカ、日本の各省庁並びに関係者の皆様、また我々の取り組みに共鳴くださいました協賛企業の皆様に感謝申し上げます。

今後も参加国の気持ちに寄り添い、当連盟でできることを続けていきたいと思います。

東都大学準硬式野球連盟 副理事長
東都大学準硬式野球連盟選抜チーム監督
杉山 智広

Thank you for support. for Japan



Thank you for support. for Indonesia



日本・インドネシア国交樹立60周年記念事業
国際交流基金アジアセンター アジア・文化創造協働助成事業

ASEAN国際野球プログラム2018報告書
ASEAN INTERNATIONAL BASEBALL PROGRAM 2018

主催：東都大学準硬式野球連盟
協力：(財)BICインドネシア